

THE PHILATELIST MAGAZINE

フィラテリスト

スタンペディア日本版機関誌

Magazine

2020

AUTUMN ISSUE
STAMPEDIA INC.



無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

28

フィラテリスト Magazine の読み方・使い方

当誌の位置づけ

フィラテリスト Magazine は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。年会費を納めた会員には、冊子（フルカラー 約 160 頁）が、発行の都度郵送されるほか、「マイスタンペディア」（右図）より冊子到着前にダウンロードして閲覧していただくサービスを提供しています。 <http://my.stampedia.net>

冊子の提供サイズ

機関紙（通常号）は A5 判と A4 判を用意しており、年間を通じて予めご指定頂きます。特に指定ない場合は A5 判を購読するものとして取り扱います。年途中での A4 判へのサイズ変更は、差額のお支払が必要ですが承ります。

PDF の活用方法（見る）

ダウンロードした PDF は、パソコンやスマホに保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時に PDF 版をご覧ください。

万一、ダウンロードした PDF が見つからなくなっても、会費を継続して支払っている期間は、入会以来全ての PDF を再度「マイスタンペディア」からダウンロードできます。

PDF 版は Adobe Reader 等の PDF 閲覧アプリでご覧頂くことを推奨いたします。ブラウザ（インターネットエクスプローラー等）での閲覧は不安定であり、勧めません。

PDF には目次がついています。目次表示機能付き PDF 閲覧アプリでは読みたい記事を簡単に探すことが可能です。

また機関紙の「目次」（原則として 4-5 ページ）で記事タイトルをクリックすると、読みたいページにジャンプします。

PDF の活用方法（印刷する）

ダウンロードした PDF は、個人の利用に限り、いつでも好きな時に繰り返し印刷することが許可されています。各号に用意された目次を参考にして興味ある記事を見つけ、印刷を行ってください。なお当誌では表紙を 1 ページ目としてページの割り付けを行っておりますので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しています。（ページ番号は各ページのフッタに表示しています）

なお本誌 PDF は快適なダウンロードの為、ファイルサイズをコンパクトにしています。この為、弊社で製本してお届けする冊子と比較すると印刷結果のクオリティは落ちます。

当誌の編集方針

現代のフィラテリーは古今東西の幅広い収集対象に対して深く研究が行われると共に、収集方法も多岐に分かれています。このような幅広い興味・関心を満たす郵趣雑誌は、多くのページ数を持ち、掲載が特定の分野に偏らない存在であることが理想的です。

この理想を実現するために、フィラテリスト Magazine はページ数に制限の少ない PDF で閲覧されることを前提に編集しています。まだ新しい、このようなスタイルの郵趣雑誌を提供することにより、郵趣の世界に元気を与えたいと考えています。



定期購読されている方には、機関紙と共に、「スタンペディア日本版 2021年会費 更新のご案内」パンフレットを同梱しています。同パンフレットをご覧の上、お早めの更新手続きをお勧めします。

お得な早期特典 あります

更新
手続
きを

スタンペディア日本版
**2021 年会費
更新のご案内**

機関誌「フィラテリストマガジン」は
来年、創刊8周年を迎えます

お早めにどうぞ

フィラテリスト Magazine

第28号

目次

当誌の読み方・使い方		2
目次		4
郵趣界重大ニュース		6
郵趣カレンダー		10
スタンペックスジャパン2021のご案内		12
国際切手展の開催動向		16
第3回 南方占領地のフィラテリー展		17
郵趣雑誌およびその発行者の活動の紹介		18
私田発見・私田報告		
戦後の欧文櫛型印「IMPERIAL HOTEL PO」に新しいタイプを確認	神宝 浩	20
戦前欧文ローラー印、静岡	黒崎 卓	21
5厘小判葉書の記番印の使用局		22
朝鮮速達、初の書留取扱を発見		24
イマキ 今更聞けないフィラテリー		
(6) 英文カバーに書かれた筆記体地名の判読法		26
(7) 桜切手カナ2銭黄、和紙と洋紙の区別		28
(8) 郵便全体に対する年賀状の割合		30
(9) 明治時代に公用郵便の料金はどのように精算されたか		32
(10) EXCEL でリーフを作ると失敗しがちな理由		34
Classic Philately 連載 クラシック切手		
(11) 喜望峰 1853 三角切手・一番シリーズ	吉田 敬	36
寄稿記事・郵趣論文		
和紙青一銭（通称青一）について	高橋 卓雄	38
円位塔航空切手 25 円のシェードバラエティ	行徳 国宏	45
「東郷4銭」に「7.9.16」	安藤 源成	46
南方占領地のフィラテリー (14) 北ボルネオ / 「大日本帝国政府」加刷	守川 環	51
琉球の航空郵便 (2) 内国使用例	木戸 裕介	60
戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (5) OTARU 局～ SENDAI 局	杉山 幸比古	68
戦後の欧文櫛型印 (5) C 欄 JAPAN 中間グループ (上)	神宝 浩	79
フランス在中国局郵票 第一次「CHINE」加刷タイプ違いの分類	猫山 ねこ	86

新中国「紀6 開国一周年再版 400 圓」の変種	猫山 ねこ	91
和欧文機械印トピックス	水谷 行秀	92
即日速達の試行期の使用例	横山 裕三	100
外国宛はがきに◇検閲印	安藤 源成	116
コレクションの作り方		121
切手コレクションの紹介		
種子植物	石田 徹	122
喜望峰 三角切手	吉田 敬	124
郵趣活動の記録		
書評「日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915」	町屋 安男	126
郵趣振興協会 活動報告	郵趣振興協会	129
オンライン郵趣例会における画面共有マニュアル	郵趣振興協会	132
APS のバーチャルスタンプショー	和田 文明	134
オークションレポート		
ジャパンスタンプオークショニアレポート	鯛 道治	141
スタンペディアオークション セールレポート・落札結果等		153

広告一覧

フィラサーチ [P.59]

スタンペディアオークション株式会社 [P.164]

付録

付録 1	切手コレクション紹介 2 作品
付録 2	ZOOM 例会 画面共有マニュアル

ご寄稿案内

当誌は 2013 年 12 月に創刊された、総合郵趣雑誌（季刊）です。

フルカラー 160 ページの紙面を、フィラテリーに関する寄稿記事に最優先に割り当てています。「このような内容は掲載できるかな?」「他の郵趣雑誌ではページ数や編集の都合でうまく書けない / 掲載できない」「連載で書きたい」「これまで寄稿を郵趣雑誌にしたことはないけれどぜひ書いてみたい」といったフィラテリストの情報発信を、本誌への寄稿記事で実現してみませんか?

「マテリアルは持っているのだけど、記事を書くまでではない」といった方には、『私の発見・私の報告』や『切手コレクションの紹介』への掲載のご相談も承ります。

(1) ご寄稿にあたり、お送りいただきたいものは、テキストと画像です。

画像については、200dpi のスキャナーやスマホカメラで撮影した写真を添付ファイルとしてお送りください。

(2) (1) のような手段のない方はカラーコピーをご郵送ください。なお、お送りいただいた原稿、カラーコピーほか資料は返却しません。

(3) いただいた原稿は、編集部で判断の上、編集して掲載いたします。手書き原稿もお引き受け可能ですが、キャパシティに上限がありますので、長文の場合は事前にご相談ください。

連絡先: tpm@stampedia.net

郵送先: 102-0083 海事ビル内郵便局留 スタンペディア 宛て

郵趣界重大ニュース

2020年6月～2020年9月

1 新型コロナウイルス感染症が引き続き猛威を奮うが、6月より郵趣催事が徐々に復活

前号で取り上げた、新型コロナウイルス感染症の世界的流行はその後も続いています、国内の郵趣催事の記録を掲載します。

潮目が変わり始めたのは5月の連休明け以降で、6月以降の開催・再開を発表する郵趣催事が増えました。各行事の主催者が慎重に開催の可否を検討した結果で、その判断は結果に関わらず尊重されますが、全体として見ると、6月以降の郵趣行事は、延期も含め徐々に復活の傾向にあります。国内のここ数ヶ月の動向をまとめました。

時期	展覧会等	即売会・フリマ・例会	五大オークション+ナルミ
6月	2. 切手の博物館、再開（目白） 10 郵趣協会、スタンプショウ 2020 開催を発表（7/31-8/1） 16. 郵政博物館、再開（押上） *6月より例会活動を再開する地方郵趣会があらわれる。	6. 切手市場、再開 6. 名古屋切手フリマ in 大須、中止を継続	上旬 タカハシスタンプとスタンビアオークションが次回以降のセールをフロアで行うことを発表 28. 日本フィラテリックセンターが東京下見会を開催
7月	2. 日本郵便、日本国際切手展 2021 の開催についてプレスリリースを発表 21. 郵趣協会、JAPEX2020 の作品募集を開始 28. IBRA2021 実行委員会、会期の2年延期を発表 31-1. スタンプショウ 2020、規模を縮小して開催	3-5 JSDA「第57回世界の貨幣・切手・テレホンカードまつり」を開催（有楽町） 4. 切手市場、開催	7. JPS オークションが528回セールをメールセールに替えて開催 11. スタンビアオークションがフロアセールを開催（フロア再開） 19. タカハシスタンプがフロアセールを開催（フロア再開） 22. ジャパンスタンプが112回セールをメールセールに替えて開催 26. 日本フィラテリックセンターがフロアセールを開催
8月	3. 日本郵便、来年開催予定の、日本国際切手展 2021 について記念切手を発行  31. WSC INDONEISA2020 実行委員会、会期の2年延期を発表	1. 切手市場感謝祭、浅草で開催 2. 切手市場、開催 8-9. 切手倉庫名古屋マーケット、開催	16. タカハシスタンプがフロアセールを開催 30. ジャパンスタンプが113回セール東京下見会を開催
9月	10. 郵趣振興協会、スタンベックス 2021 の開催を告知（IREX 公開）	5. 切手市場、開催 12. 名古屋切手フリマ in 大須、開催（予定）	5. JPS オークションが下見会を再開 13. ジャパンスタンプが会期を一日に短縮してフロアオークションを再開（予定）

2 全国の郵便局の窓口で、額面以下で切手を買える時代が到来！

日本郵便は2020年2月に、一部の郵便局（65局）窓口における、キャッシュレス決済の使用を開始しました。その後5月から拡大予定だったところ、COVID-19感染症の流行で時期を延期し、ようやく7月7日から全国8500局への拡大が始まりました。

この施策により、これまでクレジットカードで支払うことができなかった、郵便差出や切手・ステーションナリー類の購入にクレジットカードはもちろん、Suica等の電子マネーやスマホ決済が使えるようになりました。

クレジットカードを利用すると、利用者に対して現金に準じた扱いのポイントやマイルが加算されますし、Suicaやスマホ決済でもポイントが付きます。これを勘案すると、郵便局で誰でも切手を額面以下で購入することが可能な時代になったということで、たいへん画期的と思います。

この施策の画期的なところは、これまで切手類を販売してきたローソンなどのコンビニエンスストアでは、一般商品の支払いにクレジットカードや電子マネー類が使用できた反面、切手を含む金券類の決済は現金に限定してきた歴史との対比にあります。

理由の一つは、クレジットカードや電子マネー類の決済料すら賄えないほど、これらの金券の取扱が店舗にとって薄利なことも挙げられますが、同時に切手類が『売買可能な金券』であり、この特性を利用してクレジットカードや電子マネー類で切手を購入しチケットショップに持ち込み換金することで疑似キャッシング行為が可能な事も大きな理由でした。

この流れを受けて、ヤフー株式会社は、2017年9月1日に、提供するオンライン競売サービス「ヤフーオークション」の切手カテゴリにおいて一部仕様の変更を行い、大半のケースでクレジットカードによる支払いができなくなり（本誌第16号「郵趣界重大ニュース」）、現在もその取り扱いはありません。

海外の郵便事業会社ではクレジットカードで切手を購入できる国も多いという観点から、国際化の流れとして今回の日本郵便の施策は間違っていないと思われますが、その一方で、ヤフオク等の施策により防止できた疑似キャッシング行為やマネーロンダリング行為が再び可能になった点は社会的には放置できない問題です。このままの状態では放置すれば再び社会問題としてクローズアップされる時期はそう遠くないと思います。

ちなみに右のように5万円分の切手をクレジットカードを使用して購入した場合、100円で1ポイント付与されることが多いようです。クレジットカード使用料はポイントを利用した支払いも可能ですので、結果として1%引きの49,500円で5万円分の切手の購入が可能です。ポイント還元率はカード会社により異なりますが、キャンペーンで20%近い還元が行われることもあります。日本は遂に新切手を額面以下で購入できる時代になりました。

領収書		様
[販売]		
500円普通切手・十和田八幡平	500円	100枚
		¥50,000
小計		¥50,000
課税計(10%)		¥0
(内消費税等)		¥0
非課税計		¥50,000
合計		¥50,000
口計		¥50,000
お預り	クレジット	¥50,000
		
〒100-8792 日本郵便株式会社		
東京都千代田区大手町2-3-1		
取扱日時：2020年7月10日 15:23		
担当：涌井 彩弥雅		
発行No. 200710J8391 端N71箱05		
連絡先：海事ビル内郵便局		
TEL:03-3263-2500		

キャッシュレス決済の導入拡大4日目の領収書

3 公財) 日本郵趣協会 2019年度決算発表、会員減少率が改善。

公益財団法人日本郵趣協会は、6月下旬に、2019 年度事業報告をインターネット上に発表しました。この公開情報を分析したところ、会員数は当誌の分析による推定(*1)で7,038 人から6,674 人へと364 名減少(-5.2%)したことがわかりました。

*1 公益財団法人日本郵趣協会は、2015 年度事業報告までは、「正味財産増減計算書補足説明」で会員数の実数を掲載してきましたが、会員数減少が明示されてしまう事もあり、会員力増強キャンペーンを開始する中で、2016 年度事業報告より、これらの情報を非掲載としました。したがって、ここに掲載された会員数などは、公開 PL 及び会費単価等から当誌が独自に分析して算出したデータとなります。

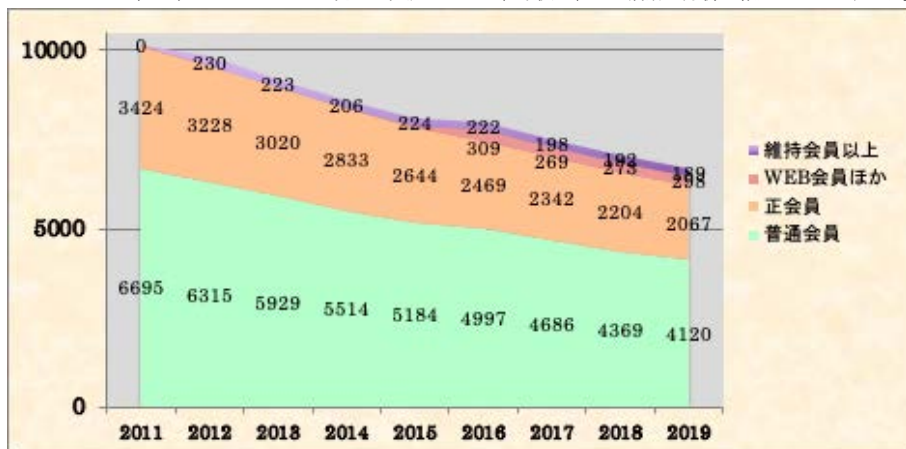
2013 年度以降の会員減少率は、WEB 会員制度を開始した 2016 年度に一度マイナス 1% を記録した以外は、安定して、毎年平均 6.3% の減少が続きましたが、昨年度はその率が大幅に改善し 5.2% の減少となりました。分母となる会員数も以前より少ない為、会員数の減少数も 364 名に止まり、毎年 500-600 名が退会していた時期に比べて大幅な改善が見られました。

これまでの予想では、会員数 5,000 人台への突入は、日本郵便が 150 周年を迎える 2021 年度と予想されていましたが、今回の改善で、その時期を 2022 年度以降に先延ばしできる目処が立ったと思われます。

もっとも決算発表で示す数値から除外した事から分かる通り、現在の日本郵趣協会にとって会員数は重要度の高い数値です。安価な年会費の WEB 会員 (3,600 円 / 年) を新設した 2016 年度に 300 人の会員集めに成功した様に、将来、千円や二千円の年会費を設定したり、さらには無料の会員枠を新設すれば、会員数の増加が可能な事が経験済みであり、会員数と金額の二要素の内、現在重視されているのは後者の金額に移っており、低いランクに位置付けられている既存会員のランクアップ (正会員から維持会員へ等) や寄付金集めなどに力が入られています。

この観点から 2019 年度財務諸表を見ると、経常収益における「受取会費」が 6,096 万円と減少 (2017 年度 6,946 万円、2018 年度 6,565 万円) した点は懸念されますが、寄付金を 2018 年度の 569 万円から 1066 万円に伸ばすなどで、単年度では黒字が確保されました。もっとも、日本郵趣協会の会員数や経常収益の規模は欧米の大規模郵趣組織と比肩しても突出した規模であり、この金額が現在の半分や 3 分の 1 の規模に縮小しても、経営上の問題はないと分析しています。

(本誌のスタンス) 日本郵趣協会は、法人の存立や各種施策の予算確保という点で、今後も「JPS の会員数」と「JPS の受取会費総額」の増強をはかると宣言しています。一方この運動には、フィラテリスト個人個人が拠出したお金を合計する巨額な金額が動きます。公益財団法人には、商法上の株式会社のような株主総会はない為、スタンペディアは、日本のフィラテリーの健全な発展のために、今後も、この活動を分析し報道してまいります。



JPS 会員数 (概数) の推移 (2011 年～2019 年) 参照：公益財団法人 日本郵趣協会 決算報告書。当誌分析。

4 オンライン郵便例会が世界中で大流行。

日本ではまだ「流行している」とまでは言えませんが、COVID-19 感染の流行によりロックダウンまで行われた欧米を中心として、オンライン郵便例会が世界的に流行しています。これに先鞭を付けたのは、英国王室郵便協会 (RPSL) で、感染症の流行に伴い長らく開催できなかった定例木曜ミーティングを、2020 年 4 月 23 日から ZOOM を使用した開催に切り替えました。

同時期にオンライン郵便例会の活用を始めた、米コレクターズクラブも ZOOM を活用し、他国の先進的な郵便サークルもそれに続いた為、現在、世界の郵便サークルでは、米 ZOOM 社のビデオ会議サービスの利用が主流です。

夏には、国際郵便連盟 (FIP) でもオンラインセミナーの開始が始まり、8 月以降、郵便史分科会が月に 2 度ほどセミナーを開催しています。



9/6 (日) の FIP 郵便史分科会のセミナー。参加者は数百人？未確認ですが多かった気がします。

日本国内でも、郵便振興協会と郵便協会がオンライン会議サービスを活用した郵便例会を始め、オンライン郵便例会を一度でも経験したことのある日本人フィラテリストの数は 50 名前後になったのではないかと思います。まだまだ未経験者が多いと思います。ましてや、海外のオンライン郵便例会やセミナーに参加経験のある日本のフィラテリストは、10 名以下でしょう。

FIP のセミナーの内容や出席者は、2010 年代に、スウェーデンのヘルストローム氏が中心となり、同国に世界中から人を集めて開催された、フィラテリックサミットと同じであり、同サミットへ出席したことのある日本人からは、「渡航して参加すると 50-60 万円かかるイベントと同レベルのものが細切れだとしても無料で提供されるのは画期的」と称賛されています。

編集の菊地は英会話はまだまだなのですが、恐る恐る 9/6 の FIP セミナーに参加してみたところ、意外と (!) 喋っている内容が理解できました。講師がクイーンズイングリッシュを喋る英クリス・キング氏だったことが大きいのですが、同時に思ったのは、講師が聴衆の顔色を確認しにくいオンライン会議サービスである為に、スピーカーが、音声相手にうまく伝わっているか、いつも以上に配慮して講演する為、面と向かった講演よりさらにゆっくりわかりやすく喋る事に気が付きました。

国内も海外も、魅力的な無料の郵便セミナーや郵便例会がたくさん登場しました。都会に住んでいるのが地方に住んでいるのが、オンラインなら参加のハードルは変わりません。この機会を生かすことができれば、フィラテリーは、より深く楽しんだり学んだりできる時代になりました。

郵趣カレンダー

2020 年 9 月中旬以降に開催される郵趣イベント

予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず、全て急遽中止・変更される可能性がございます。
ご参加にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、ご参加ください。

国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	分類	出品 〆切
2020/11/6-8	JAPEX 2020	都立産業貿易センター台東館（浅草）	日	9/23
→ 2021/4/10-13	スタンベックスジャパン 2021	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	12/17
2021/6/4-8	TAIPEI 2020 ?	Taipei World Trade Center(台湾、台北)	ア	募集延期
2021/8/25-30	PHILANIPPON 2021	パシフィコ横浜	世	12/1
2021/11/9-13	CAPE TOWN 2021	International Convention Center(南ア、ケープタウン)	世	2021.5(予)
2022/2/19-26	LONDON 2020 ?	Business Design Center(英、ロンドン)	世	締切済
2022/3/31-4/3	HUFNIX 2022	(ハンガリー、ブダペスト)	世	未発表
2022/4(予)	スタンベックスジャパン 2022	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	未発表
2022/5/18-22	HELVETIA 2022	(スイス、ルガーノ)	世	未発表
2022/8/4-9	WSC<INDONESIA2022>	The Indonesian Parliament Complex(インドネシア、ジャカルタ)	世	締切済
2022/9/8-11	MELBOURNE 2022	Caulfield Racecourse(豪、メルボルン)	ア	未発表
2023/5/25-28	IBRA 2023	Messe Essen, Hall 1+2(独 エッセン)	世	未発表
2026/5/23-30	BOSTON 2026	Boston Convention and Exhibiton Center(米ボストン)	世	未発表

分類 世：世界切手展 ア：アジア国際切手展 日：日本の全国切手展

一般切手展（現時点で主催者の確認が取れている展覧会のみを掲載）

開催日	地域	切手展名称	会場
12/14-15	東京	第3回南方占領地のフィラテリー展	郵政博物館

※ 1 郵政博物館の開場時間は 11:00-16:00 ですが、最終入場時刻は 15:30 です。また切手展初日の開場時刻が 13:00 になるケースがありますので、ホームページでご確認ください。 <http://kitte.com/>

切手フリマ・即売会

開催日	地域	名称	回	会場	開催時間
9 月 12 日	名古屋	名古屋切手フリマ in 大須	5	第 1 アメ横ビル 4F	10:00-16:00
10 月 3 日	東京	切手市場	188	綿商会館	9:00-17:00
11 月 28 日	名古屋	名古屋切手フリマ in 大須	6	第 1 アメ横ビル 4F	10:00-16:00
12 月 5 日	東京	切手市場	189	綿商会館	9:00-17:00

*会場住所 綿商会館：東京都中央区日本橋富沢町 8-1 0
第 1 アメ横ビル：名古屋市中区大須 3-3 0-8 6

定期購読されている方には、機関紙と共に「スタンベックスジャパン 2021」の出品申込書を同梱していますので、ご利用ください。

主要オークション

開催日	主催者	回	会場
9/15	JPS オークション	529	(メール)
9/20	タカハシ・スタンプ・オークション	648	タカハシスタンプ
10/3	スタンペディアオークション	15	綿商会館
10/18	タカハシ・スタンプ・オークション	649	タカハシスタンプ
11/7	JPS オークション	530	都立産業貿易センター台東館
11/8	ジャパンスタンプオークション	114	都立産業貿易センター台東館
11/15	タカハシ・スタンプ・オークション	650	タカハシスタンプ
11/15	スタンペディアオークション	文献	(メール)
11/29	日本フィラテリックセンター	784	東京ニュー新橋ビル地下2階会議室
12/5-6	ジャパンスタンプオークション	115	大阪駅前第三ビル 17 階
12/20	タカハシ・スタンプ・オークション	651	タカハシスタンプ
2021/1/9	スタンペディアオークション	16	綿商会館

* メールオークションとして開催される場合は、開催日が入札締切日となります。

* 当社関連会社が提携するスタンペディアオークションへの出品締切は下記の通りです。

第 15 回セール：2020/10/15、2020 冬の文献セール：2020/11/15

主要なオンライン郵趣例会

例会名	代表者	使用アプリ	参加費用	開催予定日
日本切手研究会	横山 裕三	ZOOM	無料	第 2, 4 日曜日 21 時 9/13, 9/27, 10/11, 25 11/8, 22, 12/13, 27
昭和切手研究会	斎 享	ZOOM	無料	第 3 日曜日 21 時 9/20, 10/18, 11/15, 12/20
外国切手研究会	榎原 晃二	ZOOM	無料	毎週土曜日 20 時 9/5, 12, 19, 26 10/3, 10, 17, 24, 31 11/7, 14, 21, 28 12/5, 12, 19, 26
南方占領地切手コレクターズクラブ	守川 環	ZOOM	無料	第 4 水曜日 21 時 9/23, 10/28, 11/25, 12/23

* 有料、無料に関わらず、参加者を広く募集している郵趣例会を掲載（新規会員募集していない会是非掲載）

* 主催者の連絡先が分からない場合は、編集部でメールを取り継ぎます。（数日かかるので早めに連絡を）

郵趣カレンダーへの掲載をご希望の展覧会主催者の方へ

当誌は、フィラテリーを活性化させるイベントを開催・運営される方を宣伝の観点からお助けします。「国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展」以外の切手展については、掲載依頼のあったものについて、編集部で吟味した上で掲載いたします。

- (1) 展示作品、フレーム数、出品者名等が決まっている場合（暫定でも可）は、「郵趣カレンダー」に掲載した上で、別途、作品一覧を掲載します。
- (2) 展示作品に関する情報が未定の場合は、「郵趣カレンダー」のみが掲載対象です。

連絡先： tpm@stampedia.net

全国切手展（競争切手展）出品締切は 12/17（火）です スタンペックスジャパン2021

スタンペックスジャパン2021 実行委員会

展覧会の概要

名称：スタンペックスジャパン2021

会期：2021年4月10日（土）～13日（火）[4日間]

会場：郵政博物館（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：100 フレーム

主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会（郵政博物館）

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、（一社）全日本郵趣連合、
（公財）日本郵趣協会、株式会社鳴美

毎日の開場時間

4月10日（土）10:00-17:30

4月11日（日）10:00-17:30

4月12日（月）10:00-17:30

4月13日（火）10:00-13:30

※最終入場時刻は毎日午後5時



主催者・審査委員長からのご挨拶

郵政博物館長 井上 卓朗

（公益財団法人 通信文化協会）

今年は新型コロナウイルス感染症の流行の状況に鑑み、残念ながら「STAMP EX JAPAN 2020」の展示会は中止となりました。今回、新たな展示会のかたちを模索しつつ、「STAMP EX JAPAN 2021」を開催できることを主催者の一人として嬉しく思っております。

郵政博物館は郵政の歴史研究とそれに伴う展示を中心に活動を行ってきましたが、郵趣分野についてはあまり積極的には行っていませんでした。こうして新たな国際展準拠の全国切手展を郵政博物館にて開催できること、皆様の作品を一堂に展示できることを何よりも喜ばしく思います。

至らない部分もあるかと思いますが、この「STAMP EX JAPAN」が皆様に愛されるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



スタンベックスジャパン2021 審査委員長 佐藤 浩一

PHILANIPPON 2021 の開催決定を契機に、「スタンベックスジャパン」は国内収集家の出品作品を国際的に通用するよう啓蒙することを目的に企画されました。審査はFIP登録審査員によるものとし、FIP基準で審査される全国切手展として位置づけられており、クリティークを通して詳細なアドバイスを出品者に還元することとしています。今年の開催は新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け残念ながら中止されましたが、来年には十分に感染予防の対策を取りながら開催できるものと期待しています。

新型コロナの世界的な蔓延の影響を受け、今年中に開催を予定していた国際切手展はすべてが中止・延期されてしまいました。皮肉にも昨年6月に武漢で開催された世界切手展以降の開催が無く、この次に開催される世界切手展がPHILANIPPON 2021にないような雲行きです。

新型コロナの影響で海外ではバーチャルでの切手展の開催も計画されていますが、切手展の醍醐味はやはり実際に現物を展示し、審査員が展示作品を詳細に審査し、展示フレームを前に同好の方々と交流することにあります。PHILANIPPON 2021に出品を予定されている皆様には「スタンベックスジャパン2021」を有効に利用していただき、FIP登録審査員による世界展スタンダードでのクリティークを受け、必要であればPHILANIPPON 2021出品作品の最終調整を行う一助となるよう願っております。「スタンベックスジャパン」審査チームの目標は、出品作品が国際展でも同レベルの評価を得られるよう指導させていただくことですので、是非積極的に「スタンベックスジャパン2021」にご出品ください。



スタンベックスジャパン2021 実行委員長 安藤 源成

昭和20年代には切手蒐集は「趣味の王様」として、頭の良い高学歴で経済的に裕福な知識人が成す趣味と言われていましたが、30年代に「数年後に切手は値上がりし儲かる」と言う風評が広まり多くの方が郵便局に記念切手の購入に走り、40年代にピークを迎え、各地で切手展が開催され全盛を迎えました。

その後バブルが終わるのを境に切手蒐集は衰退の一途を辿り平成を迎えました。郵趣界はゼネラル蒐集から専門蒐集に移行し、切手の展覧会が一般の切手集めの庶民から見放されましたが残った専門コレクターは世界各地で開催される国際切手展で活躍するようになりました。

日本の国内切手競争展には「金」から「佳作」まで上下が決まっていますが「銅」より「銀」以上が多い。かつてはその逆でした。他界の展覧会、例えば「日展」「院展」「日本伝統工芸展」等は入選することが難しく「賞」は特別賞のみです。コレクターから切手展に出品が少く、出品者が固定化しているのも見逃せません。国際展規則に完全に準拠できない展覧会については、もっと世間を見習うべきではないでしょうか？スポーツ界の様に種目別にしても良いのでは？とも思います。

「スタンベックスジャパン」は小規模の高尚な展覧会として展示を許される事が難しく、許されれば名誉であり、その作品の蒐集品内容、展示方法等を国際展に出品経験のある先輩方からアドバイスして戴き、国際展に出品する資格を与えられる展覧会です。この日本の「国際展の登龍門」を経て、出品者には、世界の郵趣界に羽ばたいて戴きたいと思います。若い方々の御活躍を願いたします。





出品者への適切なフィードバックを通じて、コレクションの発展に寄与する
全国切手展「スタンベックスジャパン2021」作品募集要綱

(特非) 郵趣振興協会 / (公財) 通信文化協会(郵政博物館)

競争切手展は、欧州のフィラテリーから生まれ、世界の様々な国籍・人種のフィラテリストが参加する国際郵趣連盟(以下、F I P)の規範作りの下、永年に渡り進化し続けてきたフィラテリーの文化であり、審査競技です。

全国切手展「スタンベックスジャパン2021(以下、本展覧会)」は、この審査競技を適切に運用する競争切手展で、審査員の人選はじめ、我が国で開催される競争切手展の中で、F I Pの審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展です。また、出品者への適切なフィードバックを通じてコレクションの発展に寄与することを目指すことも、本展覧会の特徴の一つです。

つきましては、以下の要領により、皆様からの競争出品を募集いたしますので、ふるってご応募ください。

1. 実施

会期: 2021年4月10日(土)～13日(火)(4日間)
会場: 郵政博物館(東京都墨田区・東京スカイツリータウン内)
規模: 100フレーム
主催: (特非) 郵趣振興協会 / (公財) 通信文化協会(郵政博物館)
協賛: スタンベディアプロジェクト
後援: カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、(一社) 全日本郵趣連合、
(公財) 日本郵趣協会、株式会社鳴美

2. 審査体制

審査は、F I Pの定める国際切手展の審査基準(以下F I Pルール*1)に準拠して行い、各出品作品に得点を与えます。これを実現する為に、主催者は、世界的に通用するF I Pルールの理解と運用に優れた人物を審査委員長として招聘することに注力する事とします。また、審査委員長が決定した後は、審査業務ならびに審査員の選任は後述する審査委員会に一任し、審査業務に関する、審査委員会の独立を妨げないものとします。

審査委員長は、第4項の部門の審査資格を持つF I P登録審査員を中心に、審査員の人選を行い、審査委員会を組織します。審査の方式、賞の決定については、現在の世界での競争切手展の潮流に従ったものとなる前提で、審査委員長がその運用を決定します。

なお、現在世界で開催されている国際切手展の出品資格の1つは、『F I Pルールに準拠して開催される全国切手展で75点以上を獲得すること』です。本展覧会で75点以上を獲得した作品は、それに該当することとなり、国際切手展への出品資格を獲得します

3. 授賞の概要

審査得点に応じて、それぞれ、大金(90点以上)、金(85点以上)、大金銀(80点以上)、金銀(75点以上)、大銀(70点以上)、銀(65点以上)、銀銅(60点以上)、銅(55点以上)の各賞を授与します。

また、大金賞受賞作品の内の一作品にグランプリを授与することがある他、特に優秀な出品作品には特別賞を授与することがあります。

4. 出品部門

- ― 第1部門 伝統郵趣
- ― 第2部門 郵便史
- ― 第3部門 ステーションナリー

5. フレームの割当数と出品料およびリーフサイズ

- ・フレームの割当数: 5または8フレームです。
- ・出品料は、1フレームあたり3,000円です。
- ・(特非) 郵趣振興協会の2020年度賛助会員には1フレームあたり1,700円の特別出品料が適用されます。
- ・第7項で後述する展示作品の決定後、出品料支払いの詳細を連絡します。なお、支払期限は2月15日頃の予定です。
- ・リーフサイズは自由ですが、切手コレクション展示パネルの1フレームの大きさは横98cm×縦123cmですので、その範囲におさまるように作品を作成してください。

*1 本展においては、以下の規則になります。

GREX, SREV 伝統郵趣, SREV 郵便史, SREV ステーションナリー

主要スケジュール(予定)

(2020年)	12月17日	出品申込締切
(2021年)	1月1日	展示作品の選定結果の発表(ホームページおよび郵送) * 展示が認められた方には、(1) 出品封筒 (2) 出品料請求書 (3) 搬入・搬出案内を送ります。
	2月15日	出品料の振込期限
	4月1日	郵送による作品送付の指定日
	4月8日	会場設営
	4月9日	審査
	4月10日	初日 開場時間 10:00-17:30
	4月11日	2日目 開場時間 10:00-17:30 10:00 授賞式・審査委員会主催のセミナー&クリティーク
	4月12日	3日目 開場時間 10:00-17:30
	4月13日	最終日 開場時間 10:00-17:30
	4月14日	作品の郵送による返却

6. 出品規約と出品申込

出品申込に際しては、所定の出品申込書に必要事項を記載の上、タイトルリーフを含む2リーフをカラーコピーもしくはメール添付画像と共に、本展覧会の出品申込書の送付先にお送りください。

出品申込書の送付先（各種お問合せ先）

- ・電子メール info@kitte.com
- ・ファクス 03-5770-8504
- ・郵便 102-0083 海事ビル内郵便局留置
郵便振興協会

なお出品申込書に記載の通り、出品申込書の提出を以て、本作品募集要項の記載内容に従うことを承諾したものと見なします。

出品申込の受付期間は2020年11月1日(日)～2020年12月17日(火)です。

7. 展示作品の選定および選定結果の通知

本展覧会の規模は100フレームと小さい為、出品申込された作品を、全て展示することは困難な可能性が高いと思われます。この為、実行委員会では、出品申込の受付期間終了後に、出品申込時に提出された書類等を下に見、展示作品の選定を行います。

展示作品の選定結果は、2021年1月1日前後に当協会のホームページで発表するとともに、出品申込した全員に郵便等で連絡いたします。なお、選定の結果展示いただけない作品に対する理由開示は、一切行いません。

なお、出品申込が受理された場合の展示キャンセルは、原則として受け付けません。

8. 展示作品の搬入と展示作業および展示作品のセキュリティ

- ・第7項で展示が認められた出品申込者には、本展覧会専用の出品物提出用の封筒(以下、出品封筒)を送付します。出品物は、この封筒に入れて提出してください。
- ・出品物は取り外し可能な保護カバーをつけ、各リーフの表面左下に展示順の番号を記してください。
- ・作品の搬入は、原則として郵送で受け付けます。
- ・郵送による作品送付は、2021年4月1日(木)を配達指定日として、以下の送付先にお送りください。

郵送による作品の送付先

131-8139 墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ 9階
郵政博物館 スタンベックス係

- ・会期中の作品のセキュリティについて相応の対策を講じますが、作品の輸送時、保管時、会期中の展示・撤去の際のマテリアルの紛失・汚損などについては責任を負いません。出品物の保険については出品者個人の責任と負担において付保するものとします。
- ・物理的に切手コレクション展示パネルに格納できない作品(厚すぎるリーフ含め)やF I Pルール上禁止されている黒色ないしは濃色のリーフが含まれている作品は、その一部もしくは全部の展示を中止します。なお、これ以外にも主催者は理由を開示することなく、出品作品の展示を拒否する等の権限を有しますが、展示されなかった場合も出品料は返却されません。
- ・メチを過ぎて到着した作品は審査の対象外となります。作品未着の場合、出品料は返金されません。

9. 作品の返却

作品は、4月14日に郵送にて返送します。原則として実行委員会指定の梱包で着払いのゆうパックにて出品者の指定する郵送先に返送します。搬入時の出品用封筒以外の個人的な梱包等は、主催者の判断により廃棄することがあります。

作品の手渡しによる搬入・搬出について

当初手展覧時期およびその前後のCOVID-19の状況を見通すことは、作品募集時点では難しい為、当初手展覧の搬入・搬出は原則として郵送となります。ただ、作品送付指定日の1週間程度前、東京および大阪の然るべき場所として作品を預かり、実行委員会に提出する国内コミッション(作品運搬委託業務)サービスを検討しています。返却についても類似サービスを検討しており、併せて、2021年1月に出品者にお知らせします。なお、本サービスは無料でご利用いただけますが、別途、個別に契約することとなります。

10. 審査結果の発表と授賞式

展示作品は、審査委員会が会期前に審査を行った上で、開場までに賞を各作品の第1フレーム左上に表示致します。

授賞式は、会期2日目のセミナー・クリティークにあわせて行い、金銀賞以上の受賞者に表彰状を贈呈すると共に、グランプリ候補作品がある場合は、その中よりグランプリを発表します。

枝点を含めた審査結果は、同会場で配布すると共に、郵便振興協会のホームページ上で発表いたします。

11. クリティーク

クリティークは『審査員との対話』と和訳されることもあります。出品者が本展覧会に競争出品した作品に関し、直接、審査員から個別に今後の改善点等について助言を受ける機会です。

『出品者への適切なフィードバックを通じ、コレクションの発展に寄与することを目指す本展覧会では、このクリティークを重要な行事と考えていますので、出品者の皆さんは、是非ご参加いただきたいと思います。

クリティークは会期2日目の午前10時に開催します。まず審査委員会が開催するクリティーク前セミナーを聴講した後で、各作品の前で順番に行きます。

クリティークでは『世界で開催されるF I P登録審査員により審査される国際切手展で上位の賞を獲得できる為に、どのような点を改善すれば良いか』について、審査委員会より、国際展の潮流を踏まえてお話ししていただきます。

この点を踏まえた上での質問・相談に対しては審査員は、原則として、時間を限定せずに対応いたしますので、疑問点などは予め準備して臨むことをおすすめいたします。

なお、会場におけるセミナーおよびクリティークは、出品者以外にも参観も許可しますが審査員が認める場合を除き私語を禁止します。また、主催者以外によるクリティークの動画撮影は禁止します。

なお、クリティークは、原則として会場で対面で実施を計画しておりますが、COVID-19の流行状況に応じて、ビデオ会議サービスや書面などに代替することがありますので、ご了承ください。

12. 出品者の個人情報の取扱、作品の撮影・掲載

出品者の個人情報は、法令により開示を求められた場合を除き、出品者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。ただし、出品目録ならびに受賞リスト等には、氏名・住所(都道府県名まで)を掲載しますので、ご了承ください。

世界の競争切手展において、フラッシュを使用しない作品の撮影は、参観者に許されており、本展覧会もその運用を踏襲します。また、出品受付時にご提出いただいたタイトルリーフを含むページのコピーは、展覧会のPRを目的として、本展覧会の目録等に掲載すると共に、ホームページを通じて、主催者以外の方がダウンロードしご利用いただけるようになります。

会期中には、ご来場いただけない方を対象に、オンライン会議サービスを利用した、作品紹介を行います。この用途に供する為、展示作品は全ページを撮影・スキャンします。PDFダウンロードなどのサービスは提供しませんが、オンライン会議サービスでは全ページが紹介されますので、ご了解ください。

13. COVID-19の流行に伴い開催を中止した場合の対応

COVID-19の流行状況によっては、主催者は、本展覧会の一部ないし全部について、中止の決定を行うことがあります。

展覧会の開催を中止した場合の出品料の取り扱いには下記の通りとします。(1) FIP登録審査員による審査並びに書面等によるクリティークまでを主催者が提供でき、出品者がそれを希望する場合: 20%返金。(2) 前二項を主催者が提供できない場合、もしくはそれを希望しない出品者への対応: 100%返金

国際切手展の開催動向

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

国際郵趣連盟および大陸別の郵趣連盟が公認する競争切手展（以下「国際切手展」と略す）の
実行委員会は、2020 年 6 月以降も、暫時延期をアナウンスしています。当協会ではホームページ
(<http://kitte.com>) で速報を行っておりますが、以下でまとめてご案内します。

切手展の当初の名称	開催地	分類	当初 開催予定期間	現 開催予定期間
NZ 2020	ニュージーランド、オークランド	ア	2020/3/19-22	国際展は中止
LONDON 2020	英、ロンドン	世	2020/5/2-9	2022/2/19-26
WSC<INDONESIA2020>	インドネシア、ジャカルタ	世	2020/8/6-11	2022/8/4-9
TAIPEI 2020	台湾、台北	ア	2020/10/23-27	2021/6/4-8
MELBOURNE 2021	豪、メルボルン	ア	2021/2/11-14	2022/9/8-11
CAPE TOWN 2021	南ア、ケープタウン	世	2021/3/17-20	2021/11/9-13
IBRA 2021	独 エッセン	世	2021/5/6-9	2023/5/25-28
PHILANIPPON 2021	日、パシフィコ横浜	世	新規発表	2021/8/25-30
HUFNIX 2022	ハンガリー ブダペスト	世	新規発表	2022/3/31-4/3
HELVETIA 2022	スイス、ルガーノ	世	新規発表	2022/5/18-22

■ :2020 年開催 ■ :2021 年開催 ■ :2022 年開催 ■ :2023 年開催

この3ヶ月間に、インドネシアとドイツで開催予定の世界展2つが延期されました。

まず、すでに一度延期を発表していた WSC<INDONESIA2020>（インドネシア・ジャカルタ）は、
当誌が前号で予想した通り、年内の開催を断念し、2 年先延ばしを発表しました。8 月中旬からホーム
ページが接続不能になるなど、心配されていましたが、8 月下旬にようやく発表されました。

また、それに先立つ7月末には、IBRA 2021（ドイツ・エッセン）の2023 年への延期が発表
されました。当誌の取材によれば、同展覧会の主催者は6月の時点では開催に自信を持っていまし
たが、大規模展示会開催に対する行政の制限の解除の見通しが立たないことから早期の延期を決断
したようです。新しい会期は、2023 年5月で検討・調整中と報じられていますが、すでに4つの
世界展が予定されている2022 年を避けたのは賢明だと思います。

両展覧会の延期により、COVID-19 以降の時代に最初に開催される世界展は、現時点では、来夏、
横浜で開催予定の PHILANIPPON2021 となりました。東京五輪も現時点では予定通り開催される
とされていますので、より規模の小さい国際展が開催の是非を判断するのは難しいのかもしれませんが、
日本郵趣協会を中心とする実行委員会としては大変難しい判断を今後迫られと思います。

なお、開催予定が延期された国際展ですが、全てが予定通り開催される保証はどこにもありませ
ん。当協会でもホームページで国際展情報迅速にお伝えするように努力しておりますが、一次情
報に勝る速さと正確性はありません。国際展出品者は、世界の感染症に関する情報収集と共に、各
展覧会の実行委員会の公式ホームページにアクセスし、情報収集を進められることをお勧めいたし
ます。

毎年6月に開催している展覧会を仕切り直して開催します

第3回南方占領地のフィラテリー展

南方占領地切手コレクターズクラブ

『南方占領地のフィラテリー展』は、南方占領地切手コレクターズクラブが、2017年から毎年6月にテーマを決めて開催している展覧会です。

『よくわからない』『偽物ばかりでしょ?』『展覧会でも賞が取れないでしょ?』と誤解されがちな南方占領地切手について(1)一般のフィラテリストに魅力をアピールすると共に、(2)フィラテリスト以外へのアピールを通じてフィラテリー自体に興味を持ってもらうことを目的に、一般の方の来場も多い郵政博物館で毎年展覧会を開催することで、郵趣振興協会にご協力いただいています。

今年のテーマは、昨年逝去された、南方占領地切手ゼネラルの大コレクター橋本道弘氏のコレクションの抜粋展示に決定しました。同氏のコレクションは、必ずしも全てがリーフに整理されていなかった為、有志が手分けして、アルバムリーフに整理し、展示を行う予定です(39フレーム、表)。

展覧会名 第3回南方占領地のフィラテリー展

開催日時 2020年12月14-15日(月火) 11:00-16:00(初日13時開場予定)

会場 郵政博物館 多目的ホール

本展覧会では、毎年、有志による南方占領地切手のブース販売を開設するほか、南方占領地切手コレクターズクラブ会員による展示解説を行っています。本年については、COVID-19の感染状況予測が現時点では難しく、催事は未定です。ただし会期中に一部の作品のオンライン会議サービス経由の解説を実施することを検討しております。

また、展示予定リーフの全てではありませんが、その大半を4分の1サイズの縮小表示で作品集にまとめて販売予定です。



アンダマン・ニコバル 5/1A Port Blair → Port Blair, 5 AP

取扱地域	F
ビルマ	5
マライ	5
北ボルネオ	3
スマトラ	6
ジャワ	3
海軍	5
フィリピン	3
昭和	3
アンダマンニコバル	1
香港	1
軍事	1
仏印	1
正刷葉書	1
天長節発行の切手	1

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報(ホームページや代表電話)を確認の上、お越しください。

マイスタンペディアで PDF 購読のオプション申込が可能な 郵趣雑誌およびその発行者の活動の紹介等

2020年6月～2020年8月

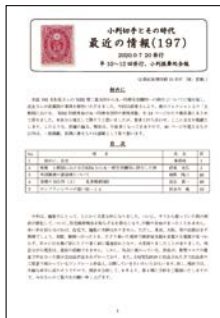
IZUMI (発行：いずみ切手研究会)



380号を発行(6/21) 小判1銭はがき(紙幣寮銘)(尾台 昭弘) 初日
櫛型日付印 D 欄県名・E 欄☆(濱谷 彰彦) 停車場印時代の鉄道分粉来(藤
岡 靖朝) 栃木県内三等局の櫛型印 X3 型先行使用(三等局奉祝櫛型印)
壬生局のデータ更新と先行使用開始時期(宮崎 幸二) 第四種郵便を集める
(行徳 國宏) 標語機械印考(清水 勝利) 震災往復はがき(岡藤 政人)
戦後消印大改正後の時刻表示 Z 型と戦後統一型の早期使用例について(飯
澤 達男) 時刻表示廃止による C 欄★★★の試行(馬淵 直人) ほか

「いずみ切手研究会」例会案内	
例会開催日	原則として第3日曜日 午前9時-12時
会場	練馬区立勤労福祉会館(大泉学園駅近)
向こう三ヶ月の例会日	9/20,10/18,11/15,12/20
例会参加資格	会員限定(ダウンロード権利のみでは参加できません)

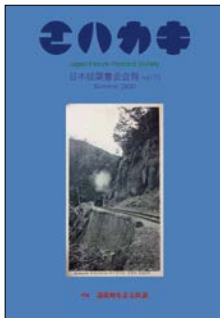
最近の情報(発行：小判振舞処)



196号を発行(6/20) 大分ボタの形態と印額数推定(2)(桑原 康雄)
U 小判3種に承認印(梅原 徹) 多摩の KG 印(1)(近辻 喜一) 和紙太
政官布告について(長谷川 純) ほか

197号を発行(7/20) 特集 上野国における◎ KB 2 から丸一便号空
欄印にした例(設楽 光弘) 外国郵便の書留便について(城野 隆三) 多摩
の KG 印(2)(近辻 喜一) ほか

エハカキ(発行：日本絵葉書会)



73号を発行(6/25) 特集「温泉地を走る鉄道」絵葉書をより楽しむ
ために(九)(高尾 均) 石橋(一)(林 文二) 私の小早川秋聲(六)(松
竹 京子) 絵葉書に見る年中行事お会式編(八)(榎本 弘紀) ほか

郵趣仙台（発行：仙台郵趣会）



242号を発行（6/14）東京青森間鉄郵印で抹消された新小判10銭貼り外信書状（横山 裕三）切手に登場した歴史上の女たち（中島 斎）詩と音楽（佐々木 克夫）巣籠り中の老収集家一独り言（佐藤 浩一）第1次国立公園切手（池田 駿介）戦後外郵再開期の外国来小包（小林 富士夫）ほか

243号を発行（8/30）仙台七夕まつりの絵入りはがきについて（横山 裕三）切手に登場した歴史上の女たち（中島 斎）詩と音楽（佐々木 克夫）1945年9月2日（佐藤 浩一）第1次国立公園切手（池田 駿介）1952年の三日月型欧文文印について（石川 勝己）宮城県の不統一印 鈴木紀男氏のコレクションから 志田郡(2)《三本木、松山》（小関 幸生）二つ折りはがき(2) 脇付はがき半銭の市内便（斎 享）

「仙台郵趣会」例会案内	
例会開催日時	COVID-19の影響もあり、会場や時間が定まりません。参加希望者は torusai2@yahoo.co.jp までお問い合わせください。
会場	
向こう三ヶ月の例会日	9/13, 10/11, 11/8, 12/13
例会参加資格	会員限定（ダウンロード会員も参加できます）

予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず、全て急遽中止・変更される可能性があります。ご参加にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、ご参加ください。

マイスタンプEDIAでPDF購読のオプション申込が可能な郵趣雑誌

これらの雑誌のPDF購読を希望される方は、マイスタンプEDIAよりお申し込みください。（有料）

無料世界切手カタログ・スタンプEDIA株式会社（以下、「当社」）は、「スタンプEDIA日本版」会員を対象に、マイスタンプEDIA（インターネット上のサービス）を通じて、有償で他者が発行するフィラテリーに関する情報媒体を配信する事業を2016年より行っております。

提供している郵趣雑誌は、当社がその内容を精査し「スタンプEDIA日本版」会員の皆さんに自信を持ってお勧めできるものに限定しており、現在は4媒体を提供しております。これらの雑誌のPDF購読を希望される方は、マイスタンプEDIAよりお申し込みください。（有料）

雑誌名	発行者名	発行予定回数	年間購読料	会員数	備考
IZUMI	いずみ切手研究会	4回	1,000円	121人	毎月の例会と年1回の展示会を自主運営する首都圏ナンパーワン切手サークル
エハカキ	日本絵葉書会	4回	1,000円		絵葉書文化を提唱する雑誌
郵趣仙台	仙台郵趣会	6回	1,000円	123人	毎月15-16人参加する例会活動を中心とする、東北地方の切手サークル
最近の情報	小判振舞処	10回以上	1,500円	122人	小判切手とその時代に特化し、トップクラスの研究成果を出し続ける切手サークル

神宝 浩

「帝国ホテル内」局の戦後の欧文櫛型印「IMPERIAL HOTEL PO」については、従来一般に次の4つのタイプが知られていました。すなわち、(ア) D欄TOKYOの金属印(直径24mm)、(イ) D欄櫛型の金属印(同)、(ウ) D欄TOKYOの大型ゴム印(直径27mm)、(エ) D欄TOKYOの小型金属印(直径23mm。ゴム印とする説もある)の4つです。これらを図で示すと次のとおりです(図版は「日本郵便印ハンドブック(JPS, 2007)」より)。



(ア) D欄TOKYOの金属印

(イ) D 欄櫛型の金属印

(ウ) 大型ゴム印

（工）小型金属印

ところが、最近上記4タイプのほかに、いわば5番目として新たなタイプを確認しましたので報告します。新タイプの印影は以下の図のとおりで、直径は約24mmで欧文櫛型印の標準サイズ(24mm)とほぼ同じ、D欄はTOKYOで、材質は印影からみてゴム印と判断されます。大きさと材質からみて、この印を「中型ゴム印」と呼ぶことにしたいと思います。



IMPERIAL HOTEL PO 1951.1.11

この印は今のところエンティア4例の確認で、使用時期は最古データが1950年12月19日、最新データが1952年8月15日ですが、今後更新される可能性があります。

ところで、この印の確認に至ったきっかけは、今年6月に郵趣振興協会のサポートを受けて行った記念特殊切手研究会のZOOM例会です。この例会に筆者が「IMPERIAL HOTEL PO」の欧文櫛型印を紹介したところ、複数の参加者からすぐに所蔵品の提示があり、これが今回の新タイプの確認につながりました。こうしたことから、この報告は、ZOOM例会のひとつの成果ともいえそうです。

なお、この報告で新しいタイプとして取り上げた上記の印がもしすでに発表されたものでしたら、それが掲載されている印刷物等のコピーを編集部までお寄せいただくようお願いいたします。

私の発見・私の報告

戦前欧文ローラー印、静岡

黒崎 卓

戦前欧文ローラー印の中でも、確認例の少ない静岡局について読者の黒崎さんよりご報告いただきました。

SHIDZUOKA JAPAN

富士鹿改色旧版 20 銭 1 月 28 日ないし 23 日、使用年不明も 2 桁の数字の上部がどちらも丸いことと、改色旧版の使用時期を考えると 1930、32、33 のいずれかの使用例と思われる。

『日本郵便ハンドブック 2008』の記述によれば、SHIDZUOKA JAPAN の欧文ローラー印は、1931 年 10 月 14 日使用・田沢新大正毛紙 1 円の 1 点のみが知られているとある (p.226 および p.228)。数少ない例で、かつ、ハンドブック報告例とは使用年も違うため、ここに報告する次第である。

SIZUOKA. NIPPON. (各単語の終わりにピリオドあり)

田沢昭和白紙 50 銭 3 月 28 日、使用年不明も、2 桁の数字の上部がどちらも丸いことと、局名表示の変更時期を考えると 1938、39 のいずれかの使用例と思われる。

吉田敬氏『ローラー印』(2019) 展示に含まれる富士鹿 20 銭同様、局名の後および国名の後にピリオドがある。同展示に含まれる東郷 4 銭の SIZUOKA NIPPON 1941 年使用例と、田沢 1 円の SHIDZUOKA NIPPON (年号不明もその使用は 1934-1937 年のみ) にはピリオドがないことから、1937 年 12 月 10 日にローマ字綴りを内閣訓令式に替えた際に余計なピリオドが入り、そのミスが 1941 年までには修正されたのではないかと推測できる。戦前欧文ローラー印のバラエティーとして報告したい。



私の発見・私の報告

5厘小判葉書の記番印の使用局

明治9年から15年にかけて発売された「5厘小判葉書」に押される消印の内、記番印は使用局が限られ、珍重されている消印です。当誌では第21号以来、使用局一覧を取りまとめています。

今回は高野昇郎さんより「ジャパンスタンプオークション112th」に、イヘ22号（播磨 / 北条）が掲載されている旨、ご報告をいただきました。こちらはこれまで存在が報告されていたものの、当誌で図版が入手できなかった為に一覧掲載せず参考情報に留めていたものです。

また匿名希望様より、前回新規に報告のあった「イ110号」は、武蔵 / 川越ではなく、武蔵 / 新河岸であるのご指摘を受けましたので、合わせて訂正いたします。（川越はイ94）



播磨 / 北条(イヘ 22号)
6.30 →大阪

引き続き、5厘小判葉書の記番印の使用局のデータを募集中です。また一覧表に掲載されていて図版「なし」の素材の画像も募集しております。お手元にお持ちの方は、編集部までご連絡ください。なお、編集部への連絡方法は、目次（P.5）に記載しております。

記番印	旧国名	局名	郵便料金	図版	発見者・出典 *1
イ 68 号	武蔵	浦和	1 銭		吉田敬
イ 110 号	武蔵	新河岸	5 厘	(部分)	ジャパNSTAMPオークション 第 77 回 #3065
ハ 6 号	下総	結城		なし	日本切手名鑑
ル 7 号	三河	岡崎		なし	記号入番号消印カタログ
カ 14 号	伊勢	津		なし	記号入番号消印カタログ
タ 1 号	山城	西京		なし	記号入番号消印カタログ
タ 7 号	山城	榎原	1.5 銭		吉田敬 (本誌 23 号)
タ 10 号	山城	紫竹大門	1 銭		吉田敬 (本誌 23 号)
タ 15 号	山城	富野		なし	日本切手名鑑
タ 18 号	山城	郷ノ口		なし	記号入番号消印カタログ
レ 1 号	大和	奈良	1 銭, 5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)、郵趣反古集 P.298 にて報告
ソ 3 号	河内	八尾		なし	記号入番号消印カタログ
子 12 号	摂津	尼崎	5 厘		安藤源成 (本誌 22 号)
子 38 号	摂津	梶原	1 銭		城野隆三 (本誌 24 号)
ラ 7 号	美濃	大井	5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)
ラ 9 号	美濃	岩村		なし	日本切手名鑑
キ 3 号	越前	武生	1 銭		山崎文雄 (本誌 23 号)
ヒ 1 号	丹波	亀岡		なし	記号入番号消印カタログ
ヒ 3 号	丹波	篠山	1 銭	なし	日本切手名鑑
ヒ 14 号	丹波	上佐々木		なし	記号入番号消印カタログ
モ 1 号	丹後	宮津		なし	記号入番号消印カタログ
モ 3 号	丹後	舞鶴		なし	記号入番号消印カタログ
イハ 1 号	出雲	松江	5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)
イヘ 1 号	播磨	姫路	1 銭		吉田敬 (本誌 21 号)
イヘ 2 号	播磨	明石	5 厘	なし	郵趣反古集 P.298 にて報告
イヘ 22 号	播磨	北条	1 銭	(部分)	ジャパNSTAMPオークション 第 112 回 #1142 NEW!
イト 1 号	美作	津山	5 厘		安藤源成 (本誌 25 号)
イチ 1 号	備前	岡山	1 銭		安藤源成 (本誌 22 号)
イリ 6 号	備中	笠岡	1 銭		安藤源成 (本誌 24 号)
イリ 7 号	備中	玉島		なし	日本切手名鑑
イル 1 号	安芸			なし	記号入番号消印カタログ
イカ 1 号	紀伊	和歌山	1 銭		ジャパNSTAMPオークション 第 107 回 #777 (本誌 23 号)
イカ 8 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ
イカ 9 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ
イカ 21 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ
イカ 24 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ
イヨ 2 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ
イソ 17 号	伊予	松山		なし	日本切手名鑑
イノ 1 号	肥後	熊本	1 銭		日本切手名鑑

*1 発見者名不明の場合は、出典のみ明記

私の発見・私の報告

朝鮮速達、初の書留取扱を発見

編集部取りまとめ

1919 年から 1941 年までの使用例が 11 通だけ確認されている、戦前の朝鮮における速達便は、その希少性から当誌でセンサスを管理しています。

2 年ぶりに 12 点目の存在を匿名希望の会員よりご報告いただきましたので、ご紹介します。

2.1 送料金の書留速達

今回存在が確認された使用例は、初の書留取扱使用例です。昭和 15 年の朝鮮における速達料金は 7 銭ですので、速達書留書状料金は、 $4+7+10=21$ 銭となりますが、この使用例には 1 銭切手しか貼っておらず、封筒の上部が切手ごと切り取られている様子が分かります。

書留引受スタンプも押されているので、書留取扱された可能性はほぼ確実であるため、切り取られた封筒上部には 20 銭切手（前月発売の富士と桜、もしくは富士鹿昭和白紙）が貼ってあったと推定できます。

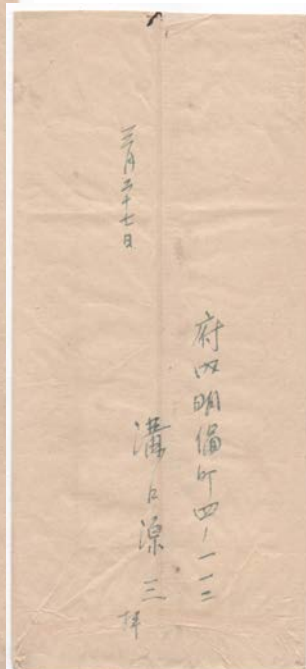
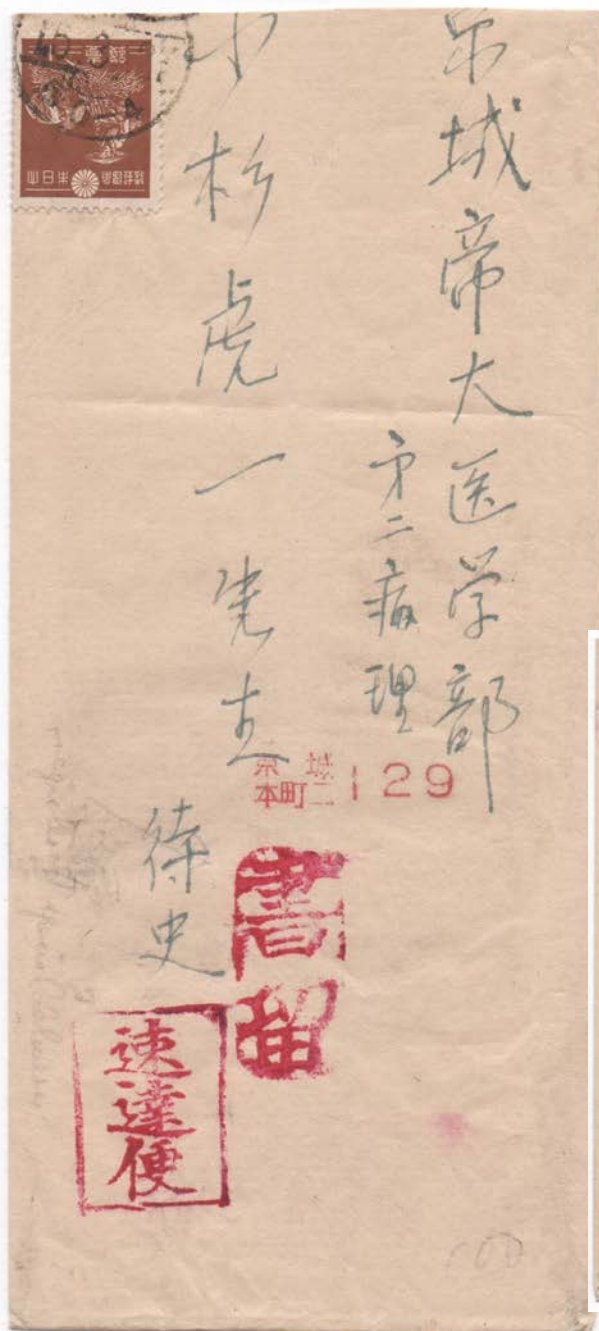
センサスを調べたところ、書留速達使用例は 1 通もないため、貴重な使用例ではないかと思い入手いたしました。伝統郵趣の競争展示に使うのは難しいかもしれませんが、朝鮮の速達に関する郵便史を深掘りするならば、完全な書留速達が将来発見されるまでの期間は、効果的に使えるマテリアルではないかと思います。

朝鮮速達のセンサス

No.	貼付切手、葉書	種別	特殊取扱	引受局	日付	西暦	貼付	所有者等
1	分銅 1.5 厘葉書田沢 3 銭 2 枚	葉書		京城大和町	8.10.4	1919	7.5	(不明)
2	小判 3 銭封緘葉書 田沢 10 銭	封緘葉書		京城 / 局	10.9.20	1921	13	匿名
3	田沢、富士鹿貼り	私製葉書	航空速達	竜山	5.8.19	1930	26.5	池田健三郎
4	田沢 30 銭 2 枚他	書状	航空速達	京城	8.4.10	1933	76	横山裕三
5	風景 10 銭単貼	書状		京城本町三	10.12.31	1935	10	(不明)
6	楠公 2 銭葉書 富士鹿 4 銭等	葉書		西大門	13.2.1	1938	9	吉田敬
7	楠公 2 銭葉書に田沢 7 銭	葉書		京城 (中央)	14.4.30	1939	9	新井紀元
8	楠公 2 銭葉書に田沢 7 銭	葉書		京城	14.3.23	1939	9	池田健三郎
9	楠公 2 銭葉書に田沢 7 銭	葉書			(14?)	1939	9	(不明)
10	一次昭和 3 銭 8 銭貼り	書状		京城中央	16.6.26	1941	11	池田健三郎
11	富士鹿新版改色 20 銭ベア 田沢 3 銭	書状	航空速達	光化門	8.7.12	1933	43	馬淵直人
12	一次昭和 1 銭、(20 銭切手カット)	書状	書留	京城本町二	15.3.27	1940	(21)	匿名

* 「特殊取扱」は、速達以外の取扱がある場合に記載します。

No.1 は「速達郵便史」(本池悟, 1994, 株式会社鳴美)に掲載されたマテリアルです。No.5 はジャパンスタンプの 2005 年 JAPEX セールで売られたマテリアルです。(Lot.2934) No.9 はヤフーオークションに出品されたマテリアルです。No.12 の貼付料金は推測です。





[コラム] 今更聞けないフィラテリー (6)

英文カバーに書かれた筆記体地名の判読法

編集部まとめ、取材協力 JPS アルプス・ヨーロッパ切手研究会

宛先を読めるとカバーの収集は楽しくなる

SCOTT 等のカタログを使えば、「それが何か？」について、ある程度の特定が可能な『切手』。たいていの場合、アルファベット活字による表記がされ、差出地や使用年月日が特定できる『日付印』。これらが分かると、切手収集は楽しくなります。

しかし、カバーを楽しむにはもう一つ、宛先がどこなのかを知る必要があります。そして、宛先を読めることで郵便料金を読み解くヒントにもなり、カバーの収集はさらに楽しくなります。

タイプライターやプリンターで出力された活字であれば、アルファベットを読むのに苦労することは少ないと思いますが、困るのはクラシックに顕著な筆記体アルファベットでしょう。

筆記体のアルファベットが書かれるカバーはクラシックに留まりません。20 世紀のカバーでも筆記体アルファベットを見かけることは多い上に、到着印が押される機会が少なくなる為、クラシック以上に、宛先を読み解けないと面白さが半減してしまいます。

そこで、今回は「グーグルマップの『地名予測機能』」を活用し、筆記体地名を読んでいくことに挑戦します。なお、この方法は一部しか読めない日付印の局名を読み解くのにも活用できます。

ではまず下のカバーを見てみましょう。

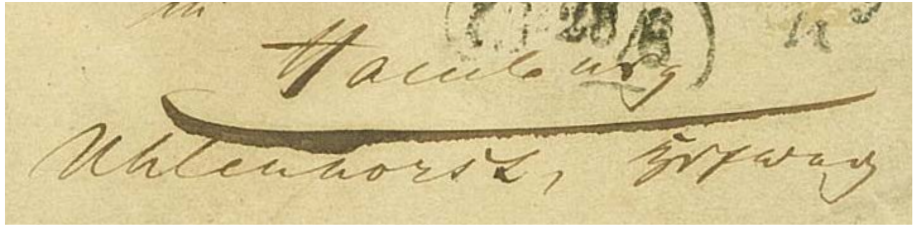


切手には国名が書いてありますので、簡単に読み解くことができます。書かれている文字は「EIN」「SCHILING」「POSTMARKE」「BERGEDORF」。最初の3つは「1」「シリング」「切手」ですので、発行国名は BERGEDORF（ベルゲドルフ）であることが分かります。

スコットカタログで調べれば、ドイツ帝国成立前の諸侯切手発行主体の一つであるベルゲドルフで、1861 年に発行された 1 シリング切手であることが分かります。（カタログ番号 #2）

カバー上の日付印を見ると、二つありますが、その内、右側の日付印に「BERGEDORF」と書かれているので、これが引受郵便局であると考えられます。

問題は宛先です。封筒の以下の部分であろうことは、見当が付きまゝす。しかし、土地勘がないとなかなか読みこなせません。



まず迷うのは、2行ある宛先地名らしきものの内、どちらがより大きな地名なのか見当がつかないのです。そして、それぞれの行の先頭1文字すらアルファベットの何なのかよく分かりませんが、こういう時は上段から順に読み解いてみましょう。



よく見ると、二文字目が「a」である事が分かります。一文字目は「M」に見えますが、横棒が気になります。アルファベットをAから順にこの形に当てはめていくと、「AA」「H」「M」「U」「W」あたりが可能性がある事に気がきました。

グーグルマップで調べる

ここで、グーグルマップを開き、引受局のBERGEDORFを入力し、「ルート・乗換」(赤矢印)をクリックします。

そうすると、そこにもう一つ地名を入れることができる欄(赤枠)が表示されますので、ここに先ほどの可能性のあるアルファベットの一部を入れます。

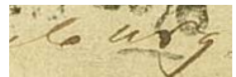
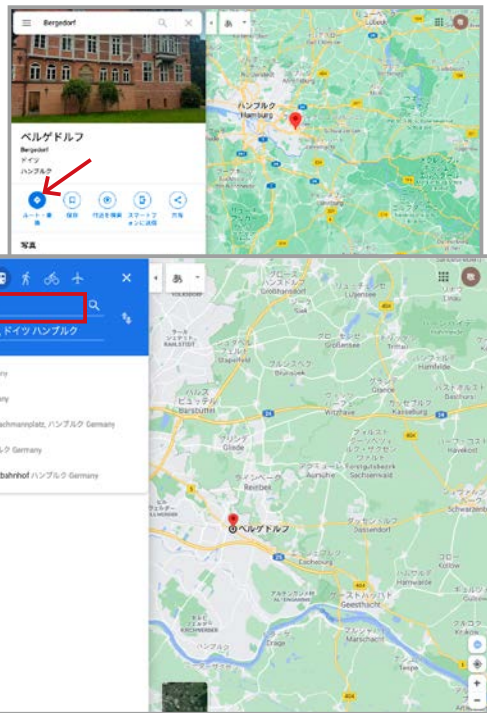
すると、一部を入力しただけで、推測機能が働き、地名がいくつか表示されるのです。

「Aaa」「Ua」では、それらしきものが出てこなかったのですが、残りの3つから次のような候補が表示されました。

Hamburg, Hannover, Harburg, Magdeburg, Mannheim, Maschen, Mainz, Wandsbek, Walslode, Wacken, Warnemünde

ここで再び宛先一行目を見て、これら候補の可能性を検証します。

「a」のすぐ次はよく読めないのですが、その後ろ(右図)は「burg」に見えます。文字数の関係でMagdeburgではなさそうだと言うことから、候補は、HamburgとHarburgに絞られました。残った「r」とは読めませんが、「m」には見えます。この様にして、地名推測機能で候補を絞り込めたお陰で、宛先をハンブルグと読みとる事ができました。





[コラム] 今更聞けないフィラテリー (7)

桜切手カナ 2 銭黄、和紙と洋紙の区別

編集部まとめ、取材協力 Mr.X

明治 7 年の製造面の変化 (1874 年)

明治 5 年後半から 9 年前半まで約 4 年間製造された桜切手において、明治 7 年は目に見える製造上の変化が二つ起きた年でした。一つは用紙の変化で、この年に和紙が洋紙に置き換えられました。もう一つはカナを彫り入れた印刷版への切替でした。

これら二つの変化はほぼ同時期に意図されたものでしたが、製造現場で同期を取って導入されたものではなかったため、ごく限られた額面の切手には、「カナなし・洋紙 (2 種類)」と「カナ入り・和紙 (4 種類)」という過渡期に製造された切手が存在します。これらは、その前後に発行された切手と比べると、概して高いカタログ評価を受けています。

今回は「カナ入り・和紙」という過渡期製造分の存在する『桜切手カナ 2 銭黄』の和紙と洋紙の区別についてまとめてみました。

製造時期・出現時期に大差ない、和紙と洋紙の、2 銭「イ」

手彫切手専門カタログなどを見て、過渡期と、その後の切手を見比べると、発行日や最初期使用例の確認時期にほとんど差がないことが明らかになり、製造時期に大差なかったことが推定できます。

和紙に存在するカナ「イ」「タ」が共に洋紙にも存在することから、新しく製造されたカナ入り 2 銭切手の印刷版の製造にあたり、最初は和紙が使用されたが、すぐに洋紙に置き換わったことがわかります。

	和紙	洋紙
発行日	M7.2.-	M7.2.-
推定発行数	10.4 万枚	2000 万枚
カナ種類	2	23
カナ一つあたりの印刷版数	2 版	1 ~ 3 版

公式リブリントの性格を持つ、和紙 2 銭「タ」

ただしこの推測が正しいのはカナ「イ」についてのみです。カナ「タ」については、後年、外国人切手商からの「和紙 2 銭切手の未使用が欲しい」という求めに応じて約 100 シート製造され、使用済の存在しない切手であることがわかっています。このような性格の切手は海外では公式リブリントに分類されることも多いので、その性格がある切手という前提で捉えることが肝心です。

和紙 2 銭「タ」のこのような性格を考えると、カナ「タ」の和紙と洋紙の区分は簡単で、まず、和紙 2 銭「タ」には使用例が存在しないはずですから、実通消しであれば、和紙の可能性はゼロに近いと言えます。和紙 2 銭「タ」の知られている使用済は、東京ボタの贈呈消しと欧文 CTO だけです。

なお洋紙 2 銭「タ」は未使用が少なく、カタログ価格は和紙 2 銭「タ」の五倍くらいの評価がされていますので、2 銭「タ」の未使用はまずは和紙 2 銭「タ」の可能性を考えて良いと思います。

次に確認すべきは目打ピッチです。和紙 2 銭「タ」には「9s」と「11s」の 2 種類のピッチが確認されていますが、この内、「9s」は洋紙 2 銭「タ」には未確認の目打ピッチですから、その場合は、和紙 2 銭「タ」の可能性が強まります。

洋紙 2 銭「タ」には「11s, 11m」と「12.5」のピッチが確認されていますが、この内「12.5」のピッチのものは和紙に未確認の目打ピッチですから、その場合は洋紙 2 銭の可能性が強まります。つまり、黄 2 銭「タ」で粗い目打のピッチは和紙、細かい目打のピッチは洋紙の可能性が強いという事です。

ここまで候補を狭めた上で、和紙特有の毛羽立ちや目打抜けの悪さを見ることをお勧めします。詳細は次の 2 銭「イ」の項で述べます。



和紙 2 銭「タ」 p.9s



和紙 2 銭「タ」 p.11s



洋紙 2 銭「タ」 P.12.5

和紙 2 銭「イ」の区分方法

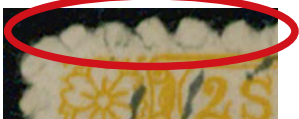
カナ「イ」に戻しましょう。カナ入り 2 銭切手に使用された用紙における和紙の割合は、0.5% 程度です。カナ「イ」に限っても 10 対 1 くらいの発行数であり、存在数一桁と言われる和紙 2 銭「イ」の未使用の珍しさは洋紙 2 銭「イ」を圧倒し、使用済のカatalog評価も十倍以上の開きがあります。

従って、未使用、使用済を問わず、洋紙 2 銭「イ」の可能性が高いことになりますので、2 銭「イ」については、最初から和紙特有の毛羽立ちや目打抜けの悪さがないかを見ることになります。

右に示したサンプルは全て和紙 2 銭「イ」です。

和紙は洋紙に比べて長い繊維質を含む為、目打の山から繊維のモワモワが見える事が洋紙よりも多い点は第一の特徴です（下図上）。

また目打穿孔機に不良がないにも関わらず、繊維質が邪魔をして目打穿孔が不良に見えるのも和紙の特徴です（下図下）。



(図版:スタンペディアオークション)





[コラム] 今更聞けないフィラテリー (8) 郵便全体に対する年賀状の割合

編集部まとめ、資料協力：矢部 憲一

普通郵便物配達帳を分析すると、明治の郵便が見えてくる

フィラテリストマガジン第27号(2020/6/30 発行)で矢部 憲一氏が公開した「越生郵便局 普通郵便物配達帳」は、第一級の一次資料で、明治の郵便の状況を分析したい時に、多角的な視点から活用できると思います。



この資料には、明治43年1月1日から12月31日までの1年間に、越生郵便局(埼玉県)が配達した郵便物の数量が記録されています。全ページが、第27号の付録としてマイスタンプEDIAにてダウンロードできますので、様々な目的でご活用いただければと思います。

今回は、これを使い、郵便全体に対する年賀状の割合を調べてみたいと思います。

逓信省・郵政省のドル箱 年賀郵便事業

明治維新の頃は一部の商人・士族の嗜みであった年賀状交換は、葉書の発売開始と共に徐々に一般化し、正月の行事として大衆に楽しめる様になりました。制度的には明治39年(1906)11月に「年賀特別郵便規則・年賀郵便特別取扱規定」が制定されたのが始まりですが、その頃には、葉書による年賀状のやり取りがすでに盛んになっていました。

ところで、上記規則・規定が最初に適用された明治40年(1907)の年賀郵便の取扱数は約4億通だったと言われています。これが多いのか少ないのかは分母となる郵便総数が示されないといまいちピンときません。

そこで、この「越生郵便局 普通郵便物配達帳」を用いて、年賀郵便と思われるものとそれ以外の割合を調べてみることにしました。付録PDF全178ページを捲っていくと、月ごとの合計通数も計算されているため、比較的簡単に年間の郵便物配達数を計算する事ができます。

月日便名		45.1.1 三ツ星印	45.1.2 三ツ星印	45.1.3 三ツ星印	45.1.4 三ツ星印	45.1.5 三ツ星印	45.1.6 時刻入印	合計
局外配達	配達區名							
	市内	4,718	3,822	3,983	1,892	826	953	16,194
	市外	7,591	6,645	8,124	4,218	1,052	1,281	28,911
局内	私書函							
	局渡	21	34		4	6	7	72
	自局到着	7	8	12	3		8	38
廣告郵便								
事故持戻		市内 41 市外 219	市内 61 市外 196	市内 28 市外 121	市内 12 市外 48	市内 6 市外 21	市内 6 市外 37	
再達返戻		市内 25 市外 120	市内 29 市外 126	市内 15 市外 92	市内 2 市外 21	市内 3 市外 18	市内 1 市外 27	
集配人出發時刻		未記入	未記入	未記入	未記入	未記入	記入あり	
同歸局時刻		未記入	未記入	未記入	未記入	未記入	記入あり	
取扱者印		あり	あり	あり	あり	あり	あり	
集配人印		なし	なし	なし	なし	なし	あり	
適用		四	三、二	二、四	二	二、三	五、六	

明治 45 年 1 月 1-6 日

月		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
局外配達	配達區名													
	市内	21,922	4,500	5,318	5,257	5,370	5,419	5,111	5,384	4,759	4,359	4,706	5,382	77,487
	市外	39,351	9,462	10,265	9,866	10,369	9,764	10,170	10,096	9,209	9,815	9,495	11,505	149,367
局内	私書函													
	局渡	86	7	1	5	9	15	2	5	16	19	8	5	178
	自局到着	198	199	254	308	303	335	272	216	284	329	289	298	3,285

明治 45 年 1-12 月

残念ながら、この配達帳には、年賀郵便であるか否かは、分けて記録されていません。従って、算出できる数字は、以下の様になりました。

$$\frac{1/1-6 \text{ の郵便物の配達数}}{1 \text{ 年間の郵便物の配達数}} = 0.1988$$

これは、明治 43 年の年間の郵便配達数の内、約 2 割は年賀郵便だったことを示しており、年賀郵便がドル箱であることを示しています。もちろん、埼玉県越生郵便局に限った数値ではありますが、日本の平均に対しての特殊要因が大きい郵便局とも思いませんので、明治末期の年賀郵便の重み付けがこの様な物だった事がよくわかると思います。

大正時代になり導入される機械印は、まさにこの年賀状の抹消を目的に開発や輸入が行われますが、年間取扱郵便物の 2 割が集中するのであれば、確かにこの時期をいかに効率化して乗り越えるかと言う点に力点が置かれて郵便事業が経営されたことも頷けます。

イマ
キケ

[コラム] 今更聞けないフィラテリー (9)

明治時代に公用郵便の料金はどのように精算されたか

編集部まとめ、取材協力 日本切手研究会

公用郵便（約束郵便）って何？料金は無料だった？お金はどうやって支払った？

明治16年(1883年)から全国で始まる約束郵便は、その前の時代の「地方管内官民往復郵便」「地方郵便」を引き継ぐ郵便種別ですが、同じ公用便であるにも関わらず、人気はだいぶ落ちます。その理由は、約束郵便が原則としてスタンプレスカパーである為です。しかしなかなか面白いものです。

「約束郵便」は、明治16年1月2日から実施された、駅通局と府県の間の特別契約による郵便制度である「特別地方郵便制度」下で差し出される公用郵便制度および同制度下で取り扱われる郵便物のことです。

なおこの制度を先行して明治14-15年に駅通局と契約した府県として愛知県、埼玉県他が知られています。

右の図のスタンプレス公用便は、この「約束郵便」もしくはその先行事例に該当するマテリアルですが、使用年は判明しません。(「明治十 年 月 日」というスタンプが押されているが、残念ながら数字の記入は失念されている為)

切手が貼っていない事から分かる通り、切手をいちいち貼らない＝お金をいちいち支払わないですむことが、この公用郵便の自治体にとってのメリットの一つですが、公用郵便は無料郵便ではありません。

あくまで駅通局が府県と特別契約して、差出時に切手を貼ったり現金を支払う必要がない契約にただけで、有料郵便物であることに変わりはありません。

支払いルールは「特別地方郵便法」に定められており、前年度の郵便料金の総額を事前納付する事でした。

この為、郵便局は、新たな約束郵便の引き受けにあたっては、その記録をとる必要がありました。それを一年分ため、総額を算出することにより、翌年度の約束郵便の契約にあたり、役所側が支払う一括前納金額が決定されるからです。

集計方法については、統一の集計フォーマットが強制されたわけではなく、メモ程度の用紙で集計していた局もあります。羽前国北村山郡延澤郵便局(現、山形県尾花沢市延沢局)の事例を次ページに紹介します。

スタンプレス公用便

山辺武射郡役所(東金町に設置された2軍を管轄する郡役所)から山邊郡内の戸長への約束郵便
上総/山邊/東金 10.2 → 上総/山邊/大網 10.3

図版提供: スタンペディアオークション



こちらをご覧くださいと分かる通り、延澤局では、差出人に応じてメモを分けず、取り扱った全ての約束郵便について、日付順に金額等を記載すると共に差出人等を記録していました。約束郵便の取扱数が少なかったことも一因でしょう。なお取扱日付は日付印で示しています。これを一年の終わりにまとめて、差出人ごとに金額を集計し、翌年度の前納金額として提示したものと思われます。

こちらの集計用紙は、JPS オークションに「取扱記録簿」という説明文で出品され、消印の押印記録簿と誤解しスタート値で入手した落札者が、日本切手研究会の第2回オンライン郵趣例会(6/14)で、「なんじゃらほい?」と尋ねて『約束郵便の翌年度事前納付金額決定の為の集計記録』であることが判明したものです。なお、出席者に専門家がいらっしやり、約束郵便は同一県内宛てのみ有効な為、仙台行きの郵便物には無効であり、11/4 引受分を約束郵便として取り扱うのは延澤郵便局の取扱ミスで、仙台では未納郵便物として取扱われた可能性があるとのコメントがありました。



延澤	延澤	延澤	延澤	延澤	延澤
二銭	二銭	六銭	二銭	二銭	二銭
二本	二本	一本	一本	一本	一本
黒川先生	東村山役所	仙台 小野田???	延?裁判所	郡役所	郡役所
宛	山???				



[コラム] 今更聞けないフィラテリー (10)

EXCEL でリーフを作ると失敗しがちな理由

編集部まとめ

アルバムリーフは、たいていの DTP・文書作成ソフトで作る事が可能な時代になりました

「リーフ作りに、どのソフトウェアを使うと良いか」に関する議論は 1986-1990 年頃に、IT に先進的なフィラテリストの間で起こり、その研究を活動の中心に置く『パソコン郵趣サークル』も登場し、活発に活動していました。

『アルバムリーフをパソコンで制作できないか』という話題は、この様な切手サークルにおける中心的な話題の一つで、専用のオリジナルソフト (約 \$200) を制作した郵趣家も居たほどです。しかしながら、現在の趨勢を見れば、小さい市場向けのアプリケーションよりも、汎用的アプリケーションの方が実現できる機能が良質かつ豊富であり、我が国だけをとっても、様々なアプリケーションソフトで、切手のリーフが制作されているのが現状です。

リーフ作りに最適なアプリケーションの選択肢は提示しづらい

「どのソフトがリーフ作りに最適か？」と言う議論を時々見かけますが、この質問に正しく答えるには、候補となる複数種類のソフトウェアの実務に基づく比較経験が必要です。しかしながら、よく見る回答の大半は自分が使用するソフトウェアの長所だけを言っているにすぎず、回答になっていないと思います。この様な回答をしてしまう傾向は特定のソフトウェアに詳しいという自負を持つ人にありがちです。

しかしながら、そもそも家庭用 PC におけるリーフ作りに適したソフトウェアの選択は、マシンパワー、予算、リーフ作りに割くことのできる時間などが要素となり決定される話ですので、人によって正解は異なります。

スタンペディアの編集チームに所属するフィラテリストは、仕事柄、代表的な DTP ソフトである、adobe indesign を使用しており、恐らく他のどのソフトよりも効率よくリーフ作りを行っています。しかし、このソフトをリーフ作りに活用できるのは、日頃から DTP を仕事にフル活用している技量があるからで、コストや操作性の難易度の点から、それ以外の方にはお勧めできません。

従って、時代的に、たいていの文書作成ソフトで、リーフを作る事ができるわけですから、自分の好きな使いやすいソフトをまずは使えば良いと思います。ただ一点だけ次の項目は見逃さないことを勧めます。

リーフ作りに向かないアプリケーションソフトの使用はやめた方がよい

お勧めの提示は難しいのですが、使うのをやめた方がよいソフトで、日本の郵趣界で広く使われているアプリは簡単に言えます。それは、バージョンの古い MS-WORD と MS-EXCEL です。

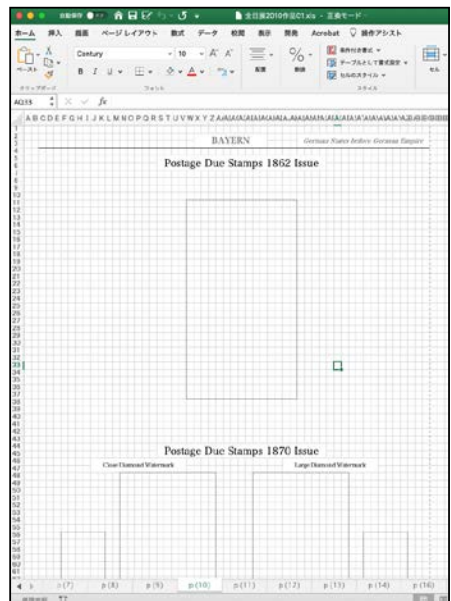
理由を説明する前に、読者に理解して欲しいのは、1990 年代に DTP ソフトが台頭するまでの期間、パソコンソフトの主要な役割は、まず画面に何を描画し、それを複雑化する事であり、画面に見えている物をそっくりそのままプリンターに出力する事への意識は、当時のアップルを除けばさほど高くなく、需要も小さかったという事実です。

エクセルで表やグラフを作ったり、ワープロで会議資料を作っても、それが1mmと違わずにそのまま出力される必要性は、DTPやCADと言った分野を除けば、ビジネスではあまり高くありませんでした。

むしろプリンターの能力に応じて、適度に縮尺や拡大が自動的にかかり印刷されることの方が、ビジネスにおける需要には合っていたのです。

このようなアプリケーションの特性は、ミリ単位でレイアウトされ、そのまま印刷される事を期待するリーフ作りには致命的で、画面で時間をかけて綺麗に作ったリーフ（右図）が思い通りに出力されない。何枚も用紙（リーフ）を無駄にした。という経験をされた方も多いと思います。

この不具合は、パソコンを買い替えたり、プリンターを買い替えた時にも生じ、買い換えるまではピッタリと印刷できていたにも関わらず、買い替えた後に印刷すると急に縮小されたり拡大されて印刷される事が起きてしまいがちでした。



エクセル方眼紙で作成したリーフ

マイクロソフト製品の図形挿入機能

ただ、マイクロソフト製品に、ミリ単位で長さを設定して長方形を任意の位置に配置する「図形挿入」機能が導入されてから、かなりの期間が経過しています。この機能の使い勝手はリーフ作りには悪くなく、これを上手に用いれば、以前のバージョンに比べて劇的に失敗印刷が減ると思います。特にマイクロソフト・ワードは最新版であれば、これまでの問題はほぼ解決していると思います。

同様の理由で、マイクロソフト・パワーポイントと言うアプリケーションも、リーフ作りには適しており、画面で見たままのものの出力結果が得られます。

アプリケーションのバージョン次第

もっとも前項で説明した図形挿入機能が問題なく使えるバージョンでなければ、リーフ作りはうまくできませんし、依然としてMS-Excelで野線の方眼紙の様にリーフ作りをしても問題点は解決されません。

収集家は必ずしも最新のバージョンを正しく使っている方ばかりではないと思いますので、一度お使いのソフトに図形挿入機能がついており、それを活用してリーフ作りをしているかをご確認ください。

繰り返しになりますが、図形挿入機能が導入されていない／活用できていない、マイクロソフト・エクセルの場合は、リーフ作成には全く向きません。

コラム：郵趣振興協会の提供するサンプルリーフ

郵趣振興協会は、スタンペディアプロジェクトのサポートを受けて、MS-WORD や MS-Powerpoint で使える A4 リーフの雛形を無料で配布しています。ご関心のある方は協会ホームページをご覧ください。



連載 クラシック切手 (11) 喜望峰

1853 三角切手・一番シリーズ

吉田 敬

1853.9.1 英領ケープ植民地、三角切手 2 種類を発行

喜望峰三角切手は、国際展に伝統郵趣部門で挑戦するにあたり「選んではいけないシリーズ」の筆頭にあげられることが多いお金のかかるシリーズです。しかし、選んではいけない他のシリーズ、例えば「英国」「スイス」「ブラジル」「米国」「モーリシャス」の初期が 1840 年代に発行が始まっているのに比べて、一番切手の発行年はぐんと遅い 1853 年です。

変形切手であることや、現地製造の暫定切手（ウッドブロック）の存在、そしてその買い入れで発展の基礎を作ったスタンレー・ギボンス社の逸話で人気を博した時期もありましたが、ウッドブロックを除く切手のカタログ価格は、英国やスイスほどではなく、実勢価格はさらに安価です。

安価だと言っても有名なクラシック切手ですし、重厚感は一級品です。日本のオークションにも登場する事が多く、使用済単片だけでなく未使用やマルチブルの入手機会もあります。是非、一度はお手にとっていただきたいクラシックの一枚です。

モーリシャスなどと違い、一番切手の製造は英本国（パーキンス・ベーコン社）に発注され、1853 年 4 月末から 1 シート 240 面（15*16）の印刷版により製造が始まりました。なお、DIE については最初に 1 ペニーの DIE が作られ、その後でそれを利用して 4 ペンスの DIE が作られました。

初回製造分は船で英領ケープ植民地に運搬され、1853.9.1 からケープタウン中央局などで販売されました。ちなみに、書状基本料金（重量 ½ オンスまで）は、4 ペンスで、1 ペニーは新聞用料金でした。

その後 1855 年になり、2 回目の製造分が英国から到着しますが、同時期に英パーキンス・ベーコン社では製造上の重大な変化が起きており、結果としてそれが初回製造分と 1855 年製造分を区分する材料になっています。



1863-64 製造分 8 枚ブロック
(図版：スタンペディアオークション)

実は、1841 年から 1855 年にかけて英パーキンス・ベーコン社の凹版印刷機で製造された切手には、印刷用紙である白紙が印刷を終えると化学反応で青味がかかる事象がありました。カタログでは、bluish paper と記載されていますが、これらは決して Blue paper（青色の用紙）ではなく、化学反応で「青味がかった白紙」なのです。製造年代の新しい喜望峰三角切手については、初回納品分が、この bluish paper（青味がかった白紙）であり、1855 年以降の分は、この事象が再現しなくなったため、白紙となっています。

Bluish paper は化学変化ですので、青味がかり方に個体差がありますが、初回製造分は、この化学変化が明確に確認できるものを指しますし、カタログ価格も白紙に比べると若干高くなっています。青味がかりが明確に現れている未使用切手を掲載しますので、ご覧ください。特に 1 ペニー切手の「ONE PENNY」の文字のあたりを見ていただくと、赤インクで印刷されていない部分が白紙ではなく、Bluish paper である事がよくわかると思います。



1853 COGH 1d, 4d

最後に使用済ですが、青味がかりの具合がとてもよくわかるマルチプルが手元にありますので、ご紹介します。カタログでは、Deeply bluish paperと表現されることもあります。ここまで青味がかると、（製造管理上はよくないことなのでしょうが）芸術的にも思えてきます。



和紙青一銭（通称青一）について

高橋卓雄

四隅に桜の花をあしらわれている桜切手が、明治5年7月20日に発行されました。最初は仮名無しで発行されましたが、その後仮名入りに移行しました。

桜切手は半銭から30銭まで、用紙やカナの有無も含めて多数発行されましたが、私は和紙一銭について専門的に収集しました。

和紙青一銭の原版は26版あります。26の原版それぞれに40枚の切手が手で彫られました。ということは印面の違う1,040種類の切手があるということです。一人で全面集めた人は今まで聞いたことがありません。しかも1,040枚で完集ではありません。印刷所の違いや仕上げの方法まで違う切手が存在します。

1版から4版までの版には、松田印刷と政府印刷の2種があり、さらに中間印刷と言われる切手もあります。先ほどの1,040枚に、政府印刷160枚、中間印刷160枚を加えると、青一切手1枚を、1,360種類に分類できることが分かります。



青一の1版から26版は、シート写真が撮影されていたので、市田左右一氏が版別特徴を研究し26版までのそれぞれの切手のポジションが確定しています。したがって、もし青一をお持ちでしたら、この写真より、どの版のどの位置かが判別できます。この版の区別が分かるようになると楽しみが倍加し、掘り出し物を見つけるチャンスが高くなります。

目打ちで集めるのも楽しみの一つです。青一にはMLL目打があります。大きな穴の目打穿孔で、一度覚えると忘れません。カタログでは使用済で15万円以上の評価がついています。

エンタィアで青一を集めるのも面白いです。消印では大型検査済、不統一印、二重丸型印、記番印等多数あります。配達経路で集めたり距離制の料金から均一料金になったり、高額切手の発売遅延で多数枚の使用例があったりして、楽しめます。

ところで、印刷版の製造にあたり、26版分を1人の彫師が彫るのは不可能な為、数人の彫師で分担して作業を行いました。版によっては、1つの版を2人の彫師が分担した事例もあります。それは8版と25版の二つです。例えば8版において、pos.1~16とpos.17~40は別々の彫師が担当しました。この違いを分類したリーフがありますのでご覧ください（次ページ）。

このように、手彫切手を集める上で青一に勝るものはありません。原版分類の手頃さ、それが確定されていること、印刷所の変革、いわゆる松田・中間・政府印刷の相違、使用例の多様性、大型地名入り検査済から記番印等への種類の変化、どれをとっても尽きない面白さがあります。

私の収集した青一の一部を掲載いたします。どうぞご参照ください。

和紙桜青 1 銭

政府印刷

第 8 版



Pos.11
大阪N1B1
明治6年11月3日



Pos.1-9
山城伏見不統一印
「伏水検」



Pos.13
大阪N1B1
明治7年9月5日

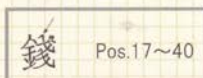
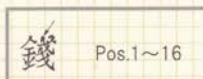
サドルペア



Pos.15-23
東京N1B1
明治6年10月29午前

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40

サドルペア位置



上 2 段と下 3 段との相違



Pos.19
陸中盛岡 N1/K
明治7年5月2日



Pos.20
東京N1B1
明治6年12月



Pos.25
東京N1B1
明治7年3月28日
朝便

彫師 2 名で作成された第 8 版
上 2 段と下 3 段で「銭」の字に異なる特徴が見られる。

和紙桜青 1 銭

松田印刷

MLL 目打
10 X 10

第 3 版



Pos.12



裏面コピー
(70%)

抹消印	角検
証示印	発西(明治6年)3月18日
	東京郵便役所
宛先	東京飯倉町(麻布)2丁目
料 金	1銭:市内基本料金1銭

MLL 目打の使用例

和紙桜青 1 銭

政府印刷

第18版

再構成シート



1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40

印面変種 Pos.

Pos.2



菊 浮花

Pos.19



菊 左下軽彫

リコンストラクション中の第18版
あと1ポジションで完成です！

和紙桜青 1 銭

政府印刷

第19版



抹消印 山城 伏見「伏水検」
証示印 「東街道 伏水驛 二等郵便役所」：「四日」
到着印 大阪 N1B1 明治7年1月5日 朝便
料 金 2銭：市外基本料金

Pos.27・28

不統一印のカバー

和紙桜青 1 銭

政府印刷

第14版



Pos 1 7.1 8



裏面コピー
(70%)

記番印 ヌ第六号 加賀国美川
 沫消印 KG美川 加賀石川 9.18
 中継印 N 1B1新潟 明治8年9月22 午後
 宛先 秋田 9月27日
 料 金 2銭: 市外基本料金2銭

記番印のカバー

和紙桜青 1 銭

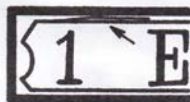
政府印刷

第15版

未使用シート



Pos. 11, 12



Pos. 3



Pos. 40

第 15 版の未使用シート

円位塔航空切手 25 円のシェードバラエティ

行徳 国宏

「私の発見」コーナーに改めてエントリーするほど皆が知らないバラエティではないけれども、突き詰めて考えた人はいないと思うのが、円位塔航空切手 25 円のシェードバラエティです。百聞は一見に如かず。まずはシェードの違いをご覧ください。



この切手の発行日は、1953 年 7 月 10 日（昭和 28 年）で、同時期の普通切手は第二次動植物国宝シリーズでした。ローマ字なしの動植物国宝では 25 円切手は発行されませんでしたから、この切手は 1966 年（昭和 41 年）に、新動植物国宝 25 円紫陽花が出るまで現役だったと言えます。

この間 13 年間。当時の複製技術の低さを考えれば、この程度のシェードバラエティが出るのは肯けますが、それにしても色はだいぶ違います。カタログを見ると、円位塔航空切手 25 円は印刷版が 2 つに分けられますが、両方ともタイプ II で、右の未使用ブロックの裏糊は PVA 糊でした。

スクリーン線を調べることはうまくできなかったのですが、左の薄いシェードの使用済ストリップの日付印（下カバーは右図）は昭和 37 年（1962 年）です。スクリーン線 180 の出現は丁度この頃からのので、原因はそこにもあるかと思いますが、是非どなたか目の良い方、調べてみてもらえないでしょうか？



「東郷 4 銭」に「7.9.16」

安藤 源成

一昨年の「関西郵趣家・新春の集い」の酔っぱらいオークションで、寄付金のつもりで、中身も吟味せずに束物を落札しました。帰路、新幹線の中で束をほどき1通のエンタイヤに目が留まりました。

「東郷 4 銭」に「7.9.16」(図 1)と読みました。一桁の年号数字「7」は「17」の「1」の欠けたものか?と思いましたが「未納不足八分 / 大連中央」の印が押されていたのを見て、同様の印の押された「新楠公 2 銭葉書」がある事を思い出し、この書状は、昭和 12 年 12 月 1 日に南満州鉄道附属地が満州国に移管された後に使用されたものだ気づきました。



図 1 奉天中央 7.9.16

日本郵政が満州郵政に移管後、年号は「高德」に改められ、日本切手・葉書は昭和13年2月29日(高德5年)まで暫定的に使用が認められました。しかし、3月の使用例(図2)が存在するので3月末まで延期されたのではないかと考えられます。

それをすぎると、満洲では日本切手を貼った郵便物は無効とされ、図1は無効使用例となります。無効切手・葉書は、『を赤又は黒で書き(図3)余白に日付印を押し切手・葉書の通常抹消をしないのがUPUの定めです。



図2 高德 5.3.12

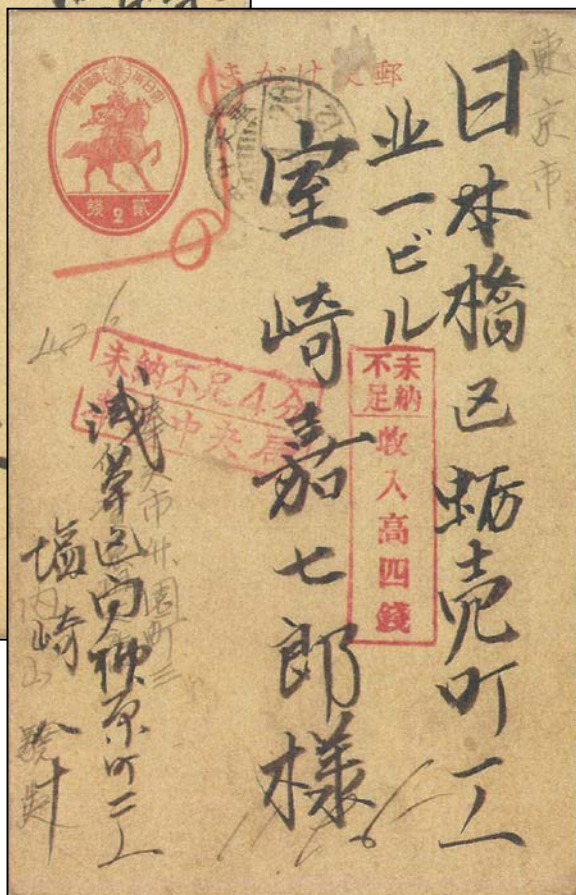


図3

例外的に通常抹消された事例も存在します（図4・5）。

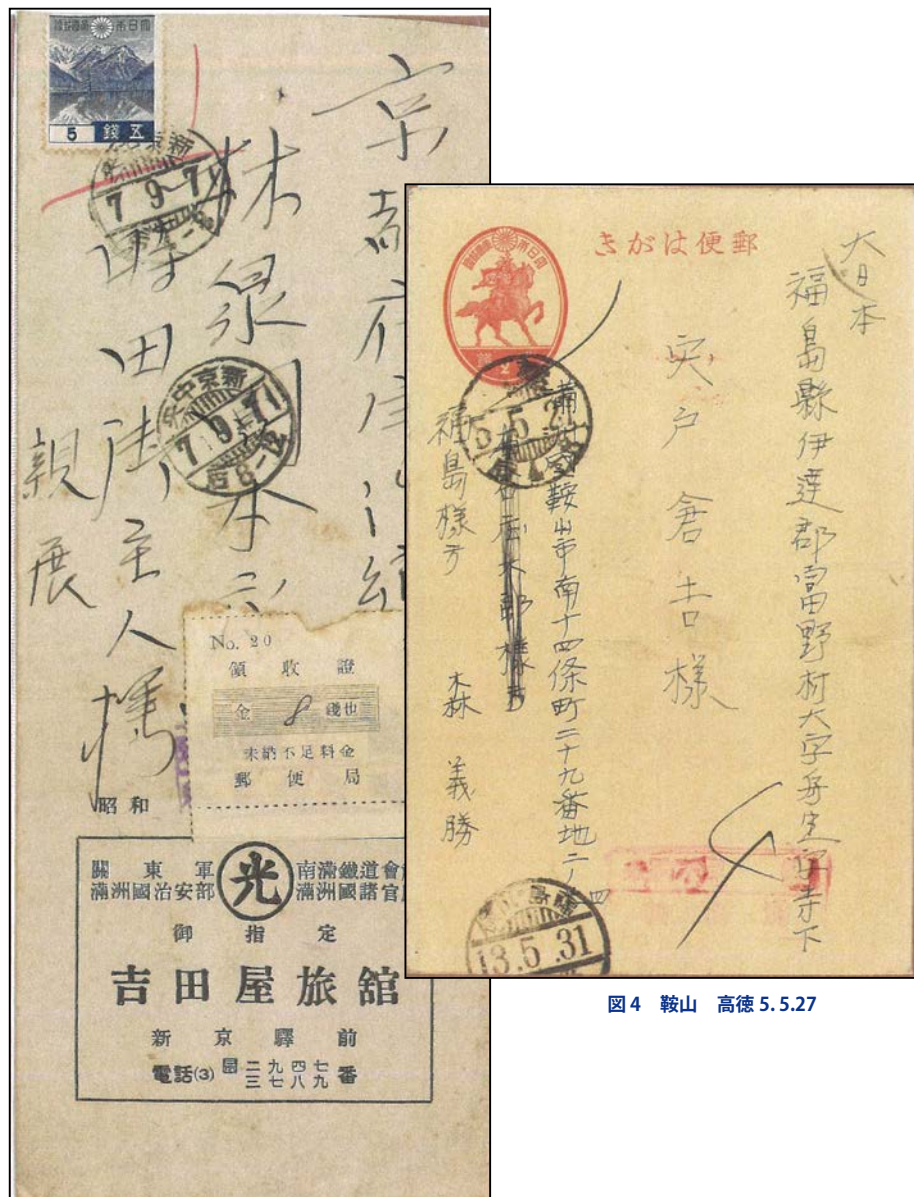


図4 鞍山 高徳 5.5.27

図5 新中央 高徳 7.9.7

参考までに日本（内地）からは内国料金と同じ料金で送達できます（図6）。図7は、官製葉書を台として使った内地宛私製葉書。

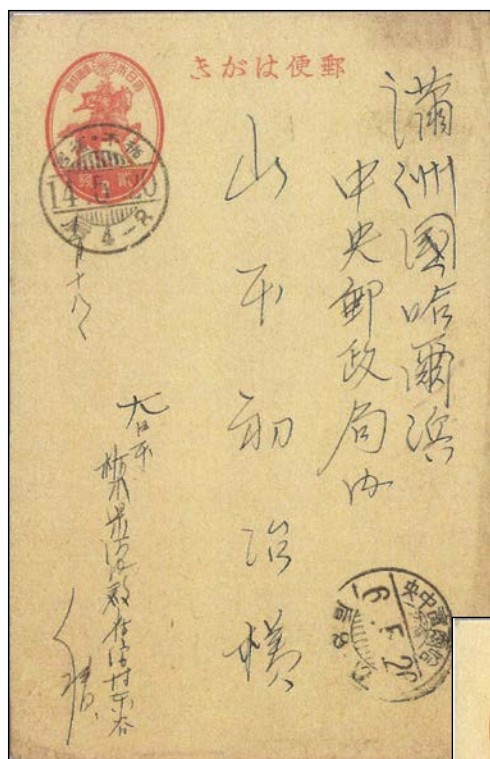


図6 → 哈爾濱中央 6.5.26

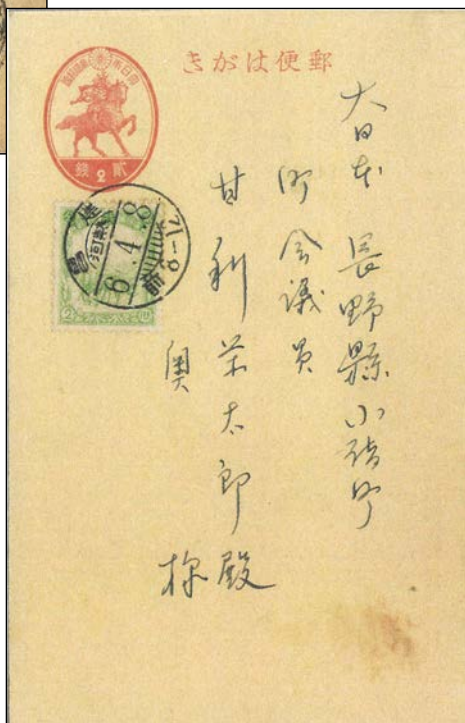


図7 建昌 6.4.8

なお、関東州は満洲からは除外され、日本郵政の管轄下にありました。(図 8-1, 8-2)



図 8-1 大連中央

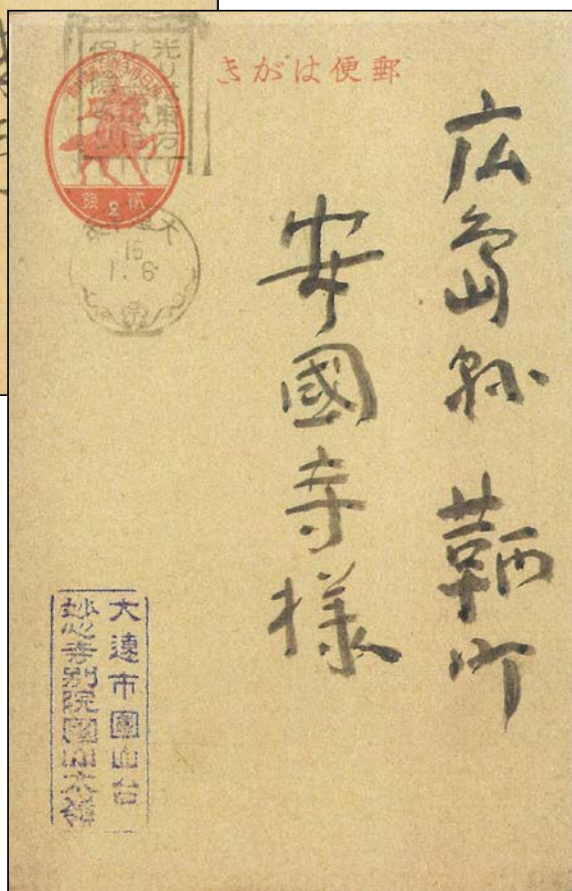


図 8-2 大連中央 16.1.6

南方占領地のフィラテリー (14)

北ボルネオ / 「大日本帝国政府」 加刷

守川 環

今回から数回にわたって北ボルネオについて解説をしていきたいと思います。北ボルネオは南方占領切手の中でもとりわけ残存数の少ない地域で、稀少局では実通カバーはおろか単片の使用済みですら貴重です。最初に「大日本帝国政府」加刷、いわゆる北ボルネオ一行加刷を紹介したいと思います。

7 個作られた「大日本政府加刷」の判子

大日本帝国政府加刷の判子は 7 個作られ、それぞれ区別が可能です。7 個は、ジェセルトン局とブルネイ局に各 2 個、クチン局、サンダカン局、ラブアン局に各 1 個が配布され、占領前に発売されていたサラワク、ブルネイ、北ボルネオ、海峡植民地切手への押捺に使われました。

これらの判子押捺切手は、1942年10月1日に発売されましたが、それ以前に日本から昭和切手が到着しており同日から無加刷で発売された為、判子押捺切手用はブルネイ局を除き 2～3 カ月で販売が終了し、その使用例は大変貴重なものとなっています。なお、本来の発行日の前日の 1942年9月30日に実際には発売されています。



クチン局でサラワク切手を台に判子押捺された切手

クチン（久鎮）局は、サラワク切手に判子を押捺し、同局で発売したほか、ミリ（美里）局、シブ（志布）局、リンバン局に配布し、各局で発売させました。各局で販売された切手は、配布先ごとに意図的に押捺方法を変更したと考えられ、区別が可能です。

クチン局発売分の台切手は1セントから50セントまでの20種類が確認されています。判子押捺位置が上部に行われました。インク色は当初は黒色と赤色でしたが、後に贈呈用に紫色が使用されました。従いまして、贈呈用の紫判子押捺切手に使用例は存在しません。



ミリ局発売分の台切手は1セントから3ドルまでの10種類が確認されています。判子押捺は切手下部に行われているのが特徴です。インク色は黒または紫が使用されました。（次々頁に使用例）



シブ局発売分の台切手は3セント黒、50セント、1ドル、2ドルの4種類のみが確認されていますが、いずれも未使用しか確認されておらず使用例は未確認です。判子押捺が左下から右上に斜めに行われているのが特徴です。インク色は原則として青ですが、3セントのみ紫と青の二重押捺となっています。



リンバン局発売分の台切手は 2 セント緑、3 セント緑、5 セント、6 セント赤、8 セント赤、12 セント青の 6 種類が確認されています。判子押捺位置は切手中央で、インク色は原則として紫ですが、2 セントについては黒加刷も確認されています。(次ページに使用例)



なお、台切手となるサラワク切手は王の肖像図案ということから、1942年12月6日をもって使用禁止となり、その後は判子押捺切手も含めて「収入」(下図左)や「封緘紙」(下図右)が加刷され、それぞれの用途に使用されました。



クチン局の贈呈用紫加刷について再度ご説明いたします。

前述の1942年12月6日を持っての王の肖像図案切手の使用禁止後に、軍上層部の命令により残っていた無加刷のサラワク切手の全額面にあたる 26 種類に 2 シートづつ判子押捺作業が行われ、贈呈用に製造されたと考えられています。使用されたインク色は紫色で判子押捺位置は切手上部でした。

この内の 1 種と考える 3 ドル切手には、上部に紫、下部に黒で加刷されたものがあります。これは、3 ドル切手の台切手が不足したため、ミリ局配布用切手を回収して再加刷したものと考えられています。

なお、この贈呈用切手には偽加刷が存在します。そして、その偽加刷切手を貼った美里局消印のカバーも存在し、そのカバーから剥がしたと思われる使用済がマーケットには出回っています。贈呈用切手には使用例は存在しませんし、しかも製造局はクチン局ですからミリが押されるはずはないので少し考えれば分かることですが、加刷も消印も偽物ですので、ご注意ください。



ミリ局発売分貼り 美里 / ボルネオ → Kuching, 17 10 5 (1942)



リンバン局発売分貼り LIMBAN → BRUNEI, 4 / NOV / (19)42

ジェセルトン局で北ボルネオ切手を台に判子押捺された切手

北ボルネオ切手はジェセルトン局とサンダカン局の2か所で判子の押捺が行われました。その内、ジェセルトン局では、原則として、切手の印面上部に押捺を行い、インク色は黒または紫でした。同局に配布された2つの判子が、それぞれどの額面に押されたかは未解明です。(下図左)。

例外として、管轄下のクダツ局への配布分(判子押捺位置:印面中央、インク色:黒、下図右)や、パバル局への配布分と考えられている切手(判子押捺位置:印面下部)などがありますが、いずれも残存数は少なく研究課題です。



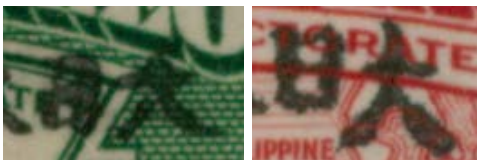
なお、不足料切手への加刷は初期の黒加刷と贈呈用の紫加刷があります。(右図)



サンダカン局で北ボルネオ切手を台に判子押捺された切手

サンダカン局での押捺に使用されたインク色は黒のみでした。同局で製造された切手は、ラハダツ局、タワオ局へも配給され発売されました。(下図左)

ジェセルトン局、サンダカン局ともに、1セント、2セントに WAR TAX と加刷された台切手を使用しましたが、元々の発行目的は無視して普通切手として使用しました。(下図右)



ジェセルトン局(左)とサンダカン局(右)に配布された判子の区別は、「大」と「日」の位置関係で加納。後者では「大」の高さが「日」の1.5倍ほど。

ブルネイ局でブルネイ切手を台に判子押捺された切手

ブルネイ切手の1セント、2セント緑、3セント、6セント灰、6セント赤、8セント灰黒、12セント、25セント、30セント、50セントの10種類を台切手に、判子押捺が行われ、1942年10月1日に発売されました。

インクの色は、赤（1セント、8セント、12セント、25セント、50セント）と紫（その他）が使用されました。



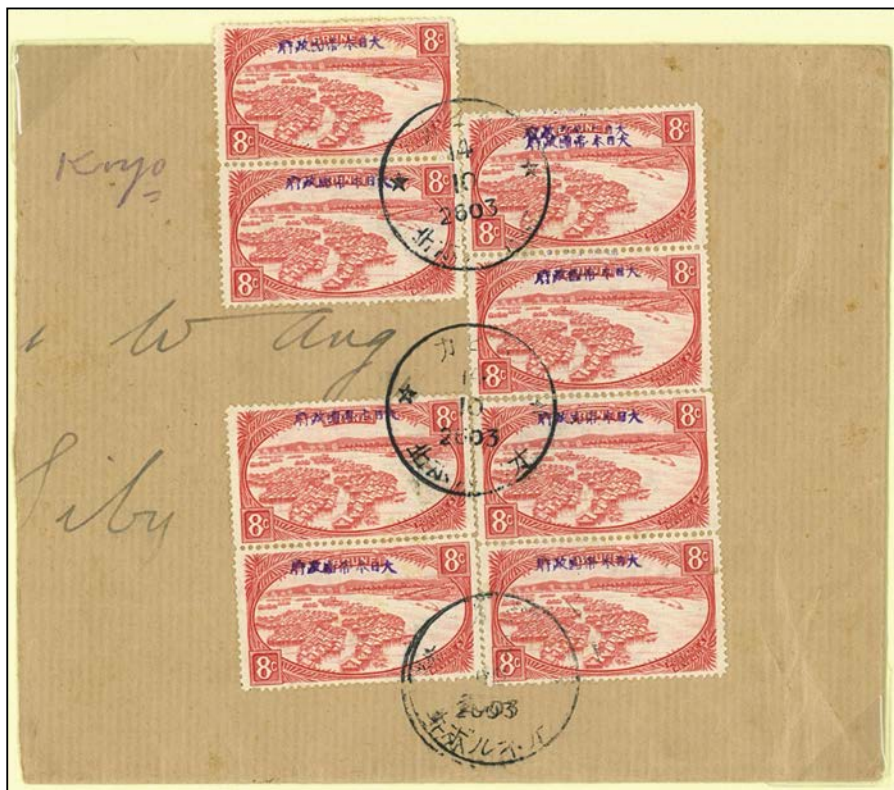
二度目の判子押捺作業は1943年3月に、ブルネイ切手の1セント、2セント橙、4セント、5セント、8セント赤、10セント、12セント、15セント、25セント、50セント、1ドル、5ドル、25ドルの13種類を台切手に行われ、インクの色は紫または青が使用されました。



なお、ブルネイ局には2つの判子が配布されたと言われていますが、ジェセルトン局同様に2個の判子がそれぞれ、どの額面に押されたかは未解明です。また、1ドルに赤加刷の報告がありますが、筆者は未確認です。



ブルネイ局製造分貼り シブ / 北ボルネオ → Sarikei, 18 年 3 月 29 日 (1943)



ブルネイ局製造分貼り カピト / 北ボルネオ → Sibu, 14 10 2603 (1943)

ラブアン局で海峡植民地切手を台に判子押捺された切手

日本軍占領前まで、ラブアン局では海峡植民地切手が発売されていました。従って、判子押捺に使われた台切手も海峡植民地切手ということになりますが、切手の図案が敵国の王様ということで、かなり短期間で使用が禁止されました。

加刷位置は切手の右上から左下にかけての斜めでしたが、後に贈呈用に水平押捺された切手が未使用のみ存在します。マライ郵便連合不足料切手への加刷も報告されていますが、真正品は見たことがありません。)



押捺エラー

以上、ご紹介してきた「大日本帝国政府」判子押捺ですが、これらの押捺工程は手押し加刷（英語で言えば、handstamp）で行われたため、逆加刷、二重加刷、一方加刷漏れペア等の偶発的なエラーが存在します。また類似例として、耳紙に一行加刷を空押しした切手も確認されています。





無料登録・無料入札の流れ

Philasearch で検索!

- ① www.philasearch.com/jpを開く
- ② 最新オークションからロットを選択し、入札用紙に追加する
- ③ 個人情報登録後、担当会社に入札を送ってから入札完了!

世界の切手オークションが お手軽に

170社以上
参加中

以下の東アジア専門オークション等をご紹介します



Schuyler
Rumsey
Philatelic
Auctions



interasia
auctions



おすすめ!

お探しの切手が
簡単に見つかります!

当ホームページにて国名やトピカルで簡単検索。
検索結果後に細かい絞り込みでお探しの切手が短時間で発見!



www.philasearch.com/jp

※ フィラサーチは、販売代理として日本語対応のウェブサイト及びサポート窓口を無料で提供します。各販売の担当オークション会社により手数料などが発生する場合があります。ご入札送付の際、入札規定をご確認ください。

※ 担当オークション会社へのご連絡、お問い合わせにつきましては、英語のみの対応となります。日本語対応のお問い合わせ・ご意見・ご質問・ご要望などは、service@philasearch.com までご連絡ください。

琉球の航空郵便（2）

内国使用例

木戸 裕介

航空切手を琉球内郵便に使用した使用例があります。そもそも郵便量が多くないので、割と見かけるとは言いませんが、日本と同じように、航空切手は額面が大きいので、たまたま使い勝手のよい数字に近い場合、内国の特殊郵便料金に適応したり、貼り合わせたり。単純に航空便だけを並べても Boring な構成になることは目に目に見えているので、大切にしたいと思っています。

奄美が多い

傾向があるとすれば、なぜか奄美において、航空切手を内国使用した使用例が割合としては多いです。特殊使用例や重量便が多い奄美群島医師会宛のエンタが複数残されていることも影響してるのですが、その他のコレスポンドンスにも存在しています。

奄美における航空切手使用は、特に奄美発の外信便がとても少ないこともあるのですが、ならべてみると、内国使用ばかり。それでも、カッコイイエンタは複数あります。

ハト航空 16 円単貼 奄美群島内書留使用。
内国 2 倍重量（3 円×2＝6 円）書留（10 円）
というキセキのハト最高額単貼使用例。（図 1）
きれいな使用例でとても気に入っています。

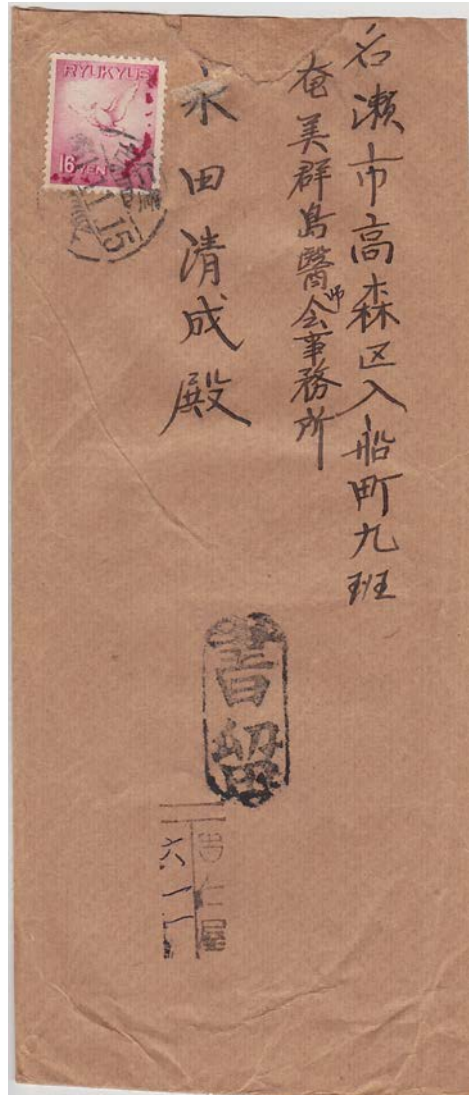


図 1

さらにもう1通。こちらは重量便。天女航空 18 円単貼奄美群島内使用。内国 6 倍重量 (3 円 × 6 = 18 円) という。まさかこの切手もこんな使われ方をするとは夢にも思わなかったでしょう。(図2)

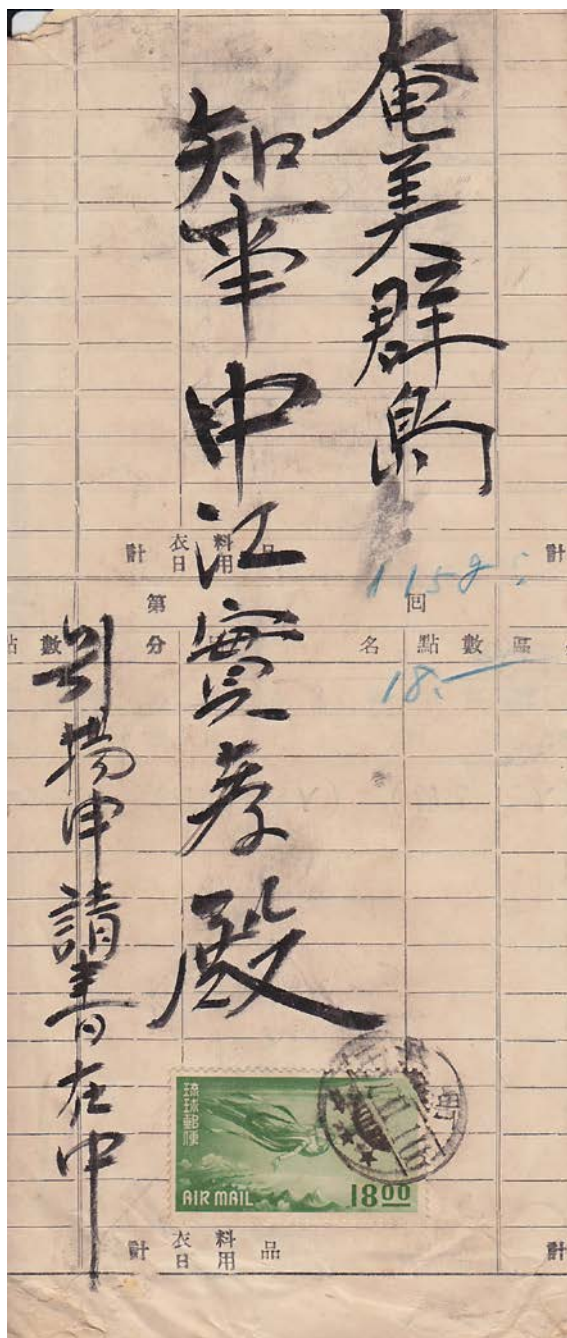


図 2

書留料金として

高額であるがゆえに、書留料金といろんな意味で対応することがありました。先程のハト 16 円単貼もそうですが、単純に内国書留であれば 13 円。天女航空 13 円単貼があるのです。こちらもやはり奄美。喜界と、母間の 2 通を持っています。(図 3、図 4) 重品?? いやいや消印が違いますー。あと島。

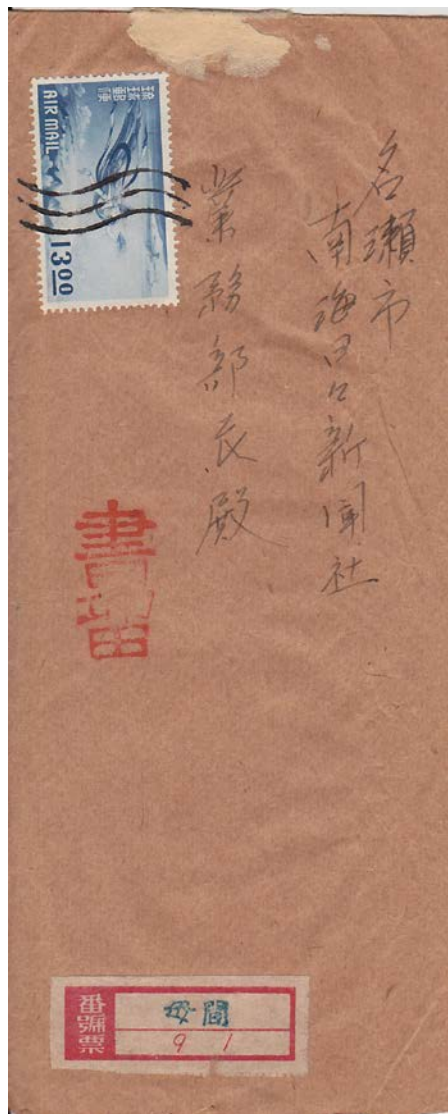


図 3

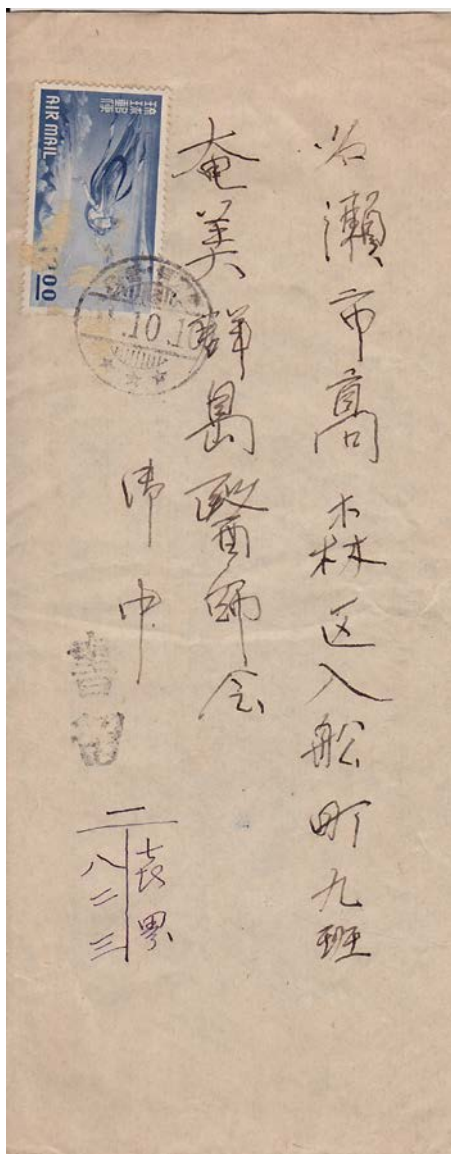


図 4

あとは、天女 30 円が外信書留料金とぴったりだった時代に、書留料として貼った例があります。内国便ではないですが、参考までに。これは、18 円の適正使用例として、韓国宛です。30 円が書留料金に相当します。(図 5)



図 5

次は、凹版天女航空 20 円。これも外国宛書留料金でした。日本宛も同じで、第 5 種の船便日本宛に、書留料金として 20 円貼った例がこちら。旧韓国の重鎮宛で。ルックスがよく、とてもとても気に入っています。(図 6、図 7)

全然内国ではなくなってきたので、一旦戻して、あと少しだけ。

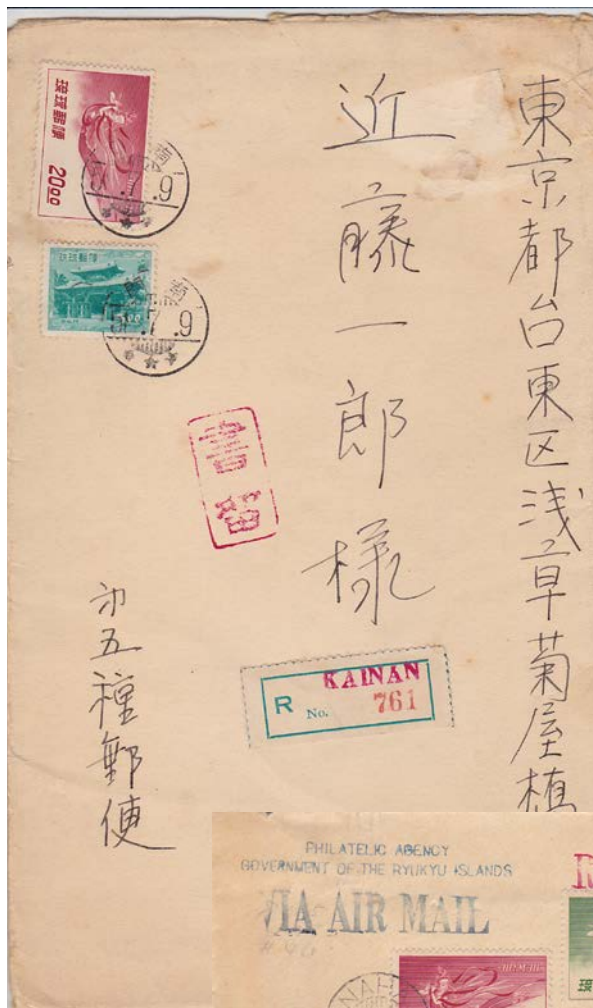


図 6



図 7

特別送達・現金書留・内容証明

額面が大きな航空切手が使われるのは、特殊便が多く、この3つのラインナップをご紹介します。特別送達は、長かった29円料金の時代に複数の貼り合わせが誕生。足算して貼り合わせを考えた人に感謝したい使用例が複数残っています。

天女航空13円2枚、建造物3円貼29円料金。青系統がとても映えます。(図8)

また、凹版天女航空20円も。建造物3円を3連で貼ると、ぴったし29円。(図9)



図8



図9

少し見た目は悪いですが、14 円の七目付に凹版天女航空 15 円を貼って 29 円ってのもありますね。(図 10)

現金書留は有名なものを 1 通所持。ケンザー商会宛の天女航空 18 円単貼が複数確認されています。これも現金書留封筒の縁のラインと相まって、とても映えますね。(図 11) ほぼほぼこの航空切手単貼ですが、ケンザー商会は舞踊 8 円に建造物 10 円を貼った 18 円も 1 通確認されています。航空切手を貼った現金書留使用例全体の存在数としては、天女風神航空の時代には全切手額面の使用例が存在しています。が、その前になると、これくらいしかないかもしれません。



図 10

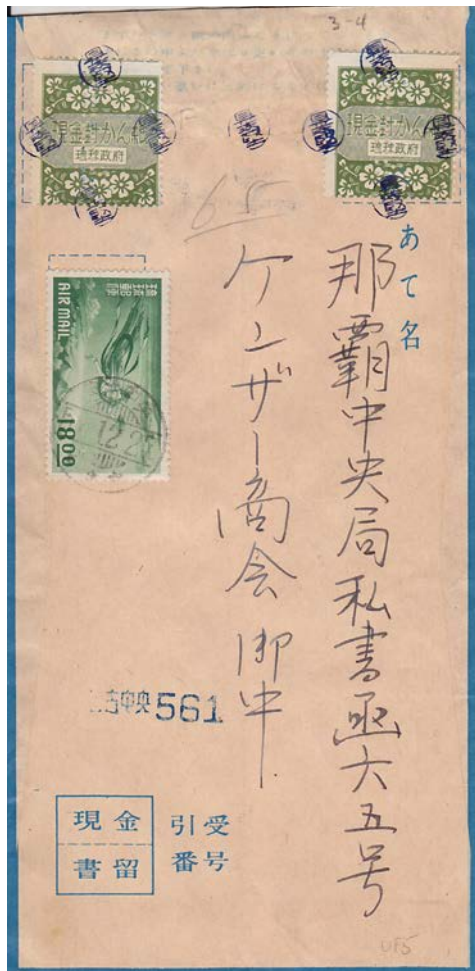


図 11

内容証明は、天女 30 円単貼がアメリカのコレクションにあります。でも、私の手元にはなく。もっているのはこれ。凹版天女航空 20 円使用例。(図 12) 内容証明はその後発行の航空切手各額面で使われて、といったイメージはなく、存在する航空切手貼のものは貴重と思います。(図 13)

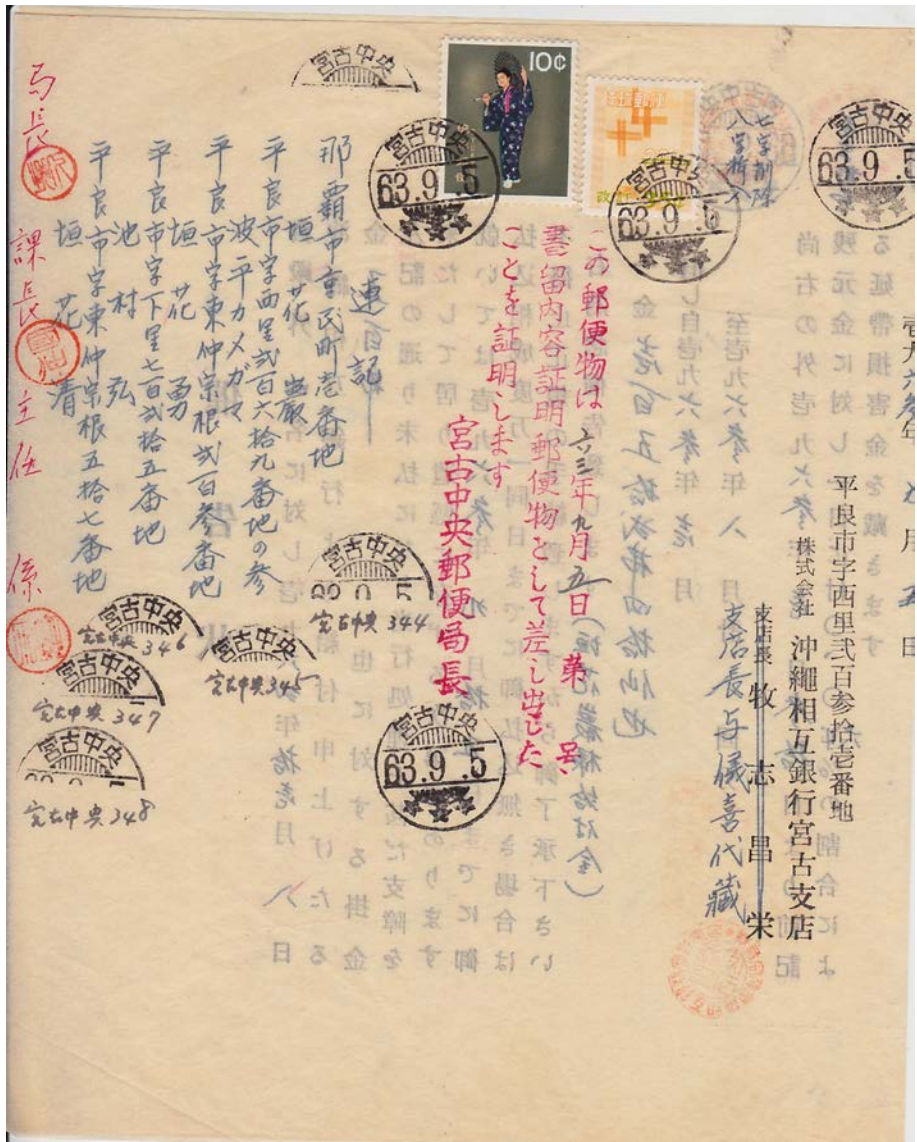


図 13

最後に

こういう観点での集め方は普段はしないのですが、記事にするときだけ、いつもと違う軸でならべてみるのも面白いですね。個人的には伝統作品の多数貼、同じ切手がズラズラ並んでいるのが好きなので、普段着のリーフでもこんな分け方はしていません！ 次回のテーマは多数貼にしましょう。

戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (5)

OTARU 局～ SENDAI 局

杉山幸比古

16. OTARU 局 (小樽)

1) 金属印

小樽局ではまず、一般的な収縮型金属印でスタートしている。(図1) 二文献(鳴美本、ハンドブック)を総合すると、最古1906.5.9、最新1932.9.24(図2)である。



図1 初期の収縮型金属印



図2



図3 左が初期の収縮型金属印、右が後期の「OTARU」が少し広がった印

しかしながら、実は開始初期の印と最後期の金属印をよく比較してみると、「OTARU」の文字の配置に微妙な差があり、異なったタイプであることがわかる。(図3、4)

初期印では普通の収縮型だが、後期のもものでは OTARU の文字が少し広がっている。前回、OTARU にもバランス型+収縮型の混合印があると述べたのがこれだが、OSAKA や TSURUGA ほどには、A 欄いっぱい文字が広がっているわけではない。いつから、この少し広がったタイプが出現したかは、はっきりしない。過去のオークション誌に鮮明な後期印がある。(※1)



図4 後期の金属印の例

2) 金属印の JAPAN 天地逆向きバラエティー

C 欄の JAPAN が天地逆向きになったエラー印であり、1 例のみの報告がある。(※2) (図5) 1927年12月1日の2印が田沢3銭ペア、富士鹿4銭に押されたカバーのようである。

このタイプのエラー印としては後に述べる TOKIO が有名であり、かなりの量が存在するが、印としては極めて短期間で修正されて消失している。OTARU の例は局の規模から考えると存在数は極めて稀であろうと思われる。興味深いことに、TOKIO でのこのタイプのエラー印も同じ1927年に使用されている。



図5

C 欄 JAPAN が天地逆となったエラー印

3) ゴム印 (図6)

二文献（鳴美本、ハンドブック）にはゴム印のデータがない。最古データはオークション誌（*3）から1911.7.8であり、最新データは不完全ながら図7の1932年となる。ゴム印は金属印からかなり遅れて使用が開始されたようである。今回、改めてオークション誌等をチェックしてみたが、意外にもゴム印のデータが少ないことが判明した。小樽では金属印が主流であったようだ。



図 6



図 7

OTARU 局	最古	最新
ゴム印	1911.7.8	1932.
金属印	1906.5.9 * **	1932.9.24 * **

各局の最古 / 最新日付における備考は、* 鳴美本 ** ハンドブック

4) 超巨大ゴム印 (図8)

そういった中で1例、特異なゴム印を所持している。図8で左下の通常のゴム印 (TOKIO) と比較していただけるとこの印の大きさがわかると思う。通常は直径が約25mmであるが、この印は31mmもある。函館にもこれほどではないものの、やや大型のゴム印があり、同じ北海道ということで注目される。

日付の1932.10.24はこの印の後期に属する。筆者の知る限りではこの1例のみで、他には報告はないようである。

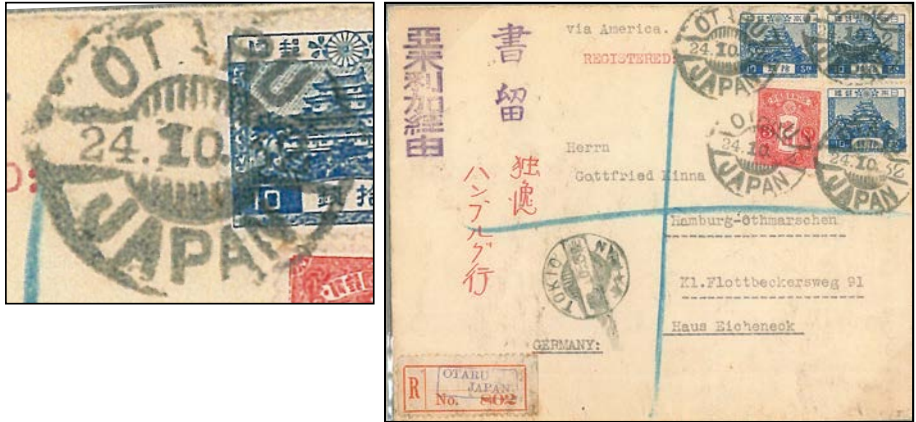


図8 OTARU の巨大ゴム印 (1932年10月24日)

機関紙 27 号掲載記事「戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (4) KUMAMOTO 局～ OSAKA 局」に掲載した NAGASAKI 局 (長崎) のゴム印の最初期更新データを、会員の伊藤 則夫 様より編集部にご寄稿いただきましたので、ご紹介します。ご報告ありがとうございました。



NAGASAKI 紫ゴム印初期 1907 年 2 月 26 日

17. SANNOMIYA,KOBE 局 (三宮)

大変複雑で興味深い局であるが、調査不十分のためはっきりしない部分も多いことをお断りする。

KOBE の項で既に述べた KOBE 2 印については「2」削り印を述べることもあって、KOBE のところで述べたが、本来はここに入れるべきだったかもしれない。

また、「SANNOMIYA」印については鳴美本でも電信印としており筆者もそう考えるが、展開の都合上この項にまとめて述べさせていただく。

まず、三宮局の盛衰について別表にまとめてみた。(表 1) この表は神戸郵便史記の会編「百年史神戸ゆうびんの道順」1974 年刊を参考に作成したものだが、明治時代には KOBE 本局と並ぶ大きな局だったものが、昭和の時代には廃局になっている。

そして、重要な点として生田区元町 6 丁目にあった神戸局とこの三宮局は 2 km 弱しか離れておらず、三宮局は昔の居留地や港に近く、外人の利用には便利だったという地理的な面をまず押さえておきたい。この点のはちに触れる下関東と下関西局との関係に非常に類似している。この地理的な要素が三宮局の欧文印の盛衰に非常に影響していると筆者は考えている。神戸という超大局との複雑な関係の中で「SANNOMIYA,KOBE」印は変化して行ったのであろう。

明治 35 年 3 月 20 日 (1902)	元町 1 丁目 69 番に神戸郵便電信局三宮支局として新設。外国郵便の引き受けも行った。この時、神戸郵便電信局の外国郵便課も同じ建物に移った
明治 36 年 4 月 1 日 (1903)	三宮郵便局 (二等) と改称
明治 40 年 6 月 1 日 (1907)	仲町 3 番地に神戸郵便局外国郵便課とともに移転
大正 6 年 10 月 1 日 (1917)	前町 34 番地に新築移転 (外国郵便課も) この際、明石町にあった三宮電信局が三宮郵便局と合併、同局電信課となる。国直轄局に格上げ。
大正 11 年 12 月 (1922)	改築工事のため、電信課は栄町グランドホテルへ、外国郵便課は元の仲町へ一時的に移転
大正 14 年 2 月 4 日 (1925)	完成し引き渡し直前の新館火災。三宮郵便局も類焼
大正 15 年 10 月 (1926)	新館完成、グランドホテルから電信課が戻る。神戸郵便局の外国郵便課は仲町にそのまま残留し、合流せず
大正 15 年 10 月 (1926)	同場所に神戸中央電信局が新設され、三宮郵便局の電信課はこちらへ移動吸収。この建物は三宮郵便局と神戸中央電信局との共同使用となった。
昭和 11 年 9 月 21 日 (1936)	灘局開設に伴い、三宮局は無集配局となる
昭和 20 年 6 月 5 日 (1945)	空襲により消失し、廃局となる

表 1 三宮郵便局の沿革

SANNOMIYA,KOBE 局	最古	最新
ゴム印	1906.2.19	1912.7.24
金属印 (「S」鏡字)	1906.1.10	1906.5.17
金属印 (「S」正字)	1906.3 *	1924.2.28 *
KOBE,SANNOMIYA 局	最古	最新
ゴム印	1911.2.23 **	1911.6.23

各局の最古 / 最新日付における備考は、* 鳴美本 ** ハンドブック

1) SANNOMIYA, KOBE ゴム印 (図9)

SANNOMIYA と KOBE の間にコンマの入った独特の印である。1905年11月末まで年号2字印の存在が確認できており、それに代わる郵便印として用いられた。

二文献のまとめでは最古1906.4.21, 最新1910.1.23 であるが、今回の調査では最古1906.2.19(*4), 最新1912.7.24(*5) と更新できた。しかしながら存在する郵便使用カバーのデータは1906年と1907年ばかりであり、どこかの時点で三宮局はこの欧文印の郵便使用を中止したのではないかと疑わせる。

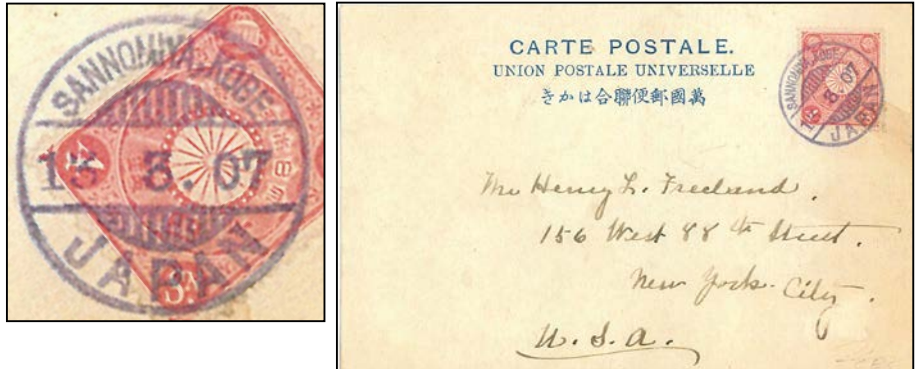


図9

2) KOBE SANNOMIYA (図10)

ここで登場するのがこの奇妙なゴム印である。実際に写真で確実に確認したデータを以下にまとめる。



図10

1911. 2. 24	菊 25 銭 単片
2. 25	同
3. 8	菊 10 銭 単片
3. 21	菊 20 銭 単片
5. 24	菊 25 銭 単片
6. 23	菊 3 銭 赤 単片

以上であり、すべて単片上の印影のみで、カバーは確認できなかった。

存在する単片の額面、カバーが確認できないことを合わせると、この印は郵便用ではなく電信用・局内用だったと考えるのが妥当かもしれない。

前記の SANNOMIYA,KOBE 印の存在データと合わせて、1908年頃に三宮局は欧文印の郵便使用をやめて電信用・局内用のみとした可能性がある。最古データは両文献の2. 23を採用させていただく。

3) SANNOMIYA,KOBE 金属印 (収縮型)

a. 「S」 鏡字印 (図11)

まずは既存文献のデータ検討である。最古データがハンドブックは1906. 3. 7であるが鳴美本は1905. 6. 21という飛び抜けて早いものとなっている。これは横浜の1905. 10. 12より4ヶ月も早いものである。

筆者の調査では1905年のデータはまったく発見できず、また年号2字印の1905. 11. 23 (※6)を確認できていることから考えて、このデータは年号誤読の可能性もあると考える。したがって、ここでは図11の1906. 1. 10を最古、図12の1906.5.17を最新データとして更新させていただく。



図11 「S」 鏡字印 (最古データ)



図12 「S」 鏡字印 (最新データ)

b. 「S」 正字印 (図13)

SANNOMIYA,KOBE の楕型印はまず金属印で、しかも「S」 鏡字でスタートしたと考えられる。

鏡字「S」はほとんど訂正され、正しい「S」となったが、この正字「S」印の最古データに関しては不明な点が多い。鳴美本の1906. 3月を採用させていただくが、これはおそらくISJP誌のモノグラフからの引用と思われる。ただし、「S」 鏡字の最新データが5. 17であり、2印が併存した可能性はあるものの、今後このデータは変わる可能性もある。

筆者の調査では4つのデータを採取できたが、1908年が3つ、1909年が1つであった。最新データについては両文献ともに、1924. 2. 28となっている。いずれにせよこれら金属印はかなり稀なもののようである。

ここで問題になるのがこれら金属印の用途である。カバーは未見であり、存在する単片は菊8銭、25銭ばかりで、他には2銭縦ペアが1つあっただけである。2銭縦ペアは4銭葉書料金とも考えられるが、これまでのデータを見る限り金属印は電信用・局内用が主な用途だった可能性が高い。



図13 「S」 正字印

4) SANNOMIYA 印 (ゴム印、金属印)

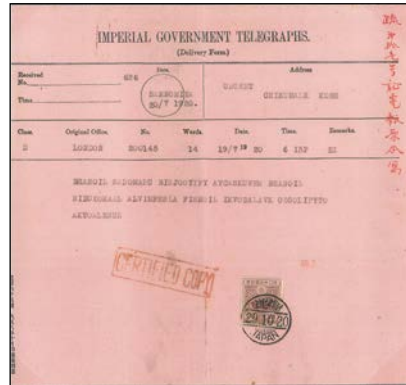
鳴美本では電信印とされており、筆者もそう考える。金属、ゴムともに郵便使用のカバーは今の所、筆者は未見である。

a. 金属印 (収縮型) (図14)

両文献を総合すると、最古1914.3.31、最新1925.12.12となる。筆者が調査した範囲でも1914年～1925年のデータが確認され、これらのデータは妥当だと思われる。



図14 SANNOMIYA 金属印 (収縮型)
欧文電報正写



b. ゴム印 (図15)

震災切手を中心に確認されるが、やはりカバーは未見である。両文献ではゴム印については触られていない。筆者の調査では最古1924.2.12(*7)、最新1926.11.6(*8)であった。



図15

三宮局をまとめると、菊切手時代には郵便印としてゴム印が用いられたようだが、最終的にはどうやら電信・局内使用となった可能性が高い。その間、一時的に「KOB2」として郵便使用された。

表にしめす三宮局の運命と欧文印の変遷がどのように関連しているのか、さらなる研究が必要と思われるが、現在資料等での裏付けが取れておらず、存在するマテリアルからのみの類推にとどまっております、資料面からの研究を待ちたい。

SANNOMIYA 局	最古	最新
ゴム印	1924.2.12	1926.11.6
金属印	1914.3.31*	1925.12.12**

各局の最古 / 最新日付における備考は、* 鳴美本 ** ハンドブック

18. SAPPORO 局 (札幌) (図16)

大局ではあるが北海道においては外国郵便交換局が小樽、函館の2局であったため、実際の郵便使用開始時期はかなり遅くなっている。ゴム印のみが存在する。実際の郵便使用初期の印色は青色～青紫色である。

両文献、ISJP モノグラフのデータは揃っており、最古1923.8.6、最新1925.9.12であるが、図17の1910.1.1の記念押し印(紫)があり、また実通便力バーとしても田沢20銭貼りの1914.7.4(*9)がある。



図16

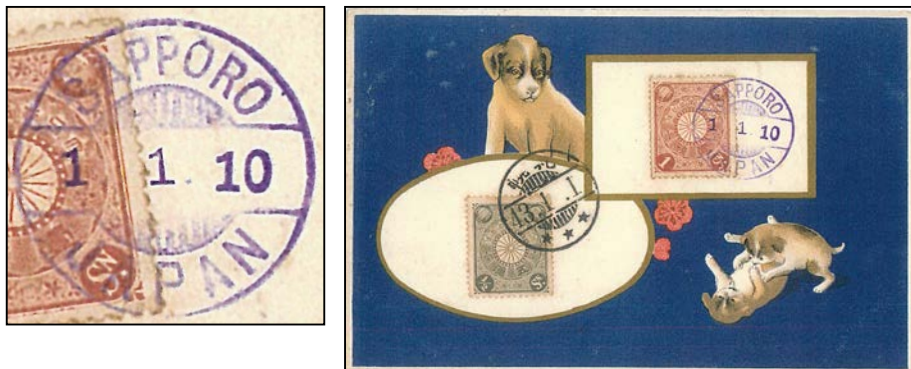


図17

最新データも1932.5.15（*10）が確認できており、おそらく最終まで使われてC欄NIPPON印へと移行したものと考えられる。カバーのデータとしては1923年ごろからそこそこ存在するが、トータルとしては比較的稀な局と言えるのではないだろうか。

SAPPORO印が使用された頃の話題としては、書留ラベルに図18のようなラーメンどんぶりの縁の図案が入ったものが使用されていて、目を引く。

札幌局で貼付されたと思われるが、この模様は「雷紋」と呼ばれており、中国の殷や周時代の青銅器に多く見られるという。迷路のようになっており、魔物が迷うため、魔除けの効果があると言われている。この時期の札幌にのみ見られるもので興味深い。



図18 左上に雷紋入りの書留ラベル

SAPPORO局	最古	最新
ゴム印	1910.1.1	1932.5.15

19. SENDAI 局（仙台）（図19）

ゴム印のみ確認されているが、両文献にはデータがない局である。鹿児島、広島、名古屋などと似たパターンの局である。実使用例の報告はなく、単片のみが知られている極めて稀な印である。1989年のMSA オークション誌に菊8銭の単片が初めて登場した。（＊11）

その後、ここ10年ほどに菊1円の単片が何枚か出現し、そのうちの1枚のデータから1912年4月12日が読めている。（＊12）



図19

SENDAI 局	最古・最新
ゴム印	1912.4.12

<引用文献>

- （＊1）ジャパンスタンプ 69回フロアー・オークション（2011年11月）ロット 1509
- （＊2）中嶋つとむ 文献へのデータ追加・更新。フィラテリスト 16（8）：255、1984
- （＊3）MSA No.143（1989年3月）ロット 2186
- （＊4）斎 亨 コレクション。フィラテリストマガジン 第23号付録（2019年6月）
- （＊5）MSA No.136（1988年4月）ロット 188
- （＊6）MSA スペシャル（1988年5月）ロット 134
- （＊7）MSA フロアー・オークション（1987年11月）ロット 246
- （＊8）タカハシ・オークション 625号（2018年10月）ロット201
- （＊9）タカハシ・オークション 328号（1994年1月）ロット430
- （＊10）タカハシ・オークション 499号（2008年4月）ロット 337
- （＊11）MSA New Year Special（1989年1月）ロット 928
- （＊12）山口 充 JPS オークション・プレビュー（5）郵趣研究 92（1）：31、2010

<謝辞>

貴重な文献「百年史 神戸ゆうびんの道順」（神戸郵便史記の会編、1974）をご教示いただいた石川勝己氏に深く感謝する。

戦後の欧文櫛型印（５）

C 欄 JAPAN・中間グループ（上）

神宝 浩

戦後の欧文櫛型印は、一部の局では戦後初期から先行してC欄JAPAN印を使用していましたが、1949年9月末の告示により国名表示はC欄NIPPONから全面的にC欄JAPANに切り替わっていきます。

この1949年秋の国名表示切替えから欧文印が全国的に配備される1951年11月までの期間中に使用が始まったC欄JAPAN印のグループを、本稿では「C欄JAPAN・中間グループ」（右表③）と呼んでいます。

①	C 欄 NIPPON グループ
②	C 欄 JAPAN・先行グループ
③	C 欄 JAPAN・中間グループ
④	C 欄 JAPAN・後発グループ
⑤	事務用印流用グループ

「C欄JAPAN・中間グループ」は、次の2種類のサブグループに分けることが出来ます。

(ア) 当初、C欄NIPPONだったのがC欄JAPANに切り替わったもの。具体的には、TOKYO、OSAKAなどの大局や、HAKODATE、HAKATAなど地方の有力局。

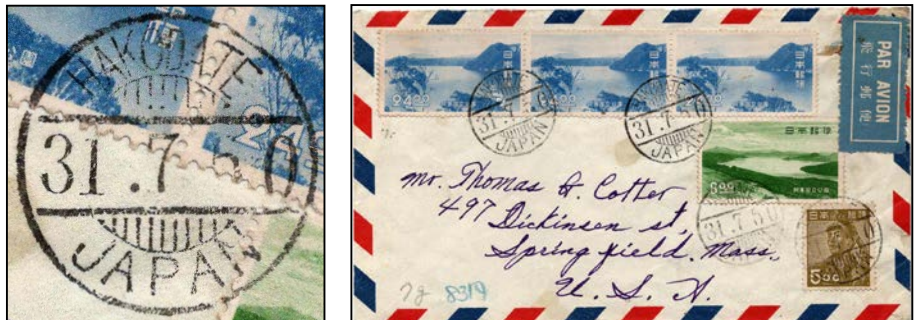
(イ) C欄NIPPONの時期を経ることなく、最初からC欄JAPANで登場したもの。具体的には、AMF TOKYO（東京中央・羽田分室）やIMPERIAL HOTEL PO（帝国ホテル内）など、外国人の利用の多い特定の局。

今回はこのうち(ア)のサブグループの印について、北から順に見ていきましょう（以下「ハンドブック」は、「日本郵便印ハンドブック」＜日本郵趣協会、2007.9＞のことです）。

HAKODATE

HAKODATEのC欄JAPAN印は、金属印のみが知られています。使用開始時期は、ハンドブックでは印影未確認の1949年9月のデータが載っていますが、1950年には使用例がいくつも存在します。

図1は、阿寒24円3枚などを貼った1950年7月の米国宛航空書状（料金83円のところ2円加納）に、C欄JAPANのHAKODATE印が押されたものです。この時期のHAKODATE金属印は、年号の「50」のところが間延びした独特の姿をしている点が特徴的です。



【図1】HAKODATE 1950.7.31

TOKYO

東京中央局では、国名表示切替えの告示にもかかわらず、告示の翌年の1950年1月頃まで基本的にC欄NIPPON印を使っていたようですが、さすがに2月頃からは全面的にC欄JAPAN印が使われるようになりました(注)。大局だけあって、金属印、ゴム印とも使われていますが、印影が何本もあるので、印影にはいろいろなバラエティがあり、とくにゴム印には字体の種類などバラエティが多く見られます。

図2は金属印の使用例で、米国宛の航空3倍重量書状(20～30g、書状24円+14円+航空59円×3=215円)に標準的な金属印が押されています。

一方図3はゴム印の使用例で、特徴のある字体のTOKYO/JAPAN印が、ベルギー宛の航空書状(1円過納)に対して紫色の印色で押されたものです。

(注) 実はC欄NIPPON印の使用が一般的だった1947年8月に、ごく一時的にC欄JAPAN/TOKYOの金属印が使われた例がありますが、これは例外的なケースとみるべきもので、本稿ではC欄JAPANのTOKYO印は「中間グループ」として取り上げることとしました。



【図2】TOKYO 1951.9.17



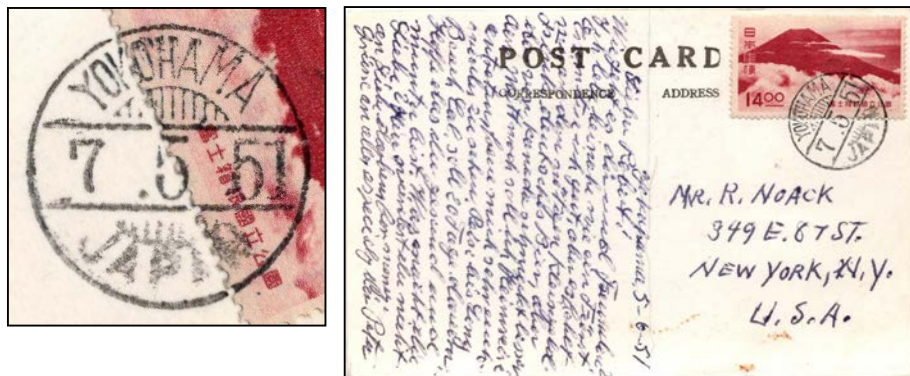
【図3】TOKYO 1950.5.6

YOKOHAMA

YOKOHAMAでは、C欄NIPPONからJAPANへの切替えは早く、すでに告示前の1949年8月頃にはC欄JAPAN印が登場していたようです。金属印とゴム印の両方が使われています。金属印ではYOKOHAMAのC欄JAPANの「J」の字が、当初は「J」の頭に短い横線がついているいわゆるセリフ付きでしたが、のちにセリフ無しになりました。

図4は、富士箱根14円を貼った米国宛船便はがきにYOKOHAMA/JAPANの金属印が押されたもので、C欄の「JAPAN」がセリフ無しになってからの使用例です。

一方図5は、ゴム印の方の使用例で、料金190円の米国宛航空2倍重量の書留書状（書状24円+航空59円×2+書留48円=190円）に大型のゴム印（直径約27mm）が押されたものです。YOKOHAMA/JAPANのゴム印には、図5のような大型の印のほかに、標準サイズ（直径24mm）のゴム印も見られます。



【図4】YOKOHAMA 1951.5.7



【図5】YOKOHAMA 1950.7.19

OSAKA

OSAKAでは、一部に告示前からC欄JAPAN印を使用した例もありますが、おおむね1949年10月頃からJAPAN印の使用が一般化したようです。OSAKAも大局ですので、金属印、ゴム印とも使用され、印額の数も相当数あったとみえて、印影にはいろいろなバラエティがあります。

図6は、金属印のかなり早い時期の使用例で、産業図案4枚を貼った米国宛の航空2倍重量書留書状（料金は図5と同じく190円）に、OSAKA/JAPANの金属印が押されたものです。

一方図7はゴム印で、新昭和と産業図案が混貼されたスウェーデン宛航空書状に、OSAKA/JAPANのゴム印が黒色の印色で押されたものです。ここに押された印はやや横に広がった扁平の形ですが、このほかに正円のもの、あるいはもっと扁平のものなど、いろいろな形状が存在します。



【図6】OSAKA 1949.11.7



【図7】OSAKA 1949.12.12

KOBE

四大局の一つであるKOBEでも、告示に伴っておおむね1949年10月頃からC欄JAPAN印の使用が一般化したようです。KOBEでも金属印とゴム印が使われていますが、KOBEの場合はゴム印の使用が主体で、金属印は使用例が比較的少なく、また使用開始もゴム印よりかなり遅れたようで、ハンドブックでは、金属印の最古データを1951年9月としています。

図8は、金属印の1952年になってからの使用例ですが、KOBE/JAPAN印が米国宛航空書状に押されたもので、C欄JAPANの「J」がセリフ付きになっています。

図9は、いろいろなバラエティのあるゴム印の一例で、青色のKOBE/JAPAN印がカナダ宛船便印刷物に使われたものです。ここに示した印はC欄JAPANがセリフ付きになっていますが、KOBE/JAPANのゴム印は大半がセリフ無しです。



【図8】KOBE 1952.1.23



【図9】KOBE 1950.4.23

MOJI

MOJI / JAPAN印は、残されている使用例が少なく、収集は簡単ではありません。ハンドブックには金属印、ゴム印の双方が記載されていますが、筆者はゴム印は未見です。

図10は金属印の使用例で、各種の記念切手や公園切手を貼り合わせた米国宛書留書状（料金は24円+48円=72円のところ1円過納）にC欄JAPANのMOJIが押されたものです。中継局のHAKATAであらためて書留ラベルが貼られ、中継印が押されています。このカバーはMOJIの印がやや薄消しですが、貴重な使用例といえるでしょう。

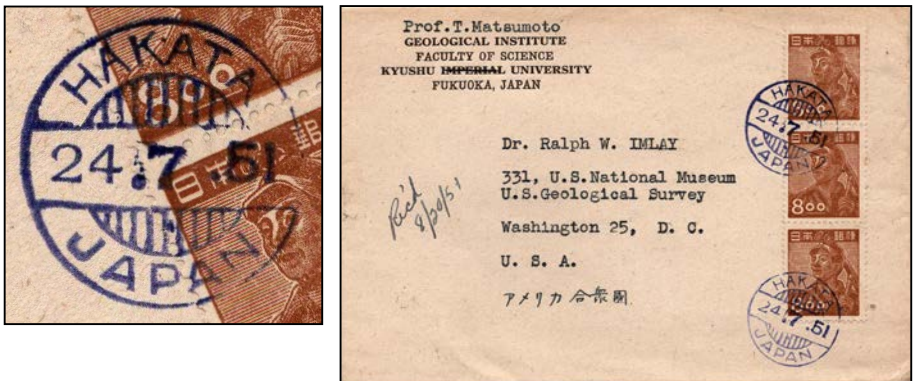


【図10】MOJI 1950.8.29

HAKATA

HAKATA局ではC欄JAPANの金属印は使わなかったようで、C欄JAPAN印はゴム印のみが知られています。HAKATAのゴム印はC欄NIPPON印が1950年の中頃まで使われていたことから、C欄JAPAN印への切り替えは1950年後半にずれ込んでいた可能性があります。

図11は、産業図案の炭鉱夫8円3枚を貼った米国宛書状に、紫色のHAKATAゴム印が鮮明に押されたものです。



【図11】HAKATA 1951.7.24

NAGASAKI

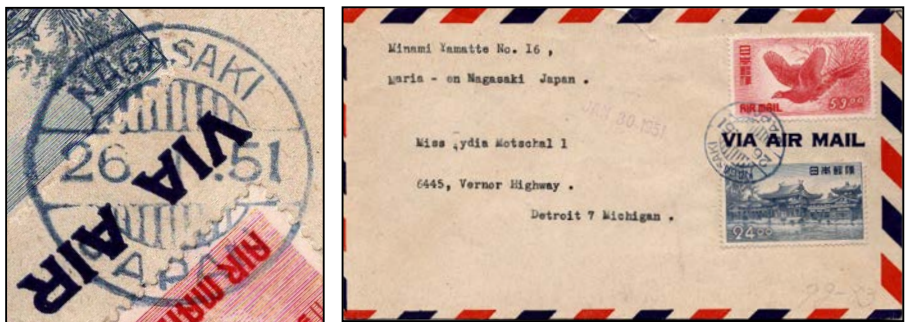
NAGASAKIのC欄JAPAN印は、金属印、ゴム印とも存在しますが、ゴム印の使用例は少なく、主に金属印の方が使われていたようです。

図12はその金属印の使用例で、国立公園切手の阿寒3種計24円を貼った米国ハワイ宛書状に対してNAGASAKI/JAPAN印が押されています。

一方図13はゴム印の使用例で、平等院24円ときじ航空59円を貼った米国宛航空書状に対して、青黒色のNAGASAKI/JAPAN印が使われたものです。



【図12】NAGASAKI 1950.7.18



【図13】NAGASAKI 1951.1.26

フランス在中国局郵票

第一次「CHINE」加刷タイプ違いの分類

猫山 ねこ

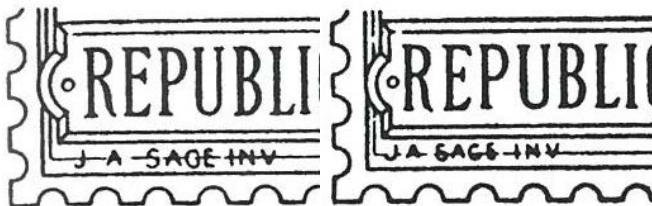
2019年、我が国では5年振りにJPSより旧中国切手カタログが、改訂版として刊行されました。この分野への郵趣界の関心は引続き強いようでその売行きも好調と聞きます。この改訂版では「在中国局郵票（客郵）」が新たに採録され、カタログとしての利便性も格段に高まりました。実は私自身も昨年より、この分野に興味を持ち、僅かずつですが収集を始めました。

中でもフランス在中国局郵票、第一次「CHINE」加刷切手（JPS#FF1-13、FF2B、FF3B、FF9B、以下カタログナンバーは同カタログナンバーを使用）は、その使用が清朝皇帝、光緒帝が国家郵政の建議を認め、清で郵政事業が急速に発達する時代とも重なるため、旧中国切手とのコンビネーションカバーも比較的多く残されており、ひとつのカバーに二ヶ国の切手が貼付され、消印の種類も様々なカバーの収集も楽しめる切手です。

ただし、このシリーズには、台切手をタイプⅠとタイプⅡの2種類に分類できる券種があり、その区分に少なからず戸惑う向きもあるかと思います。そこで、このタイプ違いとその出現時期について本欄をお借りしてまとめてみることに致しました。

まず、簡単にそのタイプ違いについて説明をしておきます。JPSのカタログに詳しいのですが、この台切手の図案最下部にある「INV」と云う文字の位置に注目します。この文字列がその上の段にあるフランス国名表示の「REPUBLIQUE・・・」の文字のどの文字の下にくるかで分類します。「INV」の文字列が「REPUBLIQUE・・・」の「B」の下にあればタイプⅠ、その一文字手前の「U」の字の下にあればタイプⅡです。

この違いを理解して戴いた上で、このシリーズの発行順にタイプ別の出現をからめて話を進めます。一部の券種ではその出現時期（発行年）もJPSのカタログ表記とは微妙に違ってきますので、この点にも注意してお読み戴ければ幸いです。



SAGE（サーージュ）のタイプ分類（スタンペディア「フランスクラシック切手カタログ」より）

TypeⅠ「REPUBLIQUE」の「B」の下にあるアルファベットが「N」

TypeⅡ「REPUBLIQUE」の「B」の下にあるアルファベットがない

編集部注）

フランスでは、通常 Sage のタイプをⅠ,Ⅱ,Ⅲの3種類に分けています。今回の記事で後期に出現したタイプⅠと記載している切手は、フランスでは、タイプⅢに該当する切手への加刷になります。『スタンペディア・フランスクラシック切手カタログ』の分類もこれに従っています。

ただ、日本で使用する方の多い SCOTT カタログでは、分類が簡易化されており、タイプⅢをタイプⅠとしています。在中国局切手の分類上はそれで問題ない為、今回の記事はタイプの種類が2種である前提でまとめました。



第一次「CHINE」加刷切手。カタログメインナンバーの13種未使用（#FF1-13）。このうち、5c改色黄緑、10c、50c、2Frの4券種のみがタイプI。（図1）

実はこのシリーズは1894年の発行当初は額面5c（サンチーム）から5Fr（フラン）まで額面2Frを除く11券種で「タイプII」を台切手として発行されました（#FF1、#FF3B、#FF4-8、#FF9B、#FF10-11、#FF13）。

これは台切手となる本国のSAGEシリーズの発行と絡めて考えると理解が容易です。フランス本国では1876年よりこのSAGEシリーズの通常切手を発行し始めますが、このシリーズ、発行当初は多くの券種でタイプIとタイプIIがほぼ同時期に出現しています。

ただし、タイプIの出現期間は短く、また10c以下の低額面の切手の刷色変更なども経て、フランス在中国局よりこのシリーズを台切手として「CHINE」加刷を発行した1894年当時は全ての券種がタイプIIで流通していました。ですから当初の「CHINE」加刷の発行券種全てが「タイプII」であるのも頷けるかと思います。

ところが、1898年になり、本国で先ず10c切手にタイプIが出現し、5c切手の刷色が緑から黄緑に変更されます。改色された5c切手にはタイプIのほかタイプIIも出現します。続いて翌1899年、タイプIは50cにも出現します。更に1900年になると新額面2FrにもタイプIは登場します。

これらの券種は改色5c黄緑を除き、本国とほぼ同時期にそのまま「CHINE」加刷にも流通されました（改色5c黄緑へ加刷した切手は、本国の無加刷の発行にやや遅れて1900年に出現）。ここで初めてこのシリーズにタイプIが4種類出現（#FF2-3、#FF9、#FF12）したことになります。また黄緑に改色された5cのタイプIIにもこの加刷は施されています（#FF2B）。

この発行のためタイプIIを台切手として先行発行されていた10cと50cにはタイプIが新たに加わることであり、収集上違いを区分することとなります。更に前述したように黄緑に改色された5cもタイプ違いを区分出来ます。一方で新額面として後から加えられた2FrはタイプIしか存在しません。また、この2Frと改色5c黄緑、10c、50c以外の券種にはタイプIは存在しません。

文章としてまとめますと、やや混乱する向きがあるかと思いますが、JPSのカタログがお手元があれば、上記、当方の記述順にカタログナンバーあるいは額面の横にタイプIかIIを書きこんでいけば、理解し易いかと思います。JPSのカタログでは大まかにタイプIとIIを編集、区分していますが、実際の各券種毎のタイプ分類は上述のようにやや異なるため、ミッヘルなどのように各券種毎にタイプIかIIかをカタログナンバーの後ろに加えて表記したほうがより分かりやすく正確な記載になるかと思います。また券種によっては「発行（出現）年」の記述も微妙に異なっているのが理解できるかと思います。

尚、タイプIとIIが存在する改色5c黄緑と10cではどちらもタイプIIが少なくその使用例などは貴重になります。50cでは両者の差はそれ程大きくはないようです。

コンビネーション使用例

図2は、第一次「CHINE」加刷25c（#FF6）、10c2枚（#FF3、3Bのタイプ違いで貼付）、5c（#FF1）の計50c貼付、蟠龍倫敦版10分2枚貼付の外信書留書状、中仏コンビネーションカバーです。

当時の外信書状料金は10分（フランス局25c）、書留料金も10分（フランス局25c）です。中国上海局1899年11月引受、在中国フランス上海局送付、同局1899年11月20日引受、ドイツ宛。奇しくもフランス局では10cがタイプ違いでそれぞれ1枚ずつ2枚貼付されました。この時期は丁度10c切手のタイプⅠの出現時期と重なり、タイプⅡとの混貼使用は興味深いです。



図2



10C切手の拡大図（左：タイプⅠ 右：タイプⅡ）

図3は、第一次「CHINE」加刷5cタイプII貼付（FF3B）、蟠龍倫敦版2分貼付の外信葉書、中仏コンビネーションカバーです。

当時の外信葉書の料金は4分（フランス局10c）なので、これでは2分（フランス局5c）の不足となります。その為持ち込まれたフランス局でも5c切手1枚しか貼付されませんでした。このカバーに貼付された5cはタイプIIですがタイプIと比べるとその使用例はかなり少なく、スコットクラシック版のカバー評価ではその差が7倍にもなります。

中国漢口（ハンコウ）局1900年2月引受（日付は不明だが裏面の文面には2/13の書込あり）、中国上海局経由（中継印裏面、年月日不詳）在中国フランス上海局送付、同局1900年2月21日引受、ドイツ・ベルリン宛。ブルーで大書された10と云う数字は不足料金（税）徴収額です。

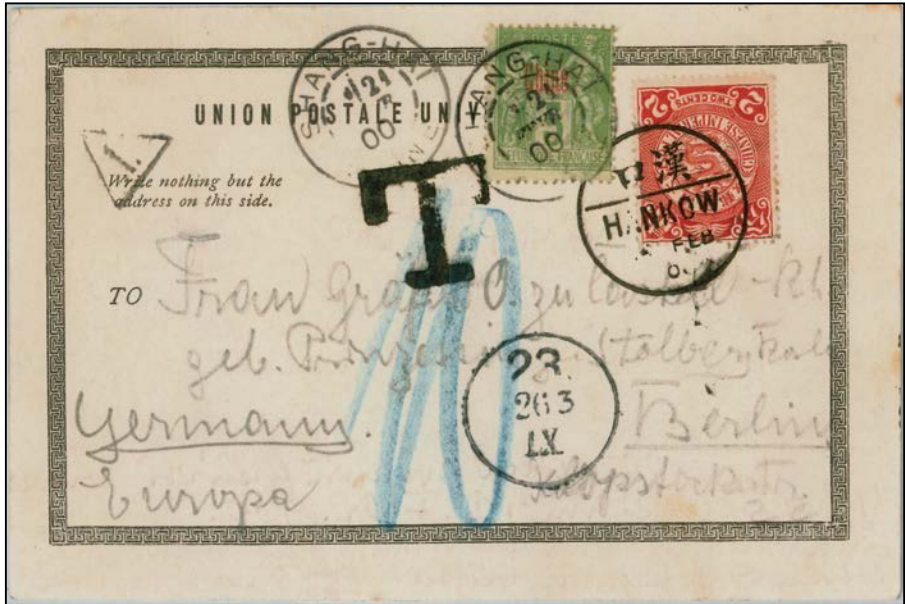


図3



拡大図:Type II

新中国「紀6 開国一周年再版400圓」の変種

猫山 ねこ

掲題の切手はかつてJPSの新中国切手図鑑にもサブナンバー#107raとして収録されていた「タテ寸法45ミリ」の変種です。この切手が初めて日本郵趣界に登場したのは1970年代後半、当時ジュニアや初中級収集家の読者を多く抱えていたスタンプクラブ誌の読者の質問コーナーでした。この記事は筆者も確かに目にした記憶はあり、同様の記憶のある収集家の話も複数聞くので間違いなのですが、同誌の現物が手元になく、正確な掲載号は不明のままです。

現物が編集部に送付され、これを見た回答者の今井修氏が驚いて当時新中国切手のストックが大量にあったJPSの在庫調査を理事長水原明窓氏に依頼し、同氏が中心となり確認したところ、複数のシートから同様の切手が見つかった、と云うのが事の顛末であったと思います。

この変種、「発見」当初は数シートから見つかったとは言え、数が少ないことは容易に想像できた為、自身には縁のないものと思っていましたが、1990年代前半に催事会場で購入した新中国切手のバケットから偶然同様の切手を掘り出し、その後「二匹目のドジョウ」を狙って機会のある毎に、バケットを購入していくうちに、手元に複数枚が集まってきました。

一方、郵趣界ではこの後、同様の切手の出現報告を聞かず、数年前にJPS中国切手カタログからもこのサブナンバーは削除されてしまいました。筆者手持ち以外で確認したのも、数年前に、ネットオークションに関西方面から出品があった1点（この出品は不落札であった）の確認のみです。

この変種が製造上シート最上段で現れたのは現物から明らかです（そうでない場合はこの切手のシート構成上、上下の図案の一部が食い込んでしまう）。耳紙付やブロックなどが残されていれば、その他のデータも多少整ってくるものと考えられますが、筆者の持っているものは全てバケットから見つけたもので耳紙のない単片に切られています。この変種自体は当時の中国の切手製造技術の拙さと完成品チェック管理の甘さから見逃されて出現したと思われますが、発見当初、JPSの在庫のうちのどの程度にこの変種があったかなど当時の詳しい情報は知りません。ご存知の方がいましたらぜひご報告をお願いいたします。

なお、かつてカタログに掲載されていた#107raはタテ寸法45mmと掲載されていましたが、私の所蔵品は全て43mmでした。通常のサイズ（38mm）より5mm大きいことになります。



左は正常品
右は107ra

和欧文機械印トピックス（第60回）

同地方使用局の変遷

水谷 行秀

2期使用の約10年間に同じ機械で3種類の局名表示となった局が存在する。1期より使用していた福岡西局であるが、局の変遷とともに紹介してみたい。

沿革

- 1974（昭和49）年10月28日 - 福岡市西区干隈字五反田に、福岡西郵便局干隈分室を設置。
- 1980（昭和55）年10月6日 - 福岡西郵便局干隈分室の廃止に伴い、干隈郵便局として開局。
- 1989（平成元）年10月16日 - 城南郵便局に改称。（wikipedia より）

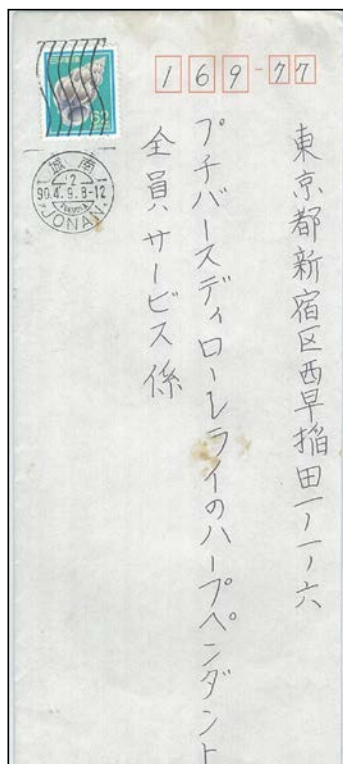
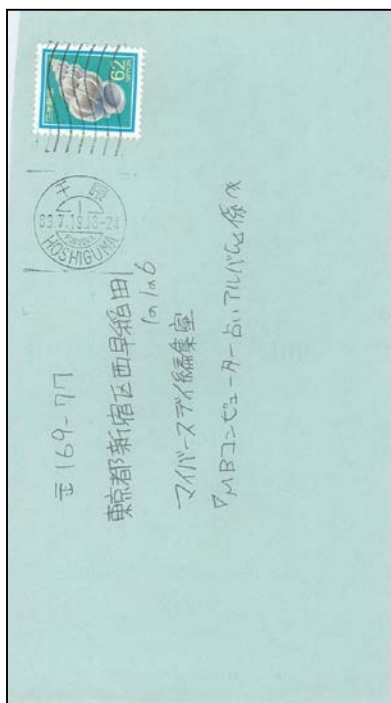
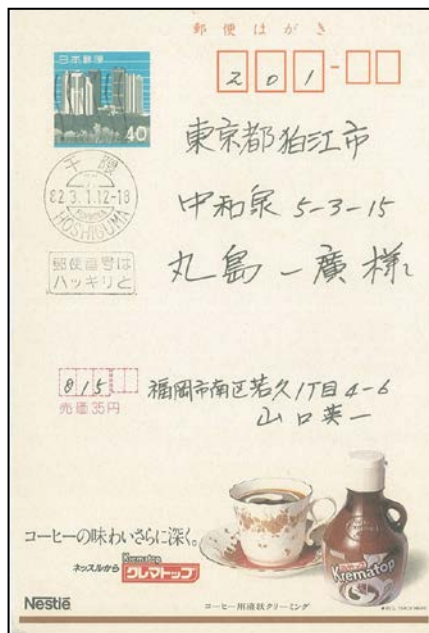
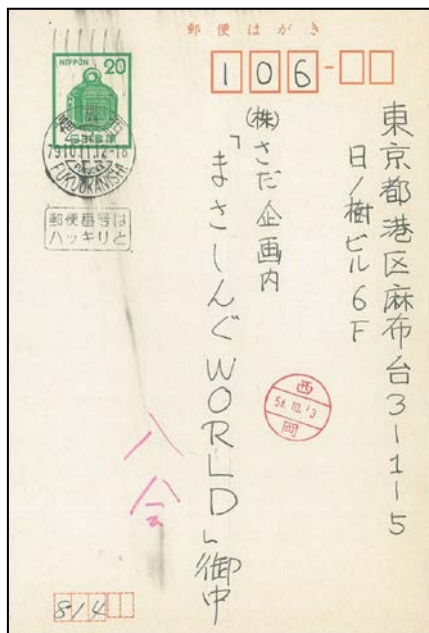
局名	使用期間	図版番号	備考
福岡西	1979.9.1-1980.10.5	図①	約1年1ヶ月
干隈	1980.10.6-1989.10.15	図②③	約9年
城南	1989.10.16-1990.9.30	図④	11ヶ月半

福岡西と城南は1年前後で比較的短い期間であるが、九州のNo.1都市福岡であり、郵便量も少なくはないため、3局を単片で揃えるのもカバーで揃えるのもそれ程の困難は無いと思われる。

ただ、干隈は1988年ころに標語無しのタイプに変わっている。こちらは1年くらいの使用期間であろうか。意外と穴のような気がする。お恥ずかしい話だが、実は私はこの投稿を書くに当たり手持ちを調べてみてその存在に気が付いたくらいである。分室絡みの変遷でもあり、1リーフに整理する価値はあるかと思うがいかがであろうか。



実は全部同じ郵便局で使用された和欧文印 図①-④



左上から横に図①、図②、下段にきて図③、図④

和欧文機械印トピックス (第61回)

中央局昇格3

水谷 行秀

これまでに第42回、第47回と第54回にて中央局への昇格等に伴う局名表示変更を紹介した。1987（昭和62）年に各都道府県に中央局が設置されたのであるが、1990（平成2）年に更に追加昇格があった。

ここで中央局の設置基準を紹介しておこう。（郵政施第80号、昭和42年5月）

- （1）人口がおおむね40万人以上の都市で、その地域における郵便通送上の中心局であること。
- （2）定員400人以上であること。
- （3）同一行政区内に3局以上の普通集配局が存在すること。
- （4）統括局であること。なお、中央局を冠する郵便局が1局もない郵政局管内については、特に次により各1局を選び中央局を冠させるものとする。

また、分かり難いが下記も併記されている。

- （1）人口おおむね30万人以上の都市の中心局で、その地域における郵便通送上の中心局であること。
- （2）定員300人以上であること。
- （3）同一行政区内に2局以上の普通集配局が存在すること。
- （4）統括局であること。

この基準発表前に東京（M36.4.1、M43.4.1）・大阪（M36.4.1、M43.4.1）・神戸（S4.12.1）、名古屋（S17.3.1）・京都（S24.2.1）・広島（S39.4.20）・福岡（S34.6.15）・札幌（S34.6.15）・仙台（S40.11.26）の各局が中央局となっていたが、S42.6.1に、この基準設置によって松山・金沢・熊本の本の3局が中央局となった。

その後、横浜（S42.7.1）・新潟（S42.11.6）・鹿児島（S43.5.27）・岡山（S44.4.1）・長崎（S45.6.24）・長野（S45.7.1）が中央局に昇格した。これ以降の千葉・岐阜・那覇などはこれまでに紹介した通りである。また東京と大阪に各2つの日付があるのは、最初の中央局昇格後一旦中央が外され、再び中央局となったのである。

平成2年7月2日に北九州、川崎、旭川、函館、釧路の5局が中央局に昇格した。この時点で和欧文機械印が使用されていたのは北九州を除く4局で、それぞれの局名に「中央」が加えられた。

これだけであれば何てことはないのであるが、この年の10月1日には2期元号入りから3期丸形に全国一斉に変更された。という事は、2期の川崎中央、旭川中央、函館中央、釧路中央は同年9月30日までの約3か月の使用期間となる。

収集実感としては、川崎中央は人口も多く郵便量の多い京浜地区のため、これら4局の中では一番入手し易いであろう。他の3局は全て北海道で、川崎に比べると人口も郵便量も少なく入手には苦労すると思う。

リーフに整理するには図①のように4局の昇格前・昇格後と並べるのも分かり易いし、図②のよ

うに1局ずつカバーで並べてみるのも悪くないと思う。私は切手展に出品する際には出品分野が郵便史となるため、より重要視されるカバーの方を選んでいる。しかし個人的には単片満月も好きで、図①のスタイルは捨てきれない。

参考文献：新動植物国宝切手カタログ（2020 鳴美）

和政文機城印2期
中央局昇格 (5)
1990. 7. 2

都道府県庁所在地ではないが各地の中心局とも言える川崎・函館・旭川・釧路の4局が平成2(1990)年7月2日に中央局へと昇格した。昇格後の同年10月1日に和政文印は3期へと切り替わったため、これら4局の中央局昇格後の2期印の使用は約3か月となった。

川崎  1/89.6.3 8-12	→	川崎中央  2/90.7.13 18-24
函館  1/89.12.22 12-18	→	函館中央  2/90.8.16 12-18
旭川  1/89.6.29 12-18	→	旭川中央  2/90.8.26 12-18
釧路  6/89.10.25 12-18	→	釧路中央  2/90.8.3 18-24

図①

和政文書 第12期

中央局昇格

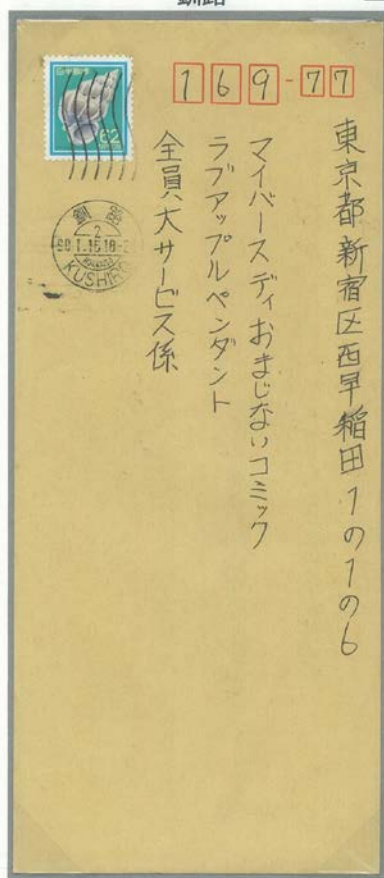
1990. 7. 2

都道府県庁所在地ではないが、各地の中心局とも言える川崎・函館・旭川・釧路の4局が1990(平成2)年7月2日に中央局へと昇格した。昇格後の同年10月1日に和政文書印は3期に切り替えられたため、これら4局の中央局昇格後の2期印の使用は約3か月となった。

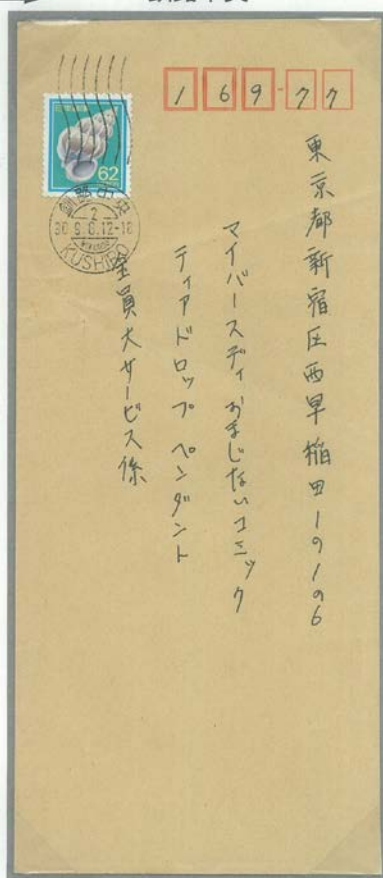
釧路

1990.7.2

釧路中央



2/90.1.16 18-24



2/90.9.8 12-18

図②

和欧文機械印トピックス（第62回）

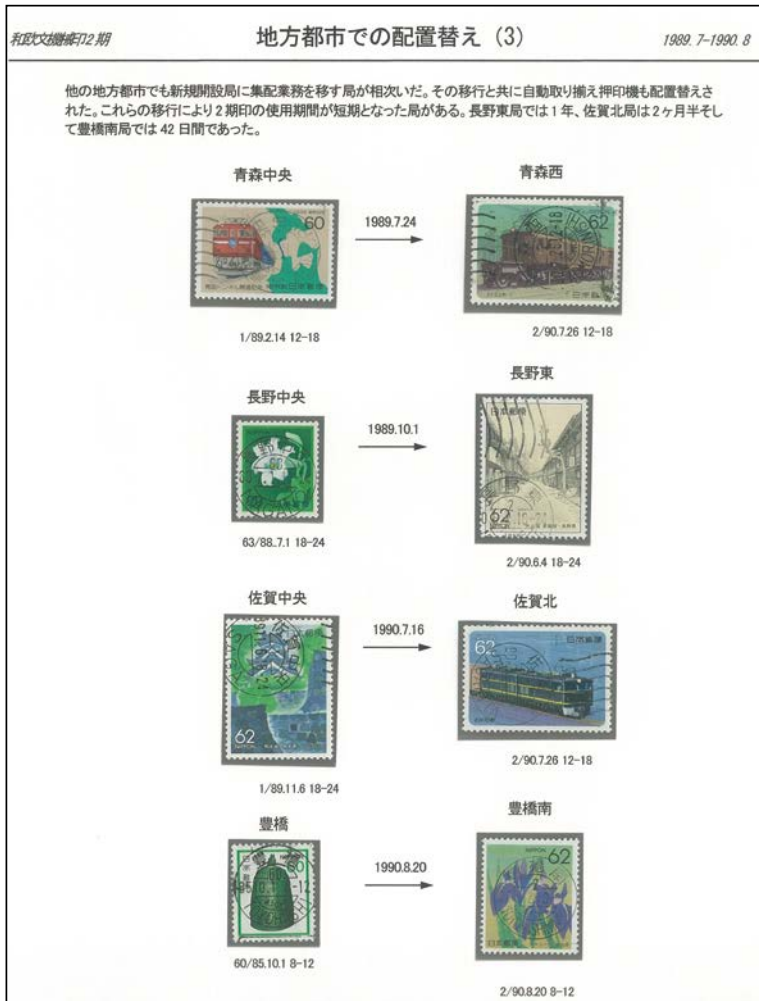
地方都市での配置換え3

水谷 行秀

第1期では第17回で、第2期では第39回で地方都市における中心局から新設局への自動取り揃え押印機の配置換えを紹介した。

第2期においてその後の配置換え、特に終盤における配置換えを紹介したい。宇都宮→宇都宮東の後は、松本→松本南（1984.8.1）や久留米→久留米輸送（1986.11）が続いた。

平成になってからも2期中に4つの配置替えがあった。順に書くと、青森中央→青森西（1989.7.24）、長野中央→長野東（1989.10.1）、佐賀中央→佐賀北（1990.7.16）、豊橋→豊橋南（1990.8.20）である（図①）。

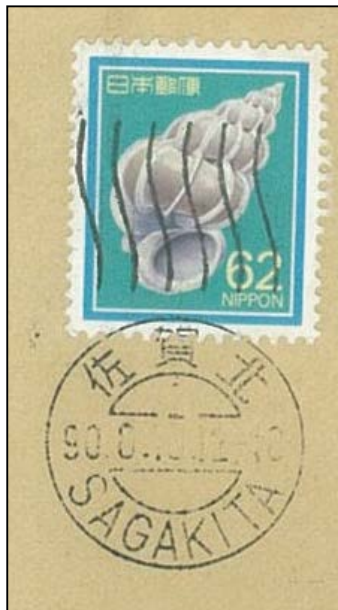


2期印は1990年9月30日限りで終了し、翌10月1日からは3期になった。これが理由で平成の配置替え後の4局の2期印が短期使用となってしまった。

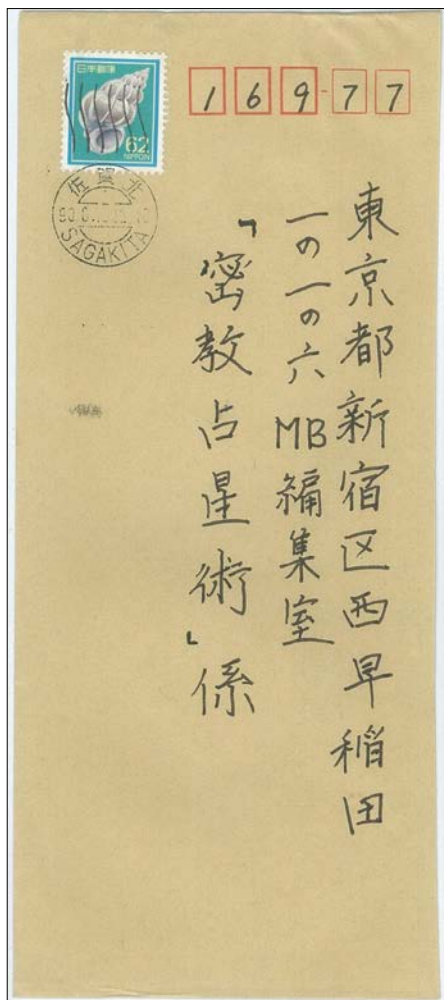
収集してみると、青森西は1年2ヶ月強、長野東は1年丁度と極端に短い訳ではないものの、地方局ということもあって少々入手には苦労するかもしれない。

問題となるのが佐賀北(2ヶ月16日、図②)と豊橋南(42日)である。両局とも都会ではないし、ご覧の使用期間である。単片やカットの状態でも入手には相当な努力が必要となる。恐らく単片の局名収集では最後まで穴になる存在となるはずである。

また、カバーともなるとキロボックスからでは出て来ない。こちらは更に厄介な存在で、図③のようなリーフにするには運も味方にしないと不可能であろう。特に豊橋南は標語無しのため波が長く局名部の押印位置がやや下になることもあり、普通切手の満月にこだわっているといつまでも未入手の状態が続いてしまうであろう。記念・特殊切手にも目を向けて幅を広げて収集することをお勧めしたい。



図②



和紙文化財の活用

地方都市での配置替え

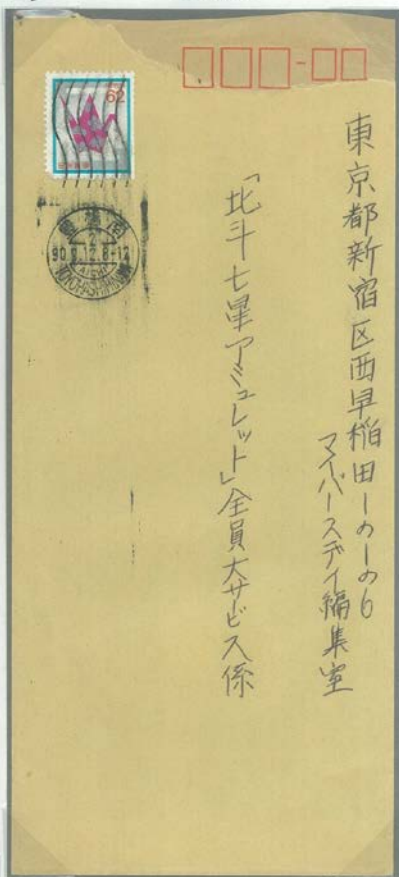
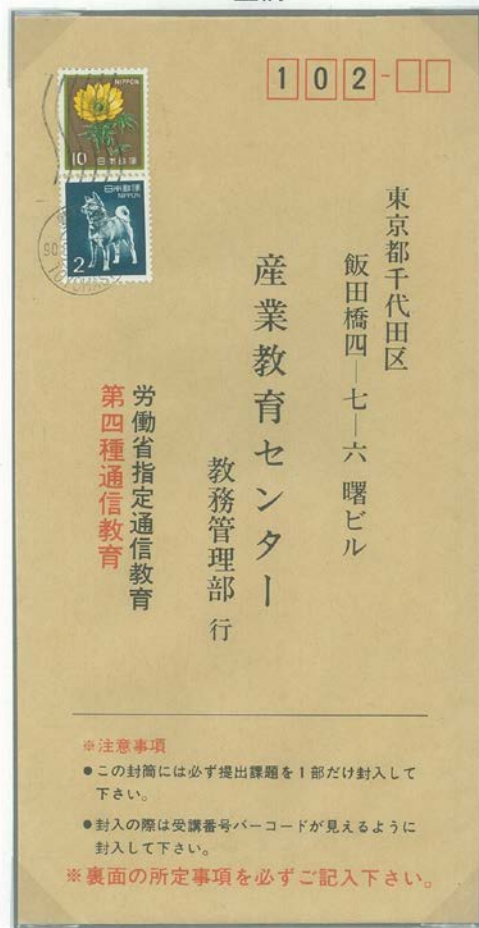
1989. 7-1990. 8

他の地方都市でも新規開設局に集配業務を移す局が相次いだ。その移行と共に自動取り揃え押印機も配置替えされた。これらの移行により2期印の使用期間が短期となった局がある。長野中央→1989.10.1 長野東(1年)、佐賀中央→1990.7.16 佐賀北(2ヶ月半)、豊橋→1990.8.20 豊橋南(42日間)であった。

豊橋

1990.8.20

豊橋南



←豊橋 2/90.8.8 8-12

↑豊橋南 2/90.9.12 8-12

62

即日速達の試行期の使用例

横山 裕三

引受けた速達郵便物をその日のうちに配達するという文字どおりの「即日速達」制度は、昭和 27 年 11 月 1 日から、全国で一斉に開始されました。

普通局及び集配特定局において、各局の局長の判断により、郵便線路の結束状況を勘案して確実に即日配達できる地域とその地域宛の引受締切時間を決定して実施するというもので、料金は通常の速達料と変わりませんでした。戦後の混乱の中で、郵便物、とりわけ速達郵便物の配達遅延が大きな問題となっていた当局にとって、信頼回復の切り札的制度でありました。

その後、鉄道網の復興、航空機による運送開始、専用自動車の運行等、輸送手段のスピードアップが図られていくことにより、速達郵便も普通に即日乃至翌日には配達できるようになり、昭和 36 年 11 月 14 日を以て「即日速達」制度は廃止されました。言わば発展的解消です。

「即日速達」制度の全国実施に先立ち、昭和 25 年 1 月以降、各郵政局毎に「試行」が行われました。但し、通達で確認できるのは、実施順に名古屋、松山、広島、熊本、大阪、札幌及び東京の 7 郵政局で、うち試行期の使用例を現物で確認できるのは、筆者の知る限り名古屋、松山、広島、熊本、札幌及び東京の 6 郵政局管内のみです。

なお、金沢、長野及び仙台の 3 郵政局の状況は不明です。本池悟氏は、『速達郵便史』（本池悟著、1994 年、鳴美）において、「関係通達を調べたがそれらしいものに出会っていない。おそらく、全国施行で足並みを揃えたのではないだろうか。」と推定されています。

試行期の使用例は、一番需要が多い東京郵政局管内の東京都内相互間のもので、およそ 30 年前は「かなり少ない（『郵便の種類と使用例』、行徳国宏著、1991 年）。」とされていましたが、現在では、ある程度の数が出現しています。

しかし、それでも他の地域の使用例に比べれば多いという程度で、関東各県内の使用例や相互間の使用例は、未だに「かなり少ない。」のまです。ましてや、東京郵政局管内以外の他の郵政局管内の使用例は、それぞれ 1 乃至 2 通程度が確認されているに過ぎません。

次ページの表は、前掲の『速達郵便史』の記述と資料を引用させていただき、同書掲載の使用例と私蔵の使用例を一覧にしたものです。試行期の即日速達のレジストリーができれば良いと思いますので、皆様から試行期の使用例をお寄せいただければ幸いです。

ではこれから、表に載せた私蔵マテリアルを基に、各郵政局管内の状況を簡単に述べていきます。

郵便物の運送には郵便線路を使用しますので、必要に応じて郵政省郵務局発行の『郵便線路図（昭和 27 年 7 月改正）』を参考として示すことにします。（昭和 25 年～ 26 年版の郵便線路図は確認できていませんが、本稿を展開するうえでの影響は無いと考えています。符号や線路の凡例は、記事末の図 19 に掲げました。）

次ページは、試行期使用例リスト

特記事項 1 名古屋郵政局では、昭和 25 年 5 月 1 日から名古屋市と大阪相互間でも開始。
名古屋市内に速達専用ポスト新設。

特記事項 2 東京郵政局では、偶数日は楕円形、奇数日は角形の「即日速達」印を押捺する。

引受日時	引受局	形態	送達 料金	宛先住所	配達局	到着印 日付	証示印	備考	図 版
名古屋郵政局 昭和 25 年 1 月 10 日 通達 (郵業務第 310 号, 昭 25 年 1 月 30 日と、郵業務第 1805 号、昭 25 年 5 月 3 日)									
昭 25 年 3 月 16 日 前 8-12 (木)	名古屋中	官製 葉書	20 円	津島市		なし	角形		3
昭 27 年 6 月 21 日 前 8-12 (土)	半田	書状	25 円	名古屋市中 東区区内	名古屋東	昭 27 年 6 月 21 日 後 0-6	角形		4
松山郵政局 昭和 25 年 3 月 通達 (郵業務第 3353 号, 昭 25 年 10 月 12 日)									
昭 27 年 7 月 18 日 下・高・松 (金)	高松宇和 島間	官製 葉書	25 円	愛媛県壬 生川町	愛媛・壬 生川	昭 27 年 7 月 18 日 後 0-6	角形	鉄郵印消し 新居浜市差出し	5
広島郵政局 昭和 25 年 4 月 1 日 通達 (郵業務第 833 号, 昭 25 年 3 月 13 日)									
昭 27 年 2 月 8 日 前 8-12 (金)	岡山・長 尾	官製 葉書	25 円	岡山市廣 瀬町		なし	枠なし		7
熊本郵政局 昭和 25 年 4 月 20 日 通達 (郵業務第 1135 号, 昭 25 年 4 月 11 日)									
昭 26 年 12 月 3 日 前 8-12 (月)	久留米	書状	25 円	熊本県荒 尾局区内		なし	角形		9
昭 27 年 9 月 5 日 前 8-12 (金)	鳥栖	書状	25 円	福岡市浦 谷	福岡	昭 27 年 9 月 5 日 後 0-6	角形	「速達郵便史」(本 池悟著) 43 頁	
大阪郵政局 昭和 25 年 5 月 (不明) 通達 (郵業務第 490 号, 昭 25 年 4 月 19 日)									
札幌郵政局 昭和 25 年 5 月 (不明) 通達 (局郵業第 433 号, 昭 25 年 4 月 18 日)									
昭 25 年 11 月 17 日 前 8-12 (金)	岩見沢	官製 葉書	20 円	小樽市稲 穂町	小樽	昭 25 年 11 月 17 日 後 0-6	枠なし	「速達郵便史」(本 池悟著) 43 頁	
東京郵政局 昭和 27 年 4 月 1 日 通達 (局業第 1553 号, 昭 27 年 3 月 28 日)									
昭 27 年 4 月 3 日 前 8-12 (木)	東京・浜 谷上通	私製 葉書	25 円	世田谷区 下馬町	世田谷	昭 27 年 4 月 3 日 後 0-6	角形	「速達郵便史」(本 池悟著) 43 頁	
昭 27 年 4 月 12 日 前 8-12 (土)	東京・芝 北寺	官製 葉書	25 円	北多摩郡 田無町	田無	昭 27 年 4 月 13 日 前 0-8	楕円形	東京都区内と郡部相 互間、但し翌日配達	12
昭 27 年 4 月 26 日 前 8-12 (土)	小伝馬町	官製 葉書	25 円	世田谷区 松原町	千歳	昭 27 年 4 月 26 日 後 0-6	楕円形		
昭 27 年 5 月 7 日 前 8-12 (水)	神田三崎 町	官製 葉書	25 円	目黒区中 根町	目黒	昭 27 年 5 月 7 日 後 0-6	角形		
昭 27 年 5 月 10 日 前 8-12 (土)	東京中央	書状	25 円	足立局区 内	足立	昭 27 年 5 月 10 日 後 0-6	楕円形	金魚 35 円実通 FDC	
昭 27 年 5 月 28 日 後 0-6 (水)	下谷	官製 葉書	25 円	千代田区 大手町	東京中央	昭 27 年 5 月 28 日 後 6-12	楕円形		
昭 27 年 5 月 29 日 後 0-6 (木)	世田谷中 里	書状	25 円	目黒区鷹 番町	目黒	昭 27 年 5 月 29 日 後 6-12	角形		15
昭 27 年 7 月 4 日 後 0-6 (金)	鎌倉	書状	25 円	大田区連 沼	蒲田	昭 27 年 7 月 4 日 後 6-12	楕円形	神奈川県から東京 都区宛	16
昭 27 年 7 月 10 日 前 8-12 (木)	千葉・台 東町	官製 葉書	25 円	世田谷区 成城	千歳	昭 27 年 7 月 10 日 後 6-12	楕円形	千葉県から東京都宛、速達 郵便史 (本池悟著) 43 頁	
昭 27 年 7 月 13 日 後 0-6 (日)	渋谷	官製 葉書	25 円	中野区江 古田	中野	昭 27 年 7 月 13 日 後 0-6	角形		14
昭 27 年 7 月 26 日 前 8-12 (土)	世田谷若 林	官製 葉書	25 円	神奈川県 葉山町	神奈川県・ 葉山	昭 27 年 7 月 27 日 前 0-8	楕円形	東京都区内から神奈川 県宛、但し翌日配達	17
昭 27 年 8 月 12 日 後 0-6 (火)	小石川	書状	25 円	台東区上 根岸町	下谷	昭 27 年 8 月 12 日 後 0-6	楕円形		
昭 27 年 8 月 13 日 後 0-6 (水)	千葉	書状	25 円	佐原市	佐原	昭 27 年 8 月 14 日 後 0-6	角形	千葉県内相互間、 但し、翌日配達	
昭 27 年 8 月 16 日 後 0-6 (土)	芝	官製 葉書	25 円	北区十條町	王子	昭 27 年 8 月 16 日 後 6-12	楕円形		
昭 27 年 9 月 19 日 前 8-12 (金)	東京中央	書状	25 円	千代田区富 士見町	麹町	昭 27 年 9 月 19 日 後 0-6	角形		
昭 27 年 9 月 29 日 後 0-6 (月)	東京・駒 込駅前	官製 葉書	25 円	北区十條町	王子	昭 27 年 9 月 29 日 後 6-12	角形		
昭 27 年 9 月 30 日 後 0-6 (火)	東京中央	官製 葉書	25 円	杉並区上荻 窪	荻窪	昭 27 年 9 月 30 日 後 0-6	楕円形		
昭 27 年 10 月 18 日 前 8-12 (土)	荒川	書状	25 円	武蔵野市吉 祥寺	武蔵野	昭 27 年 10 月 18 日 後 0-6	楕円形		13
金沢郵政局 試行の有無不明									
長野郵政局 試行の有無不明									
仙台郵政局 試行の有無不明									

①名古屋郵政局管内

他の郵政局に先駆けて昭和 25 年 1 月 10 日から、名古屋市を基点として即日配達される重要都市間に発着する速達郵便物に対して、即日速達の取扱いを実施しました。「即日速達」の印を明瞭に押捺することとされ、その印は、各郵便局で通達の仕様により作製することと指示されました。

この時に名古屋を基点とする取扱地域として指定された都市は管内の次の 24 市です。即日速達の対象は、名古屋市との相互間及び各市との相互間で、各局の即日速達郵便物の配達地域に限るとされました。

《取扱指定都市》

津島、半田、刈谷、安城、岡崎、蒲郡、豊橋、一宮、桑名、富田、四日市、津、松坂、山田、多治見、大井、美濃中津、岐阜、大垣、浜松、静岡、清水、沼津、熱海

また、4 ヶ月後の 5 月 1 日から名古屋市と大阪市の相互間でも取扱うこととなった旨の郵務部長通達（5 月 3 日付）も出されており、これは、図 1 のような広告印も使用して周知されていましたが、この名古屋大阪間の使用例の存在は未確認です。



図 1 名古屋中央
25.5.6

この広告印は、25 年 5 月 5 日から名古屋中央局と名古屋中局で使用された。データは 5 日と 6 日が確認されている。

図 2 名古屋中央局を基点とする郵便線路

さて図3は、試行開始2カ月後の3月16日の午前（前8-12）に名古屋市の名古屋中局で引受けた津島市宛の官製葉書です。到着印がないのが残念ですが、即日速達試行期の最初期使用例として、とても貴重なものだと思います。図2の郵便物線路図を見ると、名古屋中局と津島局は、名古屋中央局を基点とする専用自動車による「通常道路通常郵便線路」（太い実線で示されている）の通送網で直結しています。

図4は、逆に試行期の末期、即ち全国実施に近い昭和27年6月21日午前（前8-12）に半田市の半田局で引受けた名古屋市宛の書状で、配達局である名古屋東局の午後（後0-6）の到着印が押されています。名古屋と半田は、専用自動車による「通常道路通常郵便線路」と知多半島を結ぶ武豊線の鉄道郵便線路の2ルートがありました。

図3と図4の「即日速達」の証印は、偶数日でも奇数日でも角形を使用しています。また書体も大きさもほぼ同じなので、各局で調整と言いながらも、当初は名古屋郵政局で一括調整して主要局に配布したのかもしれませんが。

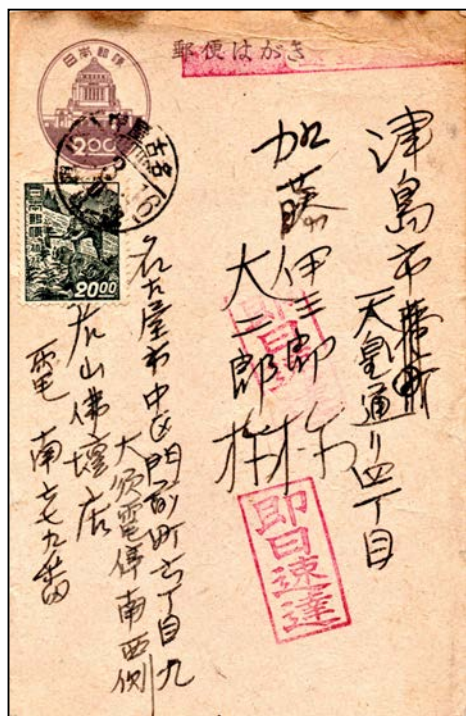


図3 名古屋市 → 津島市
(引受印) 名古屋中 25.3.16 前8-12
(到着印なし)



図4 半田市 → 名古屋市
(引受印) 半田 27.6.21 前8-12
(到着印) 名古屋東 27.6.21 後0-6

②松山郵政局管内

四国では、昭和25年10月12日付で郵務局長通達が出ていますが、本池氏によると、既に3月から施行が始まっていたことを後日局報で確認したとのこと。

この管内の試行期の使用例は長らく未確認でしたが、漸く図5を入手できました。

全国実施に近い昭和27年7月18日、なんと、「高松宇和島間／下・高・松」の鉄郵印で引受けられています。差出しは愛媛県新居浜市で、宛先は同じ愛媛県の壬生川町（にゅうがわちょう、後の東予市、現在は西条市）、同日午後（後0-6）の壬生川局の到着印が押されています。予讃線の新居浜駅で鉄道郵便車に託されて松山方面に下り五つ目の壬生川駅まで運ばれました。（図6）

全国実施後でも、鉄道郵便車で引受けた即日速達は極めて稀なのですが、既に試行期でも鉄道郵便車での引受け事例があったことに驚いています。

図5 新居浜市 → 壬生川町
（引受印）高松宇和島間 27.7.18 下・高・松
（到着印）愛媛・壬生川 27.7.18 後0-6



図6 予讃線の新居浜と壬生川間の鉄道郵便線

③広島郵政局管内

中国地方は、昭和 25 年 4 月 1 日から試行開始されたことになっていますが、やはり使用例は長らく未確認でした。

しかし、今年 7 月 11 日に行われた第 14 回スタンペディアオークションに図 7 が出品されました。

全国実施前の昭和 27 年 2 月 8 日午前中に長尾局(岡山県長尾町、のちの玉島市、現在は倉敷市玉島長尾)で引受けられた岡山市内宛の官製葉書です。長尾局の鉄道最寄駅は山陽本線の玉島駅(現新倉敷駅)で、岡山駅までの営業距離は 25.2 km ですから、鉄道郵便線路により長尾局と岡山局相互間は十分に即日速達できる地域です。

写真版を見た限りでは、即日速達の印が枠なしで字も大きい独特の姿であり、印影も薄く、更に到着印もないという疑わしいものです。しかし、現物を見てみると、「即日速達」のインキと同じ色で「速達」の印も押されており、これは即日速達使用例では良くあるパターンですし、また何よりも古色然とした全体の雰囲気疑いを薄めてくれていますので、シロと判定して応札しました。



図 7
長尾町 → 岡山市
(引受印) 岡山・長尾
27.2.8 前 8-12
(到着印なし)



図 8 東海道線の岡山と長尾間の鉄道郵便線路

④熊本郵政局管内

九州では、昭和 25 年 4 月 20 日から試行開始されたことになっています。

図9は、福岡県の久留米局が昭和 26 年 12 月 3 日午前に引受けて熊本県の荒尾市に送られた書状です。これには到着印がありませんが、久留米と荒尾は鹿児島本線で繋がっており、営業距離数は 37.7 km ですから、この鉄道郵便線路上に載せれば十分に即日速達できる地域です。

また、『速達郵便史』には、佐賀県の鳥栖局で昭和 27 年 9 月 5 日午前に引受けた福岡市内宛の書状が掲載されています。この鳥栖引受けの使用例と図5の使用例は同じく奇数日で、「即日速達」の証示印の形状は同じ角形ですが、字体が異なっています。

熊本郵政局管内の証示印は、全国実施後のものもそうですが局によって形状がばらついているようなので、各局が独自に製作した可能性があります。また、偶数日の引受にも角形印を使用したのかどうかは不詳ですが、試行期間の偶数日に楕円形を使用することを明確に指示したのは東京郵政局だけですので、熊本も角形印だけだったと推定しています。



図9

福岡県久留米市 → 熊本県荒尾市
(引受印)久留米 26.12.3 前8-12(到着印なし)

図10 鹿児島本線の久留米と荒尾間の鉄道郵便線路

⑤大阪郵政局管内

試行開始日が明確ではなく、郵務部長通達が昭和 25 年 4 月 19 日付けなので、同年 5 月 1 日からではないかと推定されています。しかし、京阪神地区での需要は多かったものと思われるのですが、「即日速達」と証示した使用例を、筆者は未だで見たことがありません。

但し、普通の速達便で引受けて当日に配達されたものは、多く見つかっています。このことを以て「大阪郵政局管内は、『即日速達の証示印』を使用しなかった。」と結論付けたいところではありますが、たまたま通常の速達便が即日配達されただけかもしれませんので、早計かと思います。即日速達の証示がある事例の出現を待ちたいと思います。

⑥札幌郵政局管内

大阪と同様、試行開始日が明確ではなく、郵務部長通達が昭和 25 年 4 月 18 日付けなので、同年 5 月 1 日からではないかと推定されています。

知られている使用例は、唯一『速達郵便史』に掲載されている 1 点のみで、これは 25 年 11 月 17 日午前に岩見沢局で引受けた小樽市宛の官製葉書です。「即日速達」の印は枠なしタイプで、図 4 の広島印よりは少し小振りのようです。

なお、全国実施後の北海道における即日速達の使用例は、現物が未だに確認されていません。試行で早くから準備してきたはずなのですが、理由が良く分かりません。未発表なだけかもしれません。

⑦東京郵政局管内

東京都内だけに限れば、即日速達の試行又は先駆的制度として、昭和 24 年 2 月 16 日から「都内速達」の取扱いが実施されていました。楕円に「速」と入った独特の証示印（愛称は丸速）が押された速達便です。

但し、同年 8 月 1 日からは、併行して実施されていた「特別速達」制度が東京都区内にも取扱いが拡大されたため、都内速達は 7 月 31 日で廃止されたと考えられています。この都内速達については、『フィラテリストマガジン』の 2015 年 3 月第 6 号、2015 年 6 月第 7 号、2016 年 6 月第 11 号、2018 年 6 月第 19 号、2018 年 9 月第 20 号及び 2019 年 3 月第 22 号に解説と使用例の「丸速センサス」が発表されていますので、ご参照ください。

そして、関東圏の即日速達は、昭和 27 年 4 月 1 日から、満を持して試行を始めたように思われます。即日速達の証示は、偶数日引受けは楕円形印を使用、奇数日引受けは角形印を使用と決められ、このやり方は、半年後の 11 月 1 日から全国で実施された際の標準となりました。東京管内は、試行期の証示印をそのまま使用しましたので、試行と本番を区別する意味合いがあまりなく、むしろ試行というよりも 6 ヶ月早く先行実施したと捉えた方が良いのかもしれません。

冒頭にも述べた通り、東京都内及び近県相互間であっても、試行期の使用例は他の郵政局管内のものに比べれば多いという程度の残存量です。使用例が確認できているのは、東京、神奈川及び千葉関係だけで、筆者は、埼玉、群馬、栃木、茨城及び山梨の使用例は未確認です。試行期間 6 ヶ月ですから、当然なのかもしれません。





図 11 東京中央局を基
点とする都内の郵便線路

即日速達郵便 即日速達になった事例と、即日速達できなかった事例

表記載のうち、私蔵の武蔵野方面、都区内及び神奈川県鎌倉方面の使用例から、即日速達になった事例（荒川局→武蔵野、鎌倉局→東京都大田区、渋谷局→中野区、世田谷中馬局→目黒区）、できなかった事例（芝北寺局→北多摩郡田無町、世田谷若林局→神奈川県葉山町）を紹介します。

まず、即日速達は取扱い郵便局ごとに、局の窓口に何時までにせせば間に合うかを、宛先の配達局別に表した「地域別締切時刻表」を作製して周知します。

『戦後の郵政資料』（行徳国宏著、2004 年）の資 03 頁に掲載されている東京中央局の「即日速達地域別締切時刻表」（昭和 27 年 4 月 1 日現在。）によれば、武蔵野局（旧吉祥寺局）管内宛は午後 4 時 00 分までに、鎌倉局管内宛は午後 3 時までに、葉山局管内宛は午前 11 時 20 分までに差し出せば即日速達可能となっています。

また同書の資 11 頁に掲載されている東京中央局の「主要地域宛即日速達窓口締切時刻表」（昭和 27 年 11 月 1 日現在）によれば、武蔵野局管内宛は午後 6 時と 2 時間遅くなり、鎌倉局管内宛は午後 3 時で変わらず、葉山局管内宛は午前 11 時と 20 分早くなり、田無局管内宛は午前 11 時 30 分となっています。都区内宛は、午後 6 時まででなら 2 時間以内に即日配達が可能となっています。

次に、当時の東京中央局を基点とする都内の郵便線路を見てみます。（図 11、前ページ）

都内の集配郵便局（普通局及び特定局）を結ぶ郵便線路は、黒の細い実線の「通常道路通常郵便物線路（小包郵便併送）」、黒の太い実線の「通常道路通常郵便物線路（専用自動車により運送）」、茶色の太い実線の「通常道路通常郵便物線路（託送自動車により運送）」などで結ばれています。さらに黒の細い一点鎖線で示されている「通常道路小包郵便線路」もあります。

図 12 は、試行開始直後の 4 月 12 日に、芝郵便局管下の特定局である芝北寺局が午前（前 8-12）に引受けて東京郊外の北多摩郡田無町（現材は西東京市）に送られた官製葉書ですが、田無局の到着印は翌日の前 0-8 になっています。つまり、即日速達として引受けたものの即日に配達できずに翌日の午前第一便で配達されたものです。

芝北寺局で引受けられた官製葉書を運送する郵便線路は、親局の芝局を経由して東京中央局に行き、専用自動車に積み込まれて、「通常道路通常郵便物線路」により、荻窪局、武蔵野局、田無局の順に直接運送されました。したがって、芝局から出た葉書は東京中央局に 11 時 30 分頃までに着いていなかったか、運送の途中で遅れが生じたものと思われます。

図 13 は、試行期間の最終月、全国実施直前の 10 月 18 日午前（前 8-12）に荒川局が引き受けて、武蔵野市吉祥寺に宛てた書状で、武蔵野局の到着印は同日の後 0-6 です。荒川局→東京中央局→武蔵野局の経路は、専用自動車による「通常道路通常郵便物線路」で、余裕を持って運送されました。



図 12

港区芝 → 北多摩郡田無町

(引受印) 東京・芝北寺 27.4.12 前 8-12

(到着印) 田無 27.4.13 前 0-8

田無局に午後 8 時まで到着しなかったため、翌日第 1 便で配達された例



図 13 荒川区 → 武蔵野市吉祥寺

(引受印) 荒川 27.10.18 前 8-12

(到着印) 武蔵野 27.10.18 後 0-6



図 13-2 封筒裏面の到着印

図 14 と図 15 は、奇数日引受の角形の即日速達証示の使用例です。

この図 14 の官製葉書は、渋谷局 7 月 13 日午後（後 0-6）引受けの中野局管内宛で、中野局の後 0-6 の到着印がありますので、都区内は比較的短い時間で即日配達になっていたことが分かります。但し、図 6 の郵便線路図を見てみると、渋谷局から中野局に直接持ち込んだ方が距離としては短いのですが、郵便線路は、渋谷局から東京中央局経由で中野局に専用自動車による通送するルートになっています。この郵便線路は、少し見づらいですが、細い実線の「通常道路通常郵便線路（小包併走）」と一点鎖線の「通常道路小包郵便線路」との二重線で示されています。これは、通常郵便物と小包郵便物の両方の通送に使われる郵便線路であることを示しています。

当たり前のことですが、郵便物の通送は、設定された郵便線路によりますから、配達に要する時間は、地理的な遠近ではなく、郵便線路への結束がどうなっているかによって決まります。

図 15 は少し極端な例です。世田谷中里局 5 月 29 日午後（後 0-6）に引受けた目黒区宛ての書状で、目黒局の同日の後 6-12 の到着印があります。地図上では、世田谷局が取集めた後は世田谷局から目黒局に直接持ち込んだ方が早いと思うのですが、一旦東京中央局に送り、東京中央局から目黒局に通送しています。使用した郵便線路は、いずれも「通常道路通常郵便線路（小包併走）」です。

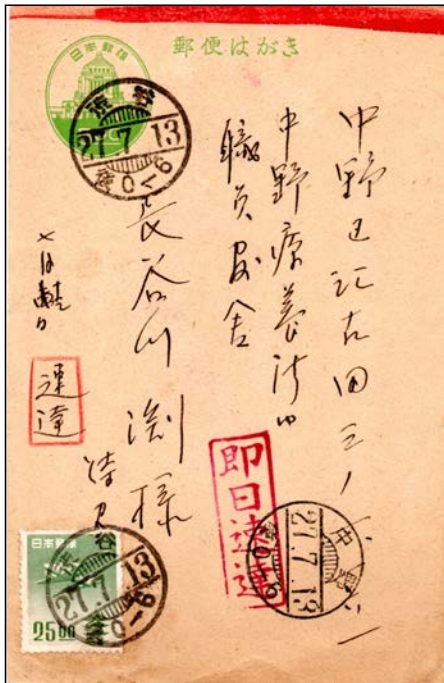


図 14 渋谷区 → 中野区
(引受印) 渋谷 27.7.13 後 0-6
(到着印) 中野 27.7.13 後 0-6



図 15 世田谷区 → 目黒区
(引受印) 世田谷中里 27.5.29 後 0-6
(到着印) 目黒 27.5.29 後 6-12

図 16 は、神奈川県と東京都区内相互間の使用例です。鎌倉、葉山方面は、東海道線の東京・大船間の「鉄道線路」の鉄道便と「通常道路通常郵便物線路」による専用自動車便が併用されます。

7 月 4 日の午後（後 0-6）に鎌倉局で引受けて大田区蓮沼宛の書状で、配達局の蒲田局に同日の午後 6 時以降（後 6-12）に到着しています。郵便規則第 102 条では、一般の速達郵便物は「3 月 1 日～ 10 月 31 日の期間の午後 8 時～翌朝午前 6 時に到着したものは、配達開始時刻を待って遅滞なくこれを配達する。」と規定されていたので、午後 8 時の配達時刻終了に間に合って到着したものだと思います。

図 17 の郵便線路図を見ますと、大船から鎌倉、逗子方面は鉄道があっても郵便線路ではないため、鎌倉からは、①大船まで専用自動車、大船から神奈川（横浜駅）までは鉄道（東海道線）、神奈川から蒲田までは専用自動車、②鎌倉から大船、神奈川までも含めて蒲田まで専用自動車、という 2 ルートが考えられます。

前述のとおり、東京中央局の鎌倉局管内宛即日速達の窓口締切が午後 3 時であることも考慮しますと、いずれのルートでも鎌倉局で午後 3 時くらいまでに引受けていれば、十分に蒲田で即日配達できたものと考えられます。

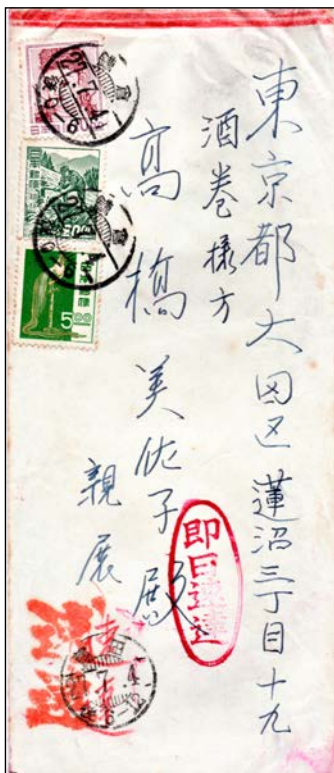


図 16 神奈川県鎌倉市 → 東京都大田区
(引受印) 鎌倉 27.7.4 前 8-12
(到着印) 蒲田 27.7.4 後 6-12



図 17 東京中央局から鎌倉方面への郵便線路

図 18 は、逆に世田谷区から、鎌倉のさらに先の葉山町宛の官製葉書ですが、翌日の配達になっています。世田谷局管下の特定局である世田谷若林局で7月26日午前（前8-12）に引受けられ、世田谷局を経由して東京中央局に運ばれ、東京から大船までは鉄道線路、大船から専用自動車で鎌倉、逗子、葉山と通送されたものと思われます。葉山局の到着印は翌27日の前0-8です。

前出の東京中央局の「即日速達地域時刻表」（昭和27年4月1日現在）によれば、葉山局管内宛の即日速達引受締切時刻は午前11時20分になっています。午前の引受けであれば、葉山であっても間に合ったものと思われますが、鉄道又は自動車のどちらかで通送遅延があったのでしょうか。

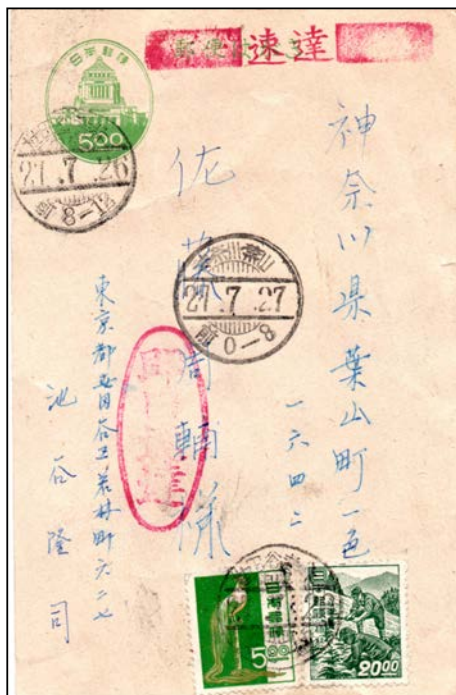


図 18 東京都世田谷区 → 神奈川県葉山町
 (引受印) 世田谷若林 27.7.26 前8-12
 (到着印) 神奈川葉山 27.7.27 間0-8
 翌日第1便で配達された例

即日速達で引受けられたものの、即日に配達できなかった図12や図18のような例は、結構多く存在します。既述のとおり、通送途中に何らかの遅延トラブルがあったことが主な原因だろうと思いますが、その他の原因としては、引受当日の郵便線路の状況（鉄道の運行遅延発生など）や配達郵便局の配達体制変更などの情報を、引受郵便局の窓口が把握していなかったこと、「即日速達地域時刻表」の誤りや変更を訂正していなかったことなども挙げられます。

このようなことに関しては、各地の郵政局もかなり気をつけていて、管下に注意を喚起する通達を出しています。これらの事情を示す通達類は、『戦後の郵政資料』（行徳宏著、2004年）の資01頁以降に掲載されていますので、ご参照ください。

⑧金沢郵政局管内、長野郵政局管内、仙台郵政局管内

試行期がなく、27年11月1日からいきなり本番に入っています。ただ、何もしていなかったわけではなく、何らかの形で調査はしていたのではないかと思います。試験郵便のようなものが出てくれば面白いと思います。

参考文献

- 『速達郵便史』（本池悟著、1994 年、鳴美）
 『郵便の種類と使用例』（行徳国宏著、1991 年）
 『戦後の郵政資料』（行徳国宏著、2004 年）
 『郵便線路図（昭和 27 年 7 月改正）』（郵政省郵務局）
 『即日速達』（横山裕三著、「郵趣仙台」2011 年 6 月～2014 年 10 月連載）

図 19 符号等の凡例

昭和 26 年 6 月 1 日に新郵便取扱規程が制定され、「通常道路」の線路呼称が次のように改称されたが、27 年版は旧呼称のままになっている。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ・通常道路通常郵便物線路（小包郵便併送） | → 道路郵便線路（小包郵便併送） |
| ・通常道路通常郵便物線路（専用自動車により運送） | → 自動車郵便線路（専用自動車により運送） |
| ・通常道路通常郵便物線路（託送自動車により運送） | → 自動車郵便線路（託送自動車により運送） |
| ・通常道路小包郵便線路 | → 「道路郵便線路（小包郵便併送）」に統合 |

◆	普通郵便局
●	集配特定局
▲	無集配特定局
□	簡易郵便局
———	通常道路通常郵便線路（小包郵便併送）
———	通常道路通常郵便線路（専用自動車により運送するもの）
———	通常道路通常郵便線路（託送自動車により運送するもの）
- - - - -	通常道路小包郵便線路
———	鉄道郵便線路
———	鉄道郵便線路（幹線と直接接続しないもの）
- - - - -	水路郵便線路（汽船）
- - - - -	水路郵便線路（和船）
~~~~~	索道郵便線路
———	無集配局と集配受持局間連絡線路
———	無集配局と集配受持局間連絡線路（水路によるもの）
⊠	郵便交換所
⊞	船舶郵便受渡所
———	鉄道停車場
———	自動車郵便受渡所
———	受渡便
300	郵便区市内戸数（三百戸以上五百戸まで五十単位）
500	郵便区市内戸数（五百戸以上五百単位）
———	鉄道線路（郵便線路でないもの）
———	鉄道線路（郵便線路でないもの）
———	汽船航路（郵便線路でないもの）

# 聯合軍司令部第二日本連絡部又はマッカーサー元帥に宛た「嘆願書」コレクション

## 外国宛はがきに◇検閲印

安藤 源成

今年の8月15日は、75回目の終戦記念日である。そして、私が切手を集め始めたのはその数年後、昭和22、23年頃の夏休みだったと思う。

自営のため、多くの郵便物が毎日届いていた。その中で遠距離からくるものには占領軍の郵便検閲がされていた。当時、郵便の知識がなく、叔父の戦地から届いた軍事郵便と共に大切に保管していた、昭和28年に、岡山郵趣会に入会して、吉田景安氏から知識を得て軍事郵便に興味を持つこととなったが平成5年の自宅火災で総てを焼失した。その時、切手蒐集を止めようと思ったが、先輩三氏の励ましで再度蒐集を始め、以前の事が忘れられず軍事郵便のコレクションを始めた。軍事郵便の一環とした検閲郵便にも興味を持って蒐集してきた。

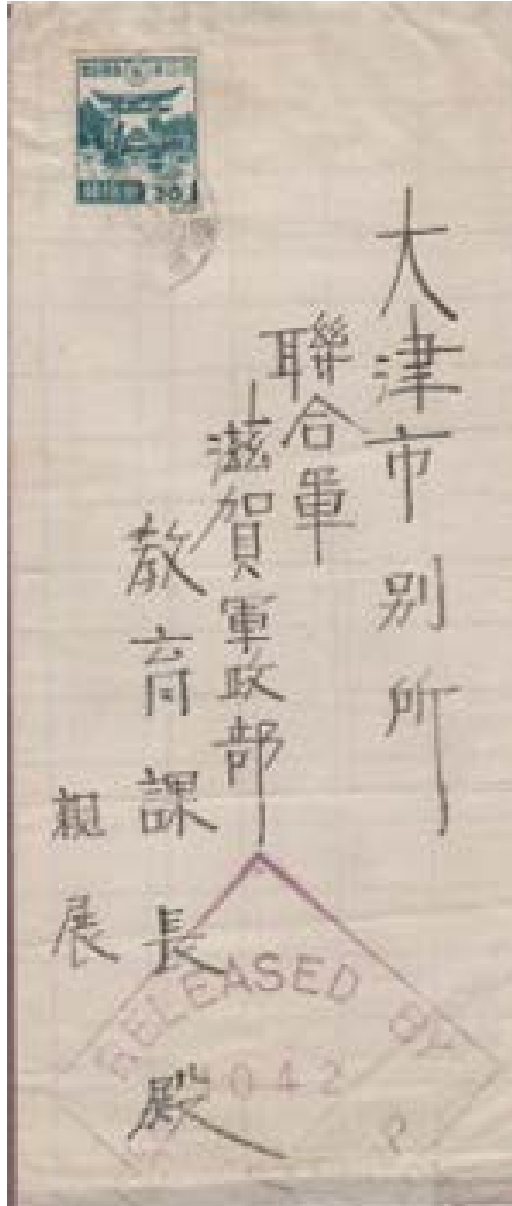
今年の新型コロナの夏 YAHOO オークションで「外国宛はがきに◇検閲印」の押されたものを落札した。「◇検閲印」は出世軍人の家族、親族が聯合軍司令部第二日本連絡部又はマッカーサー元帥に宛た「嘆願書」に到着検閲として使用したものと思っていたので、発信の検閲、ましてや外国郵便に使用されているとは思っていなかった。



「外国宛はがきに◇検閲印」今回の目玉

昭和 21 年 9 月 10 日より外国郵便便が開始されるが「PC 検閲」を受けて外国に送られたものが大部分でエンタイヤや葉書があり封書は開封されて OPENED BY --- のセロハンテープで封じられている。

聯合軍司令部第二日本連絡部又はマッカーサー元帥に宛た「嘆願書」は G.H.Q が一括米国に持ち帰ったが昭和 40 年頃米国の切手商に払い下げられて、日本に持ち込まれたので多くのコレクターの手許に有ると思う。昭和切手。新昭和切手。戦前前後もはがき。料金の変遷等バラティに富んでいる。



大津聯合軍滋賀軍政部宛  
地方の軍政部宛で「◇検  
閲印 NO1042」唯一のカ  
バー。

2016年ニューヨークの国際切手展に「U.S. Army Mail and G.H.Q. Postal censorship in JAPAN」出品をし参観した際に、米国には世界中の軍事郵便と検閲郵便の専門部会が有り素晴らしい文献が沢山出版されていることを知ったが、英文のため理解できなかった。又、小生の作品の前後は「GOOLD」に輝く素晴らしい作品であった。

日本では軍事郵便の分野は進んでいるが検閲印に付いては断片的な報告が多く、纏まった文献は裏田稔氏の「占領軍の郵便検閲と郵趣」しかない。尚、同書には◇検閲印のNoは無番、1001,1003,1010,1028 が報告されているがまだあると思う。番号は何を意味するのか？



ATIS「◇検閲印」  
使用前に鉛筆又は  
ペン書きされ検閲  
者の番号が記載さ  
れている  
右は赤ペンで、  
General Douglas MacArthur と記載  
されている。

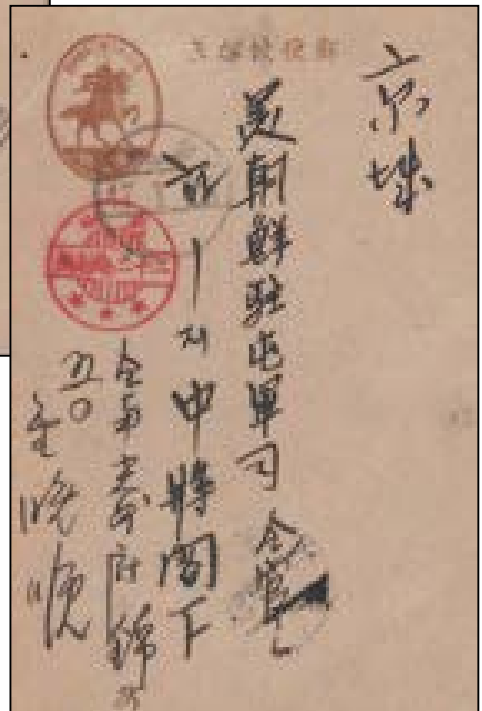


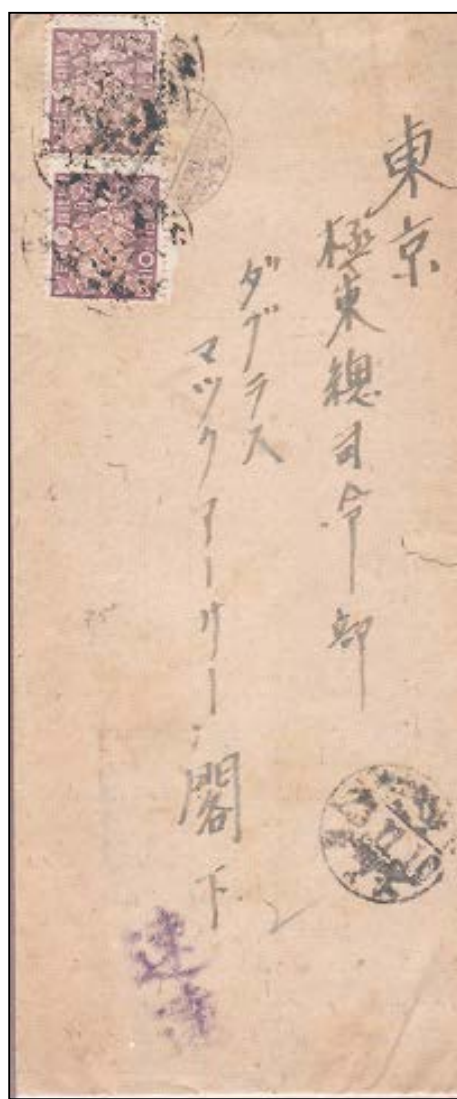
マッカーサー元帥宛の「嘆願書」の内容についてはテレビ、新聞のマスコミでは度々取り上げられたが郵趣の世界では影が薄いのが現状である。「嘆願書」は何時から何時までだったのか？昭和21年10月20日以降11月15日頃までが圧倒的に多く、全国から送られたと思われる。町村や小中学校から纏めて送られたものが多く宛名にゴム印が使用されたものが多く見掛けられる。嘆願書は数十万通あり、まだ米国に有ると思われる。なぜ11月に集中するのか？何か理由があるのだろうか？郵便料金もまちまちだし、差出の確認されていない県もあるのだろうか？

今後の郵趣界の課題として、戦後の通信省から郵政省に改称されたドサクサの時代の郵趣を国際切手展でもっとアピールしていただけないだろうか。郵趣人にとっては通信省が存在した昭和22年12月31日までが戦前で、郵政省に改名した昭和23年1月1日からは戦後と考えても良いかも知れない。



G.H.Q. は韓国も守備範囲であり、日本に倣って韓国でも嘆願書が京城の聯合銀司令部に送られた。上の葉書には、「RELEASED BY CENSORSHIP」の検閲印が押されている。





差立て局では「書留」扱され適正料金の切手が貼られて居るが書留に印は×で抹消されて居る。検閲印は無い。

「速達」で差し出され到着局名は読めないが日付は21,11.16.である。書留同様検閲印は無い。

## コレクションの作り方

### 切手コレクションの紹介

種子植物

石田 徹

喜望峰三角切手

吉田 敬

## 郵趣活動の記録

《書評》『日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915』

町屋 安男

郵趣振興協会 活動報告

特非) 郵趣振興協会

オンライン郵趣例会における画面共有マニュアル

特非) 郵趣振興協会

APS(アメリカ郵趣協会)のバーチャルスタンプショー

和田 文明

## オークションレポート

ジャパNSTAMPオークションニアレポート

鯛 道治

スタンペディアオークション

スタンペディアオークション(株)

第14回セールレポート・最終落札結果(文献含む)

## 切手コレクション紹介

スタンプショウ2020金賞グランプリ 付録に全リーフ掲載(5F)  
種子植物

石田 徹

この作品はトピカル切手展出品ということで図案別収集として、種子植物を裸子植物に1フレーム、被子植物(双子葉類)、被子植物(単子葉類)に各2フレームという構成となっています。しかし、内容的にははできるだけ最近の切手を採用せず、郵趣的な分類などが面白いマテリアルを採用することによって、各リーフを見ると伝統的 분류の色彩が強いものとなっています。

製造面要素のエッチードやエッセイ、ダイプルーフ、素版ブルーフ、プレートブルーフをはじめ、印刷シートの再現、目打、加刷のバラエティなど各所に散りばめています。

また、図案別収集は未使用中心となりがちですが、1リーフ同一図案として未使用を示した上で、使用済み高額や定常変種のブロック、連刷、郵便使用例の少ないものなど採り込んでいます。これらから図案別作品とは異なる見方も可能ですので、郵趣的観点からもお楽しみいただけるかと思います。

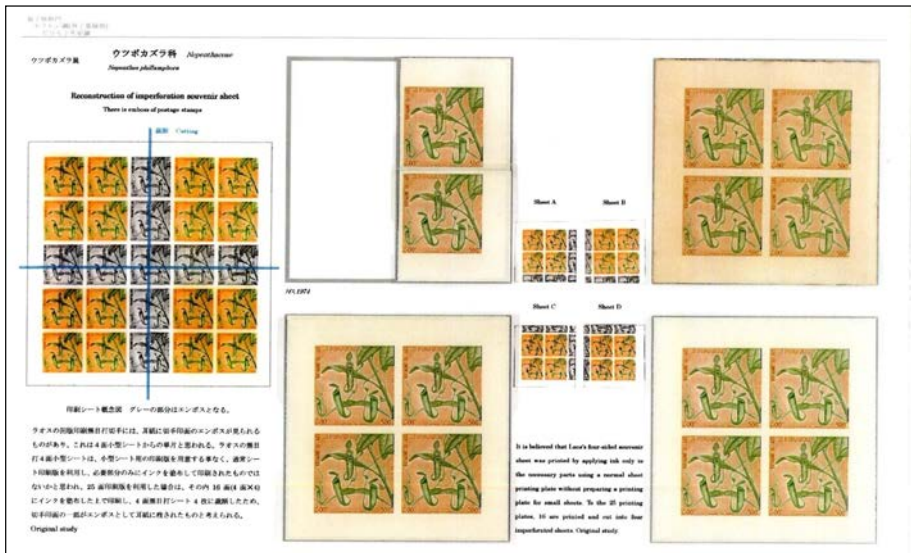


fig.1 ラオス無目打切手の印刷シート再現、オリジナルスタディ。再現の手がかりが見えにくい耳紙のエンボスのため、オークション入札に困難を極めた。

作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンプedia」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

操子植物門  
グネトウム綱

ウエルウィッチア科 *Welwitschiaceae*

ウエルウィッチア属

ウエルウィッチア *Welwitschia mirabilis* = *Whainesii*

* 奇想天外



南西アフリカ, 1931

English / Afrikaans



Afrikaans / English



English / Afrikaans



Afrikaans / English



Imprint  
BRADBURY WILKINSON & Co. LD.  
ENGRAVERS, NEW MALDEN, SURREY, ENGLAND

Shifted Center



Parcel label

Windhoek (South West Africa) to London 1930's

fig.2 南西アフリカの連刷切手。未使用を示した上で、より収集困難な連刷使用済を示す。  
田型銘版付きのセンター印刷ずれは、上段と下段のずれ幅が異なり面白。

## 切手コレクション紹介

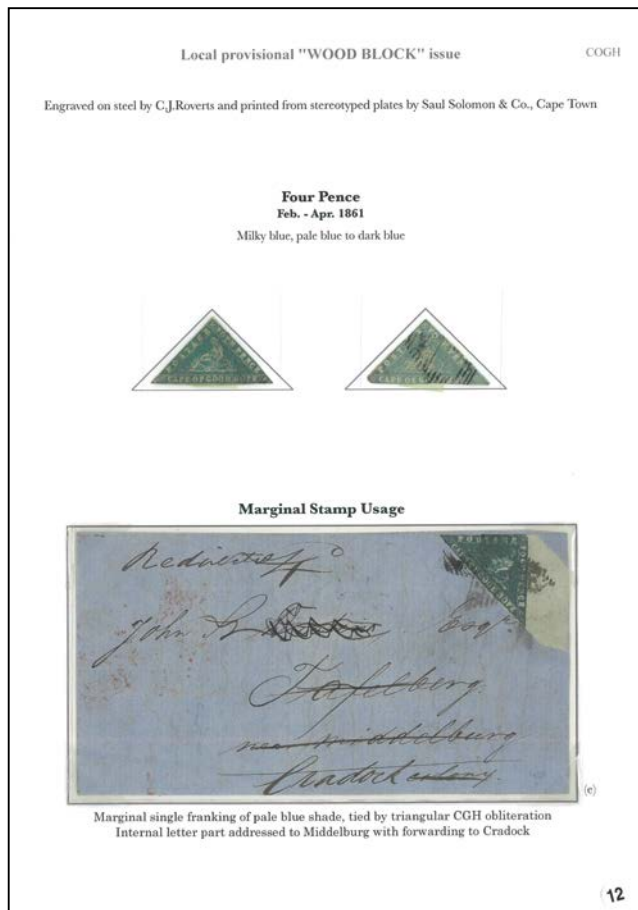
### 第7回ヨーロッパ切手展 出品作品 付録に全リーフ掲載（1F）

## 喜望峰三角切手

吉田 敬

英領喜望峰は、現在の南アフリカ共和国に含まれる地域です。19 世紀中頃に発行された一番シリーズで採用された原画は、世界初の三角切手図案で、切手収集家に人気です。

手持ちのマテリアルを並べただけの作品ですが、世界初の三角切手がどのような切手だったかをお楽しみいただければ幸いです。



作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

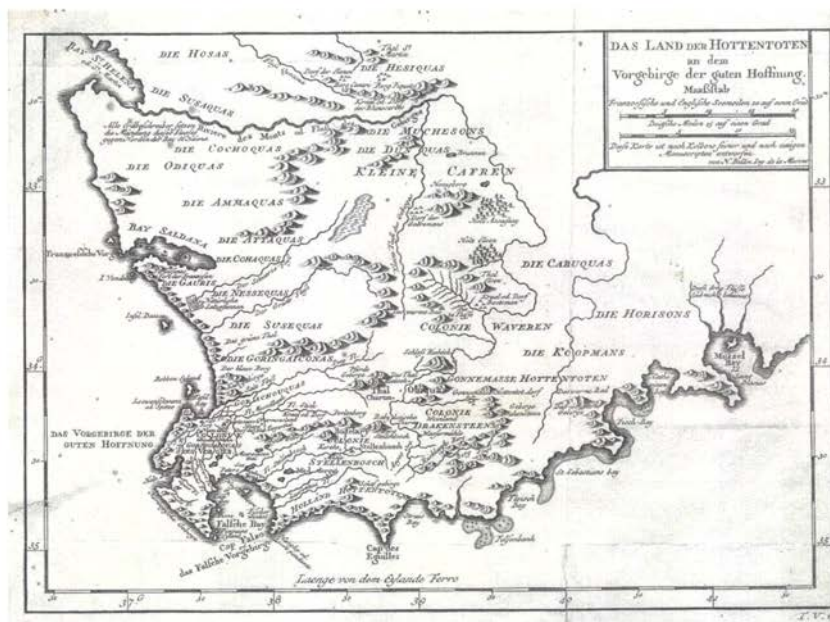
付録は「マイスタンペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

# COGH Triangular Stamps 1853-1864

COGH( Cape of Good Hope, 英領喜望峰) は、現在の南アフリカ共和国に含まれる地域で、大西洋とインド洋を結ぶ交通の要地として、英国が植民していました。19 世紀中旬に発行された一番シリーズは、世界初の三角切手で、切手収集家にも人気です。手持ちのマテリアルを並べてみました。

1853 年から 1864 年にかけて発行されていた、英領喜望峰の三角切手を、伝統的な分類方法に従って 4 つのシリーズに分けて展開した伝統郵趣コレクションです。カタログの分類に従い、4 つのシリーズに分けた上で、各シリーズの中は、額面順に展開しました。各切手のページは、未使用とマルチプルと使用例で構成しました。

§	シリーズ	額面	page
1	The First issue	1d 4d	2-4
2	The Second issue	1d 4d 6d 1sh	5-10
3	Local provisional "WOODBLOCK" issue	1d 4d	11-12
4	Last De La Rue issue	1d 4d 6d 1sh	13-16



《書評》

『日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915』

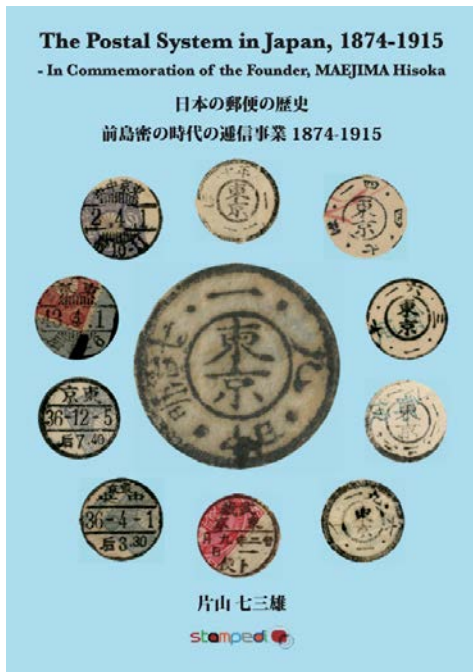
片山 七三雄著（スタンペディア）

町屋 安男

明治政府は①殖産興業②富国強兵③脱亜入欧を国策の基本とし、通信制度として新式郵便が前島密の建議によって明治4年3月1日（旧暦）に発足した。近代郵便の三本柱は①料金前納制②政府独占制③均一料金制であり、三大特徴が①低廉性②迅速性③確実性となる。明治の後半期は郵便制度の近代的な骨組みが確立した時代であり、新式郵便から近代郵便への転換期でもあった。この転換期を“明治後半期の郵便改革”として捉え、郵便改革の特徴を①新しい郵便サービス制度の創設②低料金優遇政策の推進③郵便日付印の近代化（丸一印→丸二印→櫛型印）に集約してコレクションを展開することも、郵便史の一手法となる。

また、郵便史の背景には、人と人とのふれあいがある。そのふれあいが、コミュニケーション手段の発展につれて多様化している。郵便史コレクションは、社会の高度化・情報化に対応して変遷する郵便事業の有り様を表現するものである。すでに我々は、「郵便史収集とは、公古今東西を問わず、郵便で送られたもの（カバー、はがきなどのステーショナリー、帯紙その他）を系統的に集めることにより、ある特定の時期・地域の郵便事業の変遷を示すものである。」と云う定義を共有している（松本純一著『郵便論第一節』）。

片山七三雄氏は、＜JAPEX'91＞の郵便史部門に「1900年10月1日・郵便条例から郵便法へ～近代法の確立と内容の充実～」を出品され、同タイトルの私家本も平成3(1991)年10月1日に刊行している。歴史の把握には、共時と通時がある。共時とは歴史を同じ時・同じ場所（すなわち同じ条件）において全体を貫いているものを捉える行き方であり、通時は時系列に沿って歴史の変遷



書籍名：日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915

著 者：片山 七三雄

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4判 約142ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：1,650円（消費税込）

ISBN-13：978-4908677199

を把握する仕方である。共時的把握として郵便史の構成要素を横軸にとり、編年体的変化として通時的把握を縦軸にとって、マトリックスに整理すると郵便事業の推移が分かり易くなる。その意味で、「通時的な捉え方を横軸（時間軸）にし、共時的な捉え方を縦軸座標（制度軸）に取る→これにより、ある使用例を座標（時代区分、取扱い）に位置付ける」と指摘された片山氏の方法論は説得的である。そして、コレクションの基本原則として、郵便史の構成要素を広く捉え、動的に時代を対比している。

また<JAPEX'98>に出品された「明治中～後期の内国郵便事業整備史～郵便の近代化と国家政策推進を目指して～」は、郵便史の発展方向に模範的な指標を提示した作品である。明治後半期の郵便改革は、どのような制度軸で分類するかによって郵便史コレクションの特徴が明確になる。片山氏のコレクションは郵便史を国家体制と郵便管轄体制と云う大局的な視点で捉え、転換期における郵便制度の変遷を全体像で表現した、スケールの大きい作品である。この広角的な視角によって、郵便を始めとした通信事業（電信・為替・貯金・電話・保険）の有り様が視座に入る。

そこで、現段階における郵便史の概念（分類・定墓）を提言してみたい。「郵便史収集とは、郵便物として取扱われた様々な使用例を系統的に集めることにより、特定の時期や場所等の条件における郵便事業等の変遷を、郵便史の構成要素（郵便料金、郵便ルート、郵便印、郵便切手、郵便表示印・ラベル、差出人・受取人、社会的背景、郵便資料、郵便法規等々）に沿って示すものである。」と定義してみた。

日本の郵便史収集は郵便創業史や郵便印収集を皮切りとして、昨今は郵便制度史で賑わっている。制度史や種別史は狭義の郵便史であり、片山氏の提示した郵便事業史は今後の発展方向における貢献度が大きく、波及効果についても上限がないものと思われる。

余談となるが、<JAPEX'90>に「明治後半期の郵便改革～新しいサービス制度と低料金優遇政策～」を初陣作品として出品した際、郵便史収集に関する天野安治氏の懇切丁寧な予備審査を受けることができた。そして、「今後は個別的に深めた方が良い」と云う助言があり、内容証明郵便や現金取立（代金引換・集金）郵便・簡易書留郵便等の専門収集に取り組んで現在に至っている。

また、JPSの昭和切手例会において、行徳国宏氏と片山七三雄氏の三人で<JAPEX>に新設された「郵便史」の「来し方・行く末」を熱く語り合った想い出がある。この三人組は「阿吽の呼吸」で語り合える盟友であり、三者三様に郵便史を啓蒙普及している。

行徳国宏氏は、「郵便の種類」を基本視角とした使用例の収集方法を展開された。具体的には、①シリーズ切手を中心にした郵便の種類別収集、②特定の郵便料金期間における郵便の種類別収集、③郵便料金にそった郵便の種類別と云う3つの収集方法である（『郵便の種類と使用例・第3巻』）。行徳氏の著作は多大を極め、手元の単行本だけでも19冊あり、「行徳本」として親しまれると共に、まだまだ現在進行形となる。最新作の『第四種郵便（解説と作品）―日本における郵便史作品を作る―』では、行徳氏が郵便史収集に至った経緯と共に郵便史収集への私流視点が記されていて、とても興味深い。

更に、語学のプロフェッショナルが究極のテーマとして冠詞論を志向するように、片山氏の郵便史も郵便学として体系的に構築されている（『ポスタルヒストリー』誌・連載の「郵便学概説」参照）。片山氏の著作は可能な限り入手に努めているが、初期論文の「遊趣人（ひまじん）のエンタィア遊歩道一駄物の山から」を始めとしてファイル8冊・バインダー1冊（他に単行本）と膨大である。

従って、奥深い片山氏の郵便史ワールドには、予備知識が不可欠である。以上を前提条件として、片山氏の最新作に目を通して見た。

『日本の郵便の歴史・前島密の時代の通信事業 1874-1915』は、官制・管轄・局種・取扱事務等を制度軸に据え、消印の形式を中心として通信事業の非郵便事業史を展開されている。従来、非郵便使用例は、エンタィアや単片の消印においても日陰者であった。郵便史の醍醐味は、使用例の謎解きと共に日のあたらぬ分野の発掘にある。そして、郵便史のドラマには、主役・脇役・端役・仕出し等のキャストが不可欠である。電信・貯金・為替・電話等の非郵便事業を主役としたドラマ

には、片山氏の郵便史に対する“こだわり”が反映されている。

作品は、郵便の中央官制である内務省駅通寮の初日便から始まり、同省駅通局の初日便と続く。工部省の電信局設置後に農商務省駅通局となるが、内務省の最終日と農商務省の初日便が展示されている。次いで地方管制の駅通区画法に転じ、内閣制度発足と通信省設置・通信省駅通局と推移する。郵趣市場に出回っている郵便使用例でも、初日便の入手には運が伴う。非郵便使用例の初日便には、命懸けの飛躍が必要であろう。しかも、カバーの補足分は、使用済の単片切手で充足されている。消印へのこだわりは、東京電信分局・東京郵便局の開局と電信事務・郵便事務の統合等々に集約されているが、圧巻である。

この様に、中央官制（電信・貯金・為替・電話・船舶・鉄道）と地方管制の使用例が、時系列に沿って展開されている。ここで、中央官制が船舶・鉄道等の運輸部門を管轄していることに留意すべきである。交通は通信（郵便・電信・電話等）と運輸（陸運・海運・空運）から成り、通信事業には通信と運輸が包括されている。そして、郵便史は交通を分野の対象とし、運輸は郵便ルートとなる。片山氏は、思い入れをもって鉄道にページをさいている。

郵便史はルート・レート・キャンセレーションの3要素で郵便事業の変遷をシンプルに展開しているが、郵便史の構成要素は作品によって多様化する。片山氏の郵便史は、郵便資料がキープポイントとして有効に活用されている。一般的に、郵便史では構成要素を広く捉える程に重厚な作品となる。

消印を通時とした作品には、郵便印の丸二型印と櫛型印(X型・Y型)が登場する。片山氏は、局種(集配度数含)を制度軸に据えて郵便印の初日使用例をきめ細かく展示している。元日のX型初日印も然りながら、Y型印の初日使用例等には圧倒される。とりわけ、Y1型・Y2型・Y3型印の同時使用例は、存在を神に感謝するカバーである。櫛型印の収集では、全般的な傾向としてY型印が鬼門になっている。

片山氏のコレクションは、「郵便史を静的なものとしてではなく、動的なものとして捉える→その前後の区分との対比により、その時代をより特徴付ける。」と言う基本原則に貫かれている。地方官制の通信官署官制改正によって、1905（明治38）年4月1日から無集配三等局が特殊取扱郵便物の抹消を開始した。その初日便が、さり気なく3通も展示されている。どの使用例にも存在理由があり、中でも訴訟書類郵便には「泉訴」入りの書留番号票が貼付されている。書き込みが無いので見逃されてしまうが、「泉訴」入りの初日使用例は訴訟書類郵便の“知られざる名品”である。

また、内容証明郵便は、通信省令第106号によって明治43年11月16日に創設された。その際、内容証明郵便物の引受には、「1・2等郵便局及所轄通信管理局長の指定する郵便官署」と言う制限がある。片山コレクションには、“引受局制限の通知書”が創設日の受付印付で展示されている。初見参の郵便資料であり、現物によって初めて存在を知らされた。この様に、動的な時期区分は異種同額面同時使用例として結晶し、初日・最終日・サドル便においても他の追従を許さない。

敢えてお願いを一つだけ挙げるとするならば、官制を軸として電信・貯金・為替等々の諸制度が時系列（消印）に沿って展開されているので、全体の流れは概観できるが、各制度の一貫した流れが比較的に分かり難いと云うことである。例えば、書留・配達証明・訴訟書類郵便等々の郵便制度を展開する場合に書留を軸にすると流れが分かり易くなる様に、電信を基軸とする手法もあり得る様に思われる。

さて、切手収集の秘訣は、年季と情熱にあると云われている。郵便史収集では、①年季②情熱に加えて③郵趣知識の三位一体が不可欠である。片山氏の作品は、幅広い郵趣知識に裏付けされた、奥深い郵便史ワールドを構築している。私達は、本書を一読するだけで郵便史の深奥を体験し、高い頂きから郵便史を俯瞰することができる。郵便史は、春秋を重ねる程に魅力を実感できる様になる。片山氏の郵便史は、魅力の宝庫である。奥深い郵便史ワールドの入口として、『日本の郵便の歴史』は必読書と云える。本棚に1冊備えて頂き、余暇に目を通してみただけで“思わぬ余徳”にありつけるであろう。

# 郵趣振興協会 活動報告

2020年6月11日～2020年8月31日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

## 第3期 決算の完了

当協会では、会計の透明性を高めるために、収入・支出について、オンライン経理処理システムを使用して、できる限りリアルタイムで入力処理を行っています。(通帳記帳含めて)

同処理を行っている関係で、第3期(2019年4月-2020年3月)の経理処理は4/1に完了しました。但し決算作業への本格的な着手は8月になった為、決算承認を行う定時総会は8月30日と例年よりも遅い開催になりました。

第3期は「切手コレクション展示パネル」改修委員会を中心に、消耗品費用を約108万円使用しましたが、創業以来、賛助会員の皆様の会費で積み立ててきたお金を元に賄うことができました。予定通りパネルの改修が完了したことを受けて、全国切手展「スタンペックスジャパン2020」の開催につながりましたので、改修プロジェクトは成功だったと判断しております。

上記の理由で単年度では、65万7千円の赤字となりましたが、収入面では、賛助会費・特別賛助会費が順調に集まった事とスタンペックスジャパン2020事業の開始に伴い、経常収益は150万9千円となったこともあり、第4期(2020年4月-2021年3月)への繰越正味財産額は約38万円と累計赤字は避けることができました。

なお、決算承認の総会では、併せて、正会員の年会費の改訂および入会金を無料にすることが承認されました。これにより、今後の正会員の年会費は18,000円となりました。(賛助会員年会費6,000円は変更なし)

## 「国際郵趣連盟登録審査員による作品改善指導」の好評を受け、全国切手展「スタンペックスジャパン2021」の開催を決定

スタンペックスジャパン2020出品者を対象に、4月に行った、『国際郵趣連盟登録審査員による作品改善指導』への好評を受け、当協会と郵政博物館(通信文化協会)は、協議の上、「スタンペックスジャパン2021」の開催を6月29日に決定しました。

会期は、2021年4月10日(土)～13日(火)の4日間で、作品募集期間は2020年11月1日(日)～12月17日(火)です。詳細の案内は2020年9月10日頃に発表予定です。

なお、切手展開催期間およびその前後の新型コロナウイルス感染症の状況を見通すことは、作品募集時点では難しい為、当切手展の運営にあたっては、様々な状況を予測して、無理のない形の運営ができる様に検討を行うことを共催の郵政博物館とは確認しており、オンラインビデオ会議サービスなどを活用した運営も検討しています。



## オンライン郵趣例会振興プロジェクトからのご報告

当協会では、2020年4月より齋享理事をプロジェクトリーダーにして、オンライン郵趣例会の活用を促す活動を行っていますが、本活動報告期間中には、以下の活動を実施しました。

### (1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会	6回
外国切手研究会	12回
昭和切手研究会	3回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回
記念特殊切手研究会	1回

### (2) ZOOM マニュアルの取りまとめと提供 (左図)

ZOOM 画面共有マニュアル (Windows JPEG 画像用)  
ZOOM 画面共有マニュアル (Windows JPEG 画像以外用)  
ZOOM 画面共有マニュアル (MAC 用)



### (3) オンライン郵趣例会開催団体の集客支援方法の提供

当協会ホームページにおける、例会報告コーナーの提供

外国切手研究会	12回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回

当協会では、9月以降も、技術面およびマーケティング面で様々な取り組みを行うことで、オンライン郵趣例会の振興を図っていきたくと考えております。

### プロジェクトリーダー (齋享) より

私は宮城県岩沼市に住んでいます。仙台市には近いですが、東京や大阪に比べたら、郵趣の情報入手にはハンデを感じてきました。そこで地方で情報を得る目的で、全国ネットの日本切手や昭和切手の ZOOM 例会を立ち上げました。

そうしたところ、全国だけでなく英米に滞在中の日本人まで含めて多くの郵趣家が集まり、画面を通じて、発表者の詳しい説明を聞き、たいへん切手の勉強になりました。

一方的に話を聞くだけでなく、時には討論になり、見ていなくても面白い例会になりました。

また、分からないことを画面で尋ねると、日本のトップクラスの収集家も参加していますので、教えて頂き、内容ある例会になってきております。

専門の ZOOM 例会は、その分野の興味ある方だけが集まっているため、和やかな例会になっています。質問しますと、次々と画像が出てきて、面白いです。

ZOOM 例会を、『切手のテレビ番組が始まった』と発言せずに楽しく見ている方もいらっしゃる様です。なんとと言っても、会費と交通費がかかりませんので、効率のいい切手収集ができます。

オンライン郵趣例会は、今後ますます発展していくと思います。

## 各種事業の進捗について

当協会は「2020 年度事業計画書」において、5つの事業を計画しております。

それらは「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリック PR 事業」「次世代育成事業」の5つです。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビション事業

スタンペックスジャパン2021の開催について、郵政博物館と合意（6/29）

郵博 特別切手コレクション展（2020 年度）等の展覧会の準備

スタンペックスジャパン2021実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）の活動継続

### フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社に委託しています）

### リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

### フィラテリック PR 事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（6-8 月で 21 件。対前四半期 -27 %）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

### 次世代育成事業

スタンプクラブ「月刊切手ニュース」への協力

### 総務ほか

理事会を1回開催（8/23）

定時総会を開催（8/30）

東京都庁に 2019 年度事業報告書を提出（8/31）

当協会 ZOOM アカウントの年間契約（7/31）

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）

# オンライン郵趣例会における画面共有マニュアル

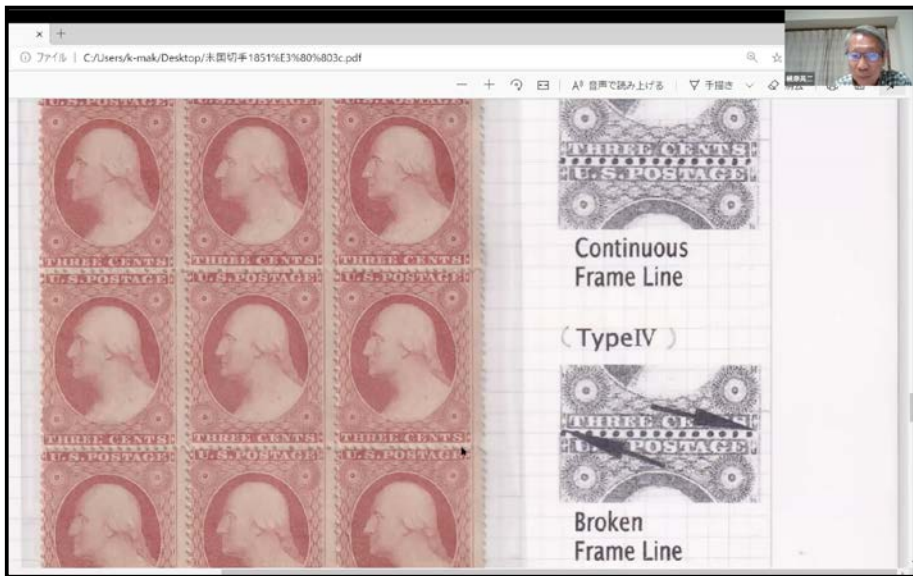
特定非営利活動法人 郵趣振興協会

オンライン郵趣例会 振興プロジェクトリーダー 斎 享

郵趣振興協会では、ビデオ会議サービスを活用した郵趣例会のノウハウなどを溜めて情報共有する為に、オンライン郵趣例会 振興プロジェクトを立ち上げています。

活動を進める中で、オンライン郵趣例会の有用性について認識を深めると共に、これを進行させる為に、技術的につまづく人が多い「画面共有」についてわかりやすいマニュアルを作成し、提供する事が役立つだろう、ということになりました。

「画面共有」は、オンライン会議において、司会者が指名した参加者が、手元の郵趣品（切手、カバー、リーフなど）の画像を、全参加者の画面に大きく表示する機能（下図）で、オンライン郵趣例会の開催には欠かせない機能です。



外国切手研究会 オンライン例会 米国 1851 3c のタイプ分類について解説する横原晃二さん  
参加者全員のパソコン・スマホにこの画面が表示される

ただ、自分のパソコンの画面を他人のパソコン画面に表示させるというのは、長らくパソコンに親しめた人にとっても新しい概念である為、事前準備をしないと失敗する人が続出し、円滑な例会運営ができない原因になりがちです。

また、仕事でビデオ会議サービスを使用している人であっても、画面共有に慣れた人でないと、自分のコレクションをオンライン郵趣例会で上手に他の参加者に見せることはできません。自分を撮影するカメラで動画を撮影して伝えようとしても、画面共有に比べると解像度が低い為、切手をかざしてもぼやけた画像にしかならず、切手のバラエティや消印の局名や日付を見せる水準には達しません。

そこで、郵趣振興協会では、世界中の郵趣サークルへの浸透度が現在最も高いと考えられている

ビデオ会議アプリ「ZOOM」による画面共有のマニュアルを6月に郵趣例会向けに書き起こした上で、数度の改訂を経て、以下のマニュアル3点として8月23日にホームページ公開を開始しました。

ZOOM 画面共有マニュアル (Windows JPEG 画像用)

ZOOM 画面共有マニュアル (Windows JPEG 画像以外用)

ZOOM 画面共有マニュアル (Mac 用)

このマニュアルは今号の付録2にも掲載されていますので、オンライン郵趣例会へ参加される方は是非ご活用ください。

なお、いずれの場合も大事なことは、(1) 例会前にスキャナーやスマホカメラなどで、例会で紹介したいと考えているマテリアルを画像にしておくことと、(2) それを自分のパソコン上で大きく表示しておくということです。

両方やっても10分で用意できることです。例会開始前に、ささと準備しておく、円滑な例会参加が可能になります。

郵趣振興協会 オンライン郵趣例会振興プロジェクトでは、今後もオンライン郵趣例会の発展の為に役立つ施策を行い、成果を発表してまいりますので、どうぞご期待ください。



## オンライン郵趣例会デビューの為に tips

特非) 郵趣振興協会 まとめ

フィラテリーは社交的な趣味ではありますが、その一方で自宅で一人で楽しむこともできる趣味でもあります。その観点から言えば、オンライン郵趣例会はフィラテリーに必須なものではないのかもしれませんが。

しかし、その様な人でも、時にはこのフィラテリーの社交的な一面を楽しみたいと思う時が来るかもしれません。その様な時に既にコミュニティが成立している初めての切手サークルへの参加は気が引けたり、勇気がいるでしょう。

知り合いが参加していれば気が楽ですが、そうでない場合は、是非、以下をご参考になさってください。

- (1) 広く参加者を募っているオンライン郵趣例会であれば、新しい方のご参加は歓迎こそされ、嫌がられることはありません。
- (2) オンライン郵趣例会の代表者は全員電子メールで連絡が可能な人です。事前に会の様子などを伺うことも可能でしょう。
- (3) たいていのオンライン郵趣例会では、取り扱い収集内容に緩やかな範囲を示しています。そのラインは逸脱しない様にしましょう。

郵趣振興協会では上記に該当するオンライン郵趣例会については、ネット上で共有できる Google カレンダーに開催予定を掲載するなど宣伝に協力しています。

また、主催者の連絡先メールアドレスを知らない方向けに、協会代表メール宛てのご連絡 (info@kitte.com) で、各例会への招待状をお送りするサービスも提供しています。

# APS(アメリカ郵趣協会)のバーチャルスタンプショー

和田 文明

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、アメリカでも予定されていた多くの切手展や各種郵趣セミナーの開催が中止に追い込まれている。アメリカ最大の郵趣団体である American Philatelic Society(アメリカ郵趣協会以下“APS”)(図1)が毎年8月に開催している全米切手展の Stamp Show 2020 も5月に中止を決定した。今年の Stamp Show は、6年前の2014年の開催地と同様、ニューヨークから列車で2時間足らずのコネチカット州の州都ハートフォードのコンベンションセンター(写真1)での開催が予定されていた。筆者がアメリカの国際切手展 NY2016 の開催2年前に、初めて全米切手展の Stamp Show 2014 に2作品の出品を含め、参観した思い出の地である。



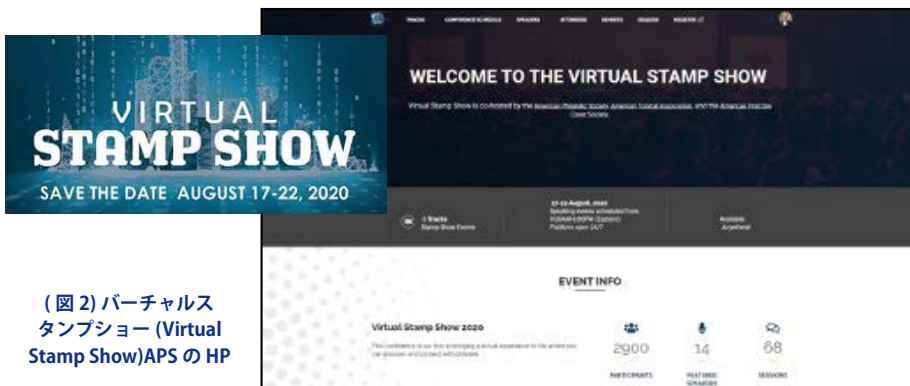
(図1) American Philatelic Society(アメリカ郵趣協会)

世界で最も新型コロナウイルスが蔓延しているアメリカでは、全米展の Stamp Show をはじめ多くのローカル展などのイベントが中止を余儀なくされている。そうした中、Stamp Show を主催している American Philatelic Society(アメリカ郵趣協会以下“APS”)は、American Topical Association(アメリカトピカル協会、以下“ATA”)、および American First Day Cover Society(アメリカ初日カバー郵趣会)の3団体共催で、オンラインイベントのバーチャルスタンプショー(Virtual Stamp Show)の開催を決定した。これら3団体の会員以外でもバーチャルスタンプショーへの参観・参加が可能である。バーチャルスタンプショーは、8月17日月曜日(アメリカ東部時間午前9時)に始まり、2020年8月22日土曜日(同午後6時)までオンライン上で開催された。



(写真1) Stamp Show 2014 が開催され、今年の Stamp Show 2020 の開催が予定されていたコネチカット州の州都ハートフォードのコンベンションセンター

図2は、バーチャルスタンプショー(Virtual Stamp Show)のHPである。リアルな全米切手展のスタンプショーと同様、会期中コレクションの展示の他、オンラインマーケットの切手商(スタンプディーラー)による切手などの販売、各種郵趣セミナーも同時に開催された。筆者も10フレームのコレクションを出品することにした。2016年5月に開催された NY2016 展、2018年9月に開催されたマカオアジア展以来の久しぶりの切手展への“出品”と“参観”となった。



(図2) バーチャルスタンプショー(Virtual Stamp Show)APSのHP

## バーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show)

インターネットを介したバーチャル（仮想）の切手展であるバーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show) は、リアルな切手展と同様、競争コレクション展示、コレクション表彰、スタンプディラーによる切手やカバーなどの販売が行われる他、合わせて 70 もの各種セミナーやセッションなどが催された。

バーチャルスタンプショーの出品カテゴリには、表 1 のように過去のスタンプショーや国際切手展への出品経験者を対象としている“トラディショナル部門”の他、“イノベティブ部門”として新しい出品者からの出品も歓迎している。

出品部門	対象者	制限
トラディショナル部門	以前に全米展、WSP の切手展、またはそれ以上のレベルの切手展への出品実績がある者	最大 160 ページまたは 10 展示フレーム
イノベティブ部門	新しい出品者	最大 16 ページまたは 1 つの展示フレーム

コレクションの出品枠は、1 フレーム以上最大 10 フレーム (160 ページ) までで、出品料は何れも無料である。

(表 1) バーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show) の出品部門

こうしたバーチャルスタンプショーの全ての出品作には、フィードバックを共有する機会が提供されている。“オンラインショーケース”でのプレゼンテーションに参加し、初めての出展者はベテランの切手収集家からのヒントを得ることができ、経験豊富な出展者は、新しいユニークなアプローチを試すことができるとしている。なお、出品者は、展示作品に関し、所有者であることを証明し、APS の stamps.org に展示を投稿する許可を与えなければならない。

バーチャルスタンプショーへの出品作品は、デジタルファイルにつき次の要件・形式を満たす必要がある。

- ・最小要件：ページは 300dpi の .JPEG ファイルでスキャン
- ・スキャンを .TIFF または .PNG で送信
- ・各ページにキャプションを付けることができる (必須ではない)
- ・画像のファイル名は次の形式で保存  
Exhibit Name-Image #、全ての画像、展示タイトル、キャプション
- ・送信方法

メールに添付してファイルを一括して送信するか、Google Drive、Dropbox、WeTransfer などのクラウドサービスでファイルを一括して送信 (ファイル共有) することになる。筆者は、Google Drive でファイル (ファイル共有) 送信を行った。

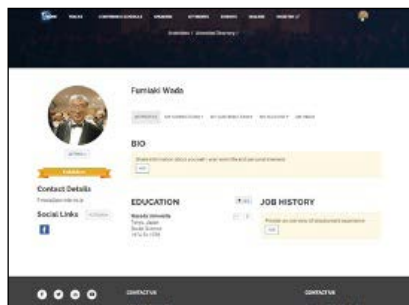
## バーチャルスタンプショーへの事前登録とアカウントの設定

リアルで開催されている Stamp Show の参観料は無料であるが、事前登録を含め、入場者全員の登録が求められる。バーチャルスタンプショーでも同様に無料で事前の登録を 7 月よりオンラインで受け付けている。オフィシャルページによると、バーチャルスタンプショーの登録者は、8 月 19 日現在で 3,100 人を超えている。事前登録項目は、氏名、メールアドレス、APS,ATA,AFDCS の会員資格の有無などである。

登録ユーザーは、メールで送信された指示に従い、バーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show) の HP を通じてパスワードの設定、プロフィールの書き込みの他、参加する講演やセッション、ディラーミーティングなどナビゲーションの 6 つのトラックから参加する予定のトラックを選び、

自分のマイアカウントを予め設定することができる。なお、アカウントのプロフィールには、Facebook、Twitterなどのソーシャルメディアアカウントをリンクさせることができる。筆者は、APS ソーシャル、APS トークなどのナビゲーショントラックを設定し、アカウントのプロフィールに自分の Facebook のソーシャルメディアアカウントをリンクさせた。

また、David Beech 氏の『Philatelic Research and the British Library』（フィラテリック研究と大英図書館）など、いくつかのオンラインセミナーへの参加登録もマイアカウントを通じ、事前に行った。図 3 は、筆者の Exhibitor(出品者)のリボンが付されているバーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show) のマイアカウントで、会期前からアカウントにいくつものメールが送られてきた。

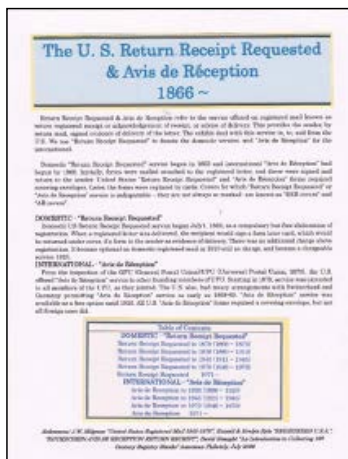


(図 3) バーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show) の筆者のマイアカウント

## バーチャルスタンプショー (Virtual Stamp Show) への出品

今回トラディショナルクラスは最大 10 フレーム枠が得られるので、筆者は、トラディショナル部門に 2017 年のバンドン展や 2018 年のタイ展で大金銀賞を受賞したアメリカの配達通知に関する『The U.S. Return Receipt Requested & Avis de Reception 1866 ~ 1945』5 フレームの作品をベースに、10 フレームに拡大し、コレクションの対象期間を“1945 年まで”から“現在”までに広げた。タイトルは、『The U.S. Return Receipt Requested & Avis de Reception 1866 ~』(図 4)に改めた。

これまで JAPAX や全日展で、5 フレームベースのアメリカ国内の配達通知の『The U.S. Return Receipt Requested 1866 ~ 2010』や、5 フレームベースのアメリカの国際の配達通知の『The U.S. Avis de Reception 1866 ~ 2010』を出品し、合わせて 10 フレーム相当のコレクションをすでに 5 年前には作成していたので、5 フレームから 10 フレームへの拡大は難しくはなかった。



(図 4) 『The U.S. Return Receipt Requested & Avis de Reception 1866 ~』のタイトルリーフ

10 フレーム、160 リーフにも及ぶ大容量のファイルデーターをクラウドサービスである“Google Drive”で、APS のバーチャルスタンプショーの編集スタッフとファイル共有することにより、10 フレーム 160 リーフの大量のファイルデーターを送信することができた。筆者は、15 年以上前からクラウドサービスの“Evernote”を利用していたが、残念ながら今回のバーチャルスタンプショーでは“Evernote”によるファイル共有はできなかった。“Google Drive”によるファイル共有は初めての経験であり、オンラインの手引きと格闘しながら、無事ファイルの共有を行うことができた。

なお、本コレクションは、国際展ではアジア展の香港 2015 で大金銀賞を得ているものの、FIP の国際展である 2017 年の開催のインドネシアのバンドン展や 2018 年の開催のタイ展では金銀賞に止まっており、出品フレーム数は 5 フレームの制限を受けている。

## バーチャルスタンプショーの参観

8月17日(アメリカ東部時間午前9時、日本時間17日午後10時)にオープンしたバーチャルスタンプショーには、76人の出品者による112作品(3,250ページ)がオンライン展示されていた。複数作品の出品も認められていて、12人が2作品以上の出品を行っていて、一人で5作品を出品しているコレクターも2名いた。シングルフレーム(ワンフレーム)作品が76作品、マルチフレーム作品が36作品である。

シングルフレーム(ワンフレーム)作品は、トピカル(テーマチック)、初日カバー、トラディショナル、郵便史、ステーションナリー、印紙、絵葉書など多義にわたっていた。リアルな切手展と同様に、大型リーフによる、1フレーム8リーフや12リーフの展示も可能である。有名な宙返り24センチ航空切手のシングルフレームコレクション『The Inverted Jenny』は、筆者に大きなインパクトを与えてくれた。

マルチフレーム作品は、トピカル(テーマチック)の他、アメリカの他、カナダ、スイス、ドイツ、オランダ、ポーランド、ルクセンブルクなどの国のトラディショナルや郵便史、マルコフィリー、印紙、オープクラスなどの秀作が出品されていた。その中で、カナダで1954年から発行が始まったエリザベス女王切手の128リーフに及ぶ専門コレクション『The Canadian Low Value Wilding Queens』や、80リーフの自動車のオープクラスのコレクションである『Automobile』が印象に残った。なお、マルチフレーム作品で上限の10フレームに挑戦していたのは、筆者のみであった。

また日本人出品者は筆者の他に1名で、朝鮮関連のコレクション『Japanese Offices in Korea』を出品されていた。この他にも日本の印紙のシングルフレームコレクションが展示されていた。

バーチャルスタンプショーのホームページにログインすると、リアルな切手展と同様に110のコレクションを1ページ毎に丹念に見ることができる他、セミナーやセッションに参加することができ、バーチャルスタンプショーに協賛している60ものディーラーのHPやe-Bayのストアページへリンクすることができる。

バーチャルスタンプショーの展示(Exhibits)をクリックすると、シングルフレーム(ワンフレーム)、マルチフレーム別に112作品の題目と出品者名の一覧(作品名のアルファベット順)と112作品のタイトルリーフがアップされている。順番に展示作品を覗いていくことができるし、一覧の中からお目当ての作品を選んで、クリックすると当該作品のタイトルページへリンクする仕組みで、それぞれの作品は1ページ毎に覗いていくことができる。

また、当該作品の「フルスクリーン(Fullscreen)」をクリックすると、高画質のページが表示され、細部を拡大して観ることもできる。バーチャルスタンプショーの展示(Exhibits)は大変見やすかったものの、“スタンプベディアエキシビション”のようにフレーム単位でコレクションを俯瞰できる仕組みがなかったのは残念である。

今回のバーチャルスタンプショーでも、リアルな国際切手展の参観の時のように、まずは自分の作品のバーチャル展示を確認した。無事160リーフを観ることができた。リアルな切手展の参観では、ものの1時間ほどで足腰が痛くなり、休み休みの参観となるが、バーチャルの切手展は展示フレーム間の移動を含め楽である。但し、セミナーやセッションへの参加はリアルな切手展と同様、それぞれ開催時間が予め決められており、アメリカ東部時間で設定されたそれぞれの開催スケジュールに合わせる必要があり、多くは日本時間では深夜となる。

登録済みのバーチャルスタンプショーの参観者は、シングルフレーム76作品とマルチフレーム36作品に対して、「お気に入りのコレクション(Favorite Exhibit)」「最も魅力的なコレクション(Most Attractive Exhibit)」「最もお手本となるコレクション(Most Educational Exhibit)」「最も

持っていたいコレクション (Exhibit I'd Most like to Own)」「最もユニークなコレクション (Most Unique)」といったそれぞれ 5 つのカテゴリ毎にお気に入りの展示作品に人気投票することができます。また、全 112 展示作品の中からベストコレクションとして、「お気に入りのコレクション (Favorite Overall Exhibit)」を選ぶことができます。それぞれ最も人気投票数の多いコレクションに対して、賞が贈られる。

## バーチャルスタンプショーのセミナー

リアルなスタンプショーでも会期中およそ 70 もの“郵趣”に関するセミナーやワークショップ (研究集会) が開催されたが、今回のバーチャルスタンプショーでは、表 2 のとおり元 Royal Philatelic Society (London) の会長である David Beech 氏の『Philatelic Research and the British Library』(フィラテリック研究と大英図書館) など、“郵趣”に関する 15 ものオンラインセミナーが行われた。

講演者	テーマ
David Beech	Philatelic Research and the British Library フィラテリック研究と大英図書館
Charles Oppenheim	Copyright and Philately 著作権と郵趣
Chris King	Moving House – A New Home for the Royal Philatelic Society London ムービングハウス – ロンドン王立郵趣協会の新しい家
Alan Dunne	Christmas Stamp Design Process クリスマス切手デザインプロセス
Lisa Foster	Women in Philately 郵趣と女性
Cheryl Ganz	Hometown Collecting: People and Places via Postcards and Postmarks ホームタウンと収集：はがきや消印を通じた人と場所
Robert G. Rose	United States Mails: Its First 80 Years Without Stamps 米国郵便：スタンプレスの最初の 80 年
James Gates	Baseball and Stamp Collecting 野球と切手収集
Warachal Faison	ESPER(Ebony Society for Philatelic Events and Reflections): The Art of Philatelic Inclusivity ESPER：郵趣と芸術
Nirly Kundu	Cachet Making 記念スタンプ作り
Richard Morel	Women Stamp Designers and Engravers 女性切手デザイナーと切手彫刻師
Mary Love	African American Suffragists and the Vote アフリカ系アメリカ人の婦人参政権と投票
Frank Walton	The Global Philatelic Library Project グローバル・フィラテリック・ライブラリー・プロジェクト
Nancy Stahl	Postage Stamp Illustration 郵便切手のイラスト
Frederick Lawrence	Facsimiles and Forgeries of the 1920 Siam 'Scout's Fund' Overprints 1920 年タイの「スカウト基金」のオーバープリントの偽造品

## バーチャル・ファーストデイ・セレモニー

バーチャルスタンプショーの会期中、『イノベーション』(Innovation)5種セット(図6)(8月20日東部時間PM2時)と『Thank You』(感謝の気持ちを表す手紙用の切手)4種セット(図7)(8月21日東部時間PM2時)の2つの切手のバーチャル・ファーストデイ・セレモニーがAPSやAmerican First Day Cover Society(アメリカ初日カバー郵趣会)、American Topical Association(アメリカトピカル協会)、USPS(アメリカ郵政サービス)との共催で行われた。



(図6)イノベーション(Innovation)記念切手(5種)USPSのHPページより

アメリカでは新しい切手の発行都度こうしたファーストデイセレモニーが開催され、APSのStamp Showなど大規模な切手展に合わせて開催されることも多い。

筆者が参加した2014年のスタンプショウや2016年のニューヨークで開催された国際切手展でも会期中に複数のファーストデイセレモニーが開催されていた。

筆者が初めて参加した2014年のスタンプショウのファーストデイセレモニーは、30分ほどのセレモニーで、参加者にはパンフレットや記念カバーなどが配布され、州兵が国旗や州旗、USPS(アメリカ郵政サービス)旗などをもって入場し、新切手発行に関して関係者のお祝いのスピーチが行われていた。



(図7)Thank You(感謝)記念切手(4種)USPS HPより

今回のバーチャルスタンプショウでは、『イノベーション』(Innovation)のファーストデイセレモニーは、バーチャルスタンプショウの協賛団体であるAmerican First Day Cover Society(アメリカ初日カバー郵趣会)が主催し、USPSとアイオワ州立大学が制作したアメリカン・イノベーションに関するビデオが上映され、アイオワ州立大学学長のウェンディ・ウィンタースティーン博士による、新技術開発におけるアメリカの大学の役割などに関する公演が行われた他、USPSマーケティング担当者によるUSPSの過去、現在、未来におけるイノベーションの歴史について講演が行われた。一方、『Thank You』(感謝の気持ちを表す手紙用の切手)のファーストデイセレモニーは、同じくバーチャルスタンプショウの協賛団体であるAmerican Topical Association(アメリカトピカル協会)が主催して行われた。



(写真2)国際切手展NY2016で開催された国立公園切手のファーストデイセレモニー

## バーチャルディーラーブース

リアルスタンプショーの会場では全米から多くのディーラー（切手商）がブースを並べ、切手やカバー、郵便文献、郵便用品などを販売している。今回のバーチャルスタンプショーでも、国内外のディーラーとバイヤー間のライブインタラクティブセッションやビジネスについて話し合うインスタントメッセージングなど、バイヤーと対面でビジネスを行う機会が提供されている。

今回のバーチャルスタンプショーでは、表3のように三つのオプションパッケージがディーラーに提供された。プレミアムパッケージ、プラチナパッケージのディーラーには、オークションハウスなどそれぞれ2社が参加し、参加料金（出展料）が無料のスタンダードパッケージのディーラーにはおよそ60ものディーラーが参加していた。

プラチナパッケージのディーラーは何れもイギリスのディーラーであった。プレミアムパッケージディーラーのKurt A. Sanftleben社は、会期中スタンプレスカバーなどのアメリカ郵便史関連の無償の販売カタログ（150ページ立て）をPDFでオンラインを通じて提供していた。

オプション	参加料金	メリット
スタンダード パッケージ	無料	ロゴ（250px × 150px）付きのオンラインディーラーリスト、およびeBay、Hip Stamp、APS Stamp Storeなどの使用するオンライン販売プラットフォームへのリンクが可能。   バーチャルスタンプショープラットフォーム内のインスタントメッセージングで、1対1のビジネスを行うことができる。   このオプションは、APS、ATA、またはAFDCSのメンバーであるディーラーが参加することができる。
プレミアム パッケージ	250ドル （約25,000円）	スタンダードパッケージのメリットに加え、ディーラーとバイヤー間のライブスケジュールセッションで、売り上げの獲得、ウォントリストの取得、質問への回答などを行うことができる。   セミナーのスポンサーとしてのリスト掲載がされる他、セミナーの前に表示される1分間のグラフィック広告を提供することができる。
プラチナ パッケージ	500ドル （約50,000円）	スタンダードおよびプレミアムパッケージの全てのメリットに加えて、セミナーの前にディーラーのビジネスを宣伝するため事前に録画された3分のビデオプロモーションを流すことができる。

（表3）ディーラーパッケージ  
APSのHPより作成

# ジャパNSTAMPオークションニアレポート

鯛 道治

2020年7月22日締め切りの209-210回メールセールのレポートです。いつものフロア・メールの二本立てでなく、COVID-19の影響でメールのみにになりました。フロアなら、というタラレバ話は無意味です。ビッドをされる面子は完全に共通なので、フロアだからという理由で高くなるのはほんの数点に過ぎないのです。

ロット数が少し少なめの4501点、ビッド数は600人弱で、落札点数が2900点、落札率は64.44%、ハンマープライス（手数料除く）が36,717,650円でした。編集の締め切りの段階で、コロナで動けずその分のマイナスがそのまま出たのですが、ビッド数もハンマープライスも落ち着くところに落ち着いたと思います。

メールセールでも書けるネタは満載です。今回は高くなったマテリアルでなく、今までに書いて来なかった切り口で、オークションでの値段のメカニズムを、幾つかのパターンで取り上げて書いてみたいと思います。最初に結論を決めて、それに合致するネタを選んだので、高額品や人気品でなく、ちょっとズレたラインアップになりました。お話の展開で書く順番を決めたので、セールでのロット番号の並びとは全く合致しないのです。ストーリーを筋立てているので、このパターンの方が筆の運びが進みます。

**Lot394 米10C ワシントン貼横浜宛開港地間便 三重丸消+ (NAGASAKI) 1870年6月3日の書き込み**

最低値 100,000 応札0 不落札



いろんな意味で、オークションアとしては外人さんとの付き合いには疲れます。日本人の10倍以上はストレスを感じるのです。相手は兎も角自己主張が強いのです。目一杯の要求をして来ます。阿吽の呼吸とかニュアンスで判ってよ、とかいう日本人同士での意思疎通のテクニックは通用しないのです。だからダメな場合は躊躇なくぶった切るのです。厳しく返事して、それが嫌で他所へ行ってくれば清々して万々歳なのです。残念なのですが、当然のことながら、私が嫌がる要求を誰もそのまま飲む訳は有りません。必ずグルッと回って必ずこちらに戻ってくるのです。他のオークションハウスでなら絶対に面倒を見切れない出品者のお話です。

一例は Advanced Payment です。出品物を送って来て、幾許かの前金の要求です。気分が悪さを除けば、経済的にはノーリスクのビジネスなので、条件次第では受けています。細かいディールは面倒なので、せめて最低 5000 ドル、上限はありません。何時の間にかパターンが定まります。最低値は一切一任で文句は無し、希望も聞かない、記事も値段も訂正無し、評価の 8 割位を前払い、不落札品は再出品です。先方はリザヤ狙いのブローカー、ゼロから仕入れを起こしての鞆抜きをサイドビジネスでやっている自称事務弁護士さんです。

日本語も読めますし、専門カタログも使えます。得手不得手があるので、エンタの評価はできません。取扱品目は手彫〜旧小判の未使用がメインで、制定・100 円加刷・ハワイ広幅辺りまで手を広げています。足で稼ぐのではなく、昔はペーパーのオークション、今は E-Bay が狩場です。

知識に長けているわけが無いのですが人の見落としを狙って、積極的な行動力で売り物を手に入れています。これらの物ならば、売る立場としてこちらにはリスクはありません。先方が思惑通りに儲かるかどうかは知りませんが、スタンスとしては最初は売り損ねても、最低値さえ切り下げればいずれは必ず売れるのです。

でも、身の程知らずの物にちょっかいを出されると困るのです。去年だったと思います。興奮しきったメールが来たのです。「墨六チ」の未使用が E-Bay に出ている、出品者は価値を知らないのでセールから取り下げさせてプライベートで買う、交渉の為の飛行機を予約した、買えばいつも通りにお前に送るので、一刻も早く前金を寄越せです。画像を送って来たので評価はできるのです。標準の状態でした。

墨六のレア・シラビックの場合、需要と供給がはっきりしていて、割とディールは簡単です。私の経験でもここ 10 年でトータル 10 枚位は扱っています。掘出し・プライベート・オークションへの出品を含めて、綺麗に売り切れていると思います。弊社のお客で墨六での未使用のカナ違いを目指している人が 2 人いて、抜けている仮名は確実に買ってくれました。ヌ・ルと多分トがまだ売れると思いますが、このお二人を除けばターゲットが限られます。

鑑定書付で綺麗なら、結果としてまだ何とかなるのでしょうか。カタログ値では、チ・リが高いのですが、この 2 つは墨点が無いのがその理由です。墨点で代用できないので未使用を買うだろうというのは、Dr.S.Ichida 氏の考えだったのでしょうが、最早全く通りません。時代が違いますから。そしてここ暫くの新発見品は圧倒的にチが多いのです。「見つかった！又『チ』かよ」状態です。墨点削りの心配がないのが有難いのですが、チは最も売りにくい仮名なのです。

欲ボケのアメリカ人の期待値はカタログ値が 500 万なので、前金で 100 万円、しかも同額を買取り保証付きにせよ位の思惑だったかと思います。私が飛び込むと思ったのかも知れませんが、このアイテムに特別の思い入れはありません。私の返事は「一般の出品物としてなら 100 万でも 150 万でも受け付ける、但しディールのギャランティーはしないし、売れる自信が無いので前金も払わない」でした。最低値一任で預かったなら、多分 130 万で出すでしょう。そして売れる可能性は 70% でしょうが、残った後の処理がリスクです。一発勝負で勝たないと駄目なのです。この時は相手も諦めたのです。

この現物かどうかは確認していませんが、その後すぐにヤフーに 6 銭チの未使用が出ていました。結構いい値段で売れたと聞きました。達者な日本人が早期終了でなく、まともに落として転売成功したのかな。ビジネスは自己責任でやるべきで、リスクを人に背負わせて自分はリターンだけを頂くのは、余りにも甘え過ぎなのです。問い合わせが来れば、待たなして返事せねばなりません。1 日放っておけば矢の催促です。先方は必死ですが、こちらは気は乗らない、このやり取りをノータイムで英語でやるのは疲れます。彼が妄信しているカタログ値は相対評価の希少性を示す数字な

ので、取引の結果にはストレートにリンクはしないのです。特にオークションでは、今、誰が買うかを読み切らないといけません。情報量と洞察力が必須です。

今回のアメリカ局 NAGASAKI のエンタもそうなのです。身の程知らずさんが惚れて飛び込んだのでしょうか。確かにカタログ評価では 300 万です。でもディールではこの数字は参考にならないし、ご覧の消印の薄さなので、売買の対象にもならないのです。送られて来た画像を見ての私の評価は、『売れないから買うな、オークションに出品して来ても 10 万円の最低値しか付けない』でした。

この値段に異存が無ければ出品自体は受け付けます。切手の傷は気にならないし、開港地間便はプラスだと思うので、売れるかなと思ったのですが駄目でした。

先方とすれば他に売る手段が無いので 10 万円の最低値を渋々承しての出品、想像ですが、私に聞く前に見込みで買ってしまったのでしょうか。ご丁寧に PF の鑑定を取り直しまでしていたのです。このエンタには私は前金を払っていないので、再出品せずに返します。諦めて E-BAY に出すのかな。



同じパターンだったのが、Lot395 の旧小判 15 銭他貼の 3 倍重量便 東京ボタ消エンタです。貼り合わせからして使いにくいし、シミが強い。売主と買い手とオークションアの評価に大きい齟齬が生じるのです。私は売れない＝買い手の顔が見えない、の評価をして最低値を 10 万円に付けました。売主は数倍を期待していたでしょうが、結果はご応札 1 なので、10 万円で落札、競る相手がもう一人居たら結構いい値段になったかも知れませんが、お一人しかいないのです。誰も居なければ、これすらも機械的に返品になったのです。アメリカ局 NAGASAKI と旧小判 15 銭、物の外面は立派ですが、マーケットの評価は甘くありません。思い込みでちょっかいを出すって怪我をするのです。

私からのアドバイスですが、どういう物をオークションアが評価をするのかのメッセージを出しています。単片は表紙を、エンタは裏表紙の数ページを見て欲しいのです。単なる値段の多寡でなく、希少性と状態と人気を込みにして、売れるだろうという基準で選んでいるのです。結構当たっていることが多いはず。そしてオークションを使っての転売ビジネスの場合、入口＝仕入れと同時に出口＝売却を的確に押さえないとはいけません。人の頭を撥ねて咬すっからく買うことに長じていても、オークションで売るのは人任せになるのです。私もアドバイスや協力はしますが、手品を使って騙して売ることは出来ません。あくまでマーケットの需要を読まないといけません。彼の場合は、並の日本人よりは知識が有って、行動力にも長けているのですが、日本切手を転売して、利益を得るといのは簡単ではありません。制定や 100 円加刷は掘出しは無理なので安くは買えないし、弊社での落札値が特段高いとは思いません。手数料だけでもきついハンデでしょう。私なら絶対にやりません。

でも彼とのビジネスは 10 年以上は続いているので、トータルで OK なのでしょう。或は単に売り買いが好きなかでも知れませんが、アメリカ人にも愛すべき、困ったちゃんがいるのですが、まともに対応するのは強烈なストレスです。相手の思惑をかわして、付かず離れずの付き合い方、私以外では誰もやれない芸当でしょう。

Lot1686 ベルギー 5C (Sc.26b) 貼帯封仏宛 切手はベルギーで抹消? 余白に◎ CONSULAT DE BELGIQUE YEDO (JAPON)

最低値 30,000 応札 4 落札値 270,000

型録には出ていないし解釈が難しいカバーですが、良い結果になりました。

些事から入ります。CONSULAT DE BELGIQUE YEDO ですが、公使館か領事館か定義に基づく正式な区別は判りません。全権公使がおられれば公使館、そうでなければ領事館なのでしょうか。

兎も角、それが 1870 年に開設され所在地が品川だったのは確かです。貼付切手はベルギー



Tailor-made, single piece, in the... (text partially obscured)

inférieure n'est pas vendable. Quand à la qualité supérieure (double chaîne et double trame) elle obtient 30 p. c. de plus que la qualité courante. Long. 12 yards (11*04 cent.) largeur 42 pouces (1*07 cent.). En caisses de 100 pièces.

Calicots blancs, 35,000 pièces. Long. 38 1/2 à 39 yards, larg. 42 inches. En caisses de 50 pièces.

Calicots imprimés, Long. 34 yards, larg. 39 3/4 inches. En caisses contenant chacune 50 pièces assorties.

Calicots rouges d'Andrinople, 110,000 pièces. Le rouge doit être beau et vif et non foncé, la tissu de qualité moyenne et avoir du corps. Long. 34 yards (22 mètres) larg. 39 3/4 inches (9 7/8 * 79 cent.). En caisses de 50 pièces.

Indiennes, 120,000 pièces dans tous les dessins obtiennent de bons prix. Long. 24 yards, larg. 29, 31, 36 et 42 inches. Petites fleurs, bouquets isolés et fleurs en □ trouvent toujours à se placer.

Brocades, 58 000 pièces. Long. 40 yards, larg. 36 inches. En caisses en fer blanc contenant 50 pièces. Couleurs préférées: bleu, noir, lilas, rouge clair, rose.

T. Cloths, 45 à 50,000 pièces. White et dyed spots, 12,000 pièces; Cambrics, Damas, etc. 100,000 pièces.

Drills, 12 000 pièces. Long 22m. 1/2 cent. de larg. En caisses de 50 pièces.

Shirtings bleus, unis servant de doublure, Long. 40 yards, 36 inches. En balles ou caisses de 50 pièces.

Monchoirs blancs, 8000 douzaines. Dit imprimés 30,000 douzaines.

Velours de coton, noir uni Longueurs diverses, généralement 32 m. 1/2 centim. de larg. Une étiquette avec l'inscription "SILK FINISH" se trouve sur chaque pièce. En caisses à 24 pièces. Vente facile et lucrative.

Coton filé, 4 à 5 millions de kilog. par an. Les qualités dites Waterwilt sont les plus courantes et notamment les catégories n° 16 à 24, ne 28 à 32 et n° 38 à 42. Chaque balle (s. 40 paquets à 10 liv. angl.) ne doit contenir qu'un seul numéro.

**Métaux**

Ploimb, 3 à 4 millions de kilog. par an. Le prix moyen pour les plombs en saumons est de 8 doll. par pical (60 kilog.) soit fr. 70,45 les 100 kilog. en rade de Yedo ou fr. 53,49 par 100 kilog. prix de revient en Europe.

Per brut, fer forgé et cloutier, 6 millions de kilog. Prix très avantageux pour xms à clous (sauf iron). Pointes de Paris en barils de 3 picals (120 Kilog.) 50 p. c. des barils en paquets d'un mille N° 6 à 15, -50 p. c. en paquets d'un mille N° 16 à 24, se vendent très bien.

Acier. 3 à 300,000 kilg. Fer blanc 15000 caisses. Zinc 600,000 kilog.

**Armes**

Importation, 8 millions de francs surtout carabines anglaises (Henry, long & short enfield) Chassepots, fusils, à aiguille, Carabines suisses et américaines, etc.

Verres à vitres.	1/2 des caisses à	24 feuilles de	37 inches	+ 30 inches.
1/2	35	30	24	24
1/2	45	25	20	20
1/2	65	25	17 1/2	17 1/2
1/2	75	20	15	15
1/2	80	18	15	15
1/2	103	16	12 1/2	12 1/2

Emballage double (saveloppe) pour préserver la marchandise contre la casse.

の 5C、1866 年発行です。カバーの雰囲気からして印刷物の帯封だと思います。青緑◎ YEDO JAPON なので、品川の件の館の何方かが出した郵便物なのでしょう。宛先はフランスなので、ベルギー切手は日本から欧州宛の郵便料金ではありません。日本郵政の国際郵便取扱以前でしょうか、本来ならばフランス横浜局ルートを使うのが自然かと思います。

消去法で考えて、日本からベルギーへは切手不貼付の幸便で運ばれて、彼の地でフランス宛の印刷物料金の 5C 切手を貼ってベルギー郵政管轄下で差し出されたと見るのが自然かと思います。抹消印は読み切れないのですが、PD 印と色が同じだと見えるのです。

YEDO JAPON の表示だからと言っても明治以前とは限りません。明治維新後でも YEDO 表示はあるでしょう。帯封の裏の印刷文字を探っても年号は判然と致しません。何らかの手がかりを手繰って、差し出し年と料金がきっちり解明できたなら、大珍品の位置に着くかも知れません。江戸時代のフランス宛の帯封、幸便でのベルギー経由、夢にも思っていなかった使用例かと思います。色んなポイントで最初期と書けるでしょう。でもこのカバーに結構な値段で飛び込んだ方たちが、どういう評価をされたのかは全く聞けていないのです。同種のカバーの出現を駄目元の気持ちで待ちましようか。

## フィラテリスト 号外発行のお知らせ

# 競争展示参観ガイド

JAPEX2020 の開催に伴い、『競争展示参観ガイド』を号外として 11 月 4 日に発行します。

### JAPEX2020 へ出品予定のフィラテリストの皆さまへ

「競争展示参観ガイド」のメインコンテンツは、競争展出品者による「私の作品の注目ポイント」です。紙幅に制限のある出品目録では語り尽くせない、展示作品を見るにあたり必要な事前知識の紹介や、作品の解説、そして展示マテリアルの紹介など、本音をどうぞお寄せください。

#### お送り頂きたいもの

- (1) テキスト：作品参観に役立つならば内容は自由です。ページ数は 1 ページから 10 ページの間でお受けいただけますが、号外の予定ページ数が 160 ページ以下ですので、ご寄稿の一部を掲載するか全部を掲載するかは、編集部の判断で決定します。手書き原稿も歓迎いたします。
- (2) 画像：リーフもしくは郵趣マテリアルの画像をお送りください。カラーコピーの郵送、もしくは 200 dpi のスキャナーやスマホカメラで撮影した写真を添付ファイルとしてメール送付して下さい。

#### お切りと送付先

郵便：2020/10/26 到着分まで 102-0083 海事ビル内郵便局留置 スタンペディア

メール：2020/11/1 正午 到着分まで。tpm@stampedia.net

※ご郵送頂いた原稿、カラーコピーほか資料は返却しません。また、短期間で編集を行う都合上、校正のやり取りをご寄稿者と行いません。この点をご了解の上、ご参加ください。

Lot1906 U小判2銭P13貼 KG美濃白鳥

最低値 3,000 応札 3 落札値 11,500

このロットの値段自体には何の意味も無いのです。綺麗だったので思ったより高かったかな程度でしょうか。

トピックは2番札の人がこれにビッドをした理由のインパクトが強烈なのです。何でこんなものにビッドしたか、瞬時には判りませんでした。比較的最近のオークションでの会員さんです。少し前まではお名前前に全く印象が無かったのですが、突然100万超のビッドが来たのです。何回か前のセールの日韓コンビネーションカバーでした。旧韓国の鷹（正確には驚だそうです）と記念切手の日韓合同との貼り合わせの珍品でしたが、記念切手のトップコレクターに負けました。この時にはこの結果以外には何の印象も無かったのです。

去年から手彫のビッグコレクターの遺品を売り立て中です。オークションがメインですが少し即売もやりました。この人が、エンタを3本買ってくれたのです。鳥12銭貼、15銭貼、45銭貼です。

オークションで印象が薄かったのは、今まではご希望の物が無かったからかなのです。ここまで来れば、疑問は氷解、日本切手でなく【鳥切手】のコレクターなのです。日韓コンビも鷹だからご希望です。今回のU小2銭のエンタも、消印が美濃白鳥（みの・しらとり）だからのビッドです。越後燕や上総鶴舞も入れてくれるかも知れません。要注目です。

終わったばかりの日本フィラテリックセンターのオークションに、鳥の45銭のカバーが出ていました。ハンマープライスは310万円、U小判5銭貼の東京ボタです。ボタのコレクターが場で負けてのメールに落札なので、推測ですが、かの鳥の人が買ったと見ています。弊社のエンタ以外にも更にもう1通が比較的最近動いたと聞きました。45銭貼が3通まとめて1箇所に入ったのかな。



鳥切手のコレクターで昔話を思い出しました。1999年12月4日のスイス・コリンフィラでの、Henry Moser 氏の JAPAN の売り立てです。もう20年経ったのです。私も場に出ていたのですが、あの時のオークションは今は時めく、ジェフリー・シュナイダーだったのです。クリスティー（元 Robson Lowe）にいて、コリンフィラに移り、Zurich Asia を創り、今は恐らく売上世界一の Inter Asia Auction のオーナーです。

セールの前に彼が私に話しかけて来たのです。表紙に載せた、鳥の45銭のカバーについてです。超ご機嫌でした。このセールのディスクライブは手彫のパートは、アンドレ・ローラン氏がやり、小判以降は天野安治さんでした。記事もしっかりしているし、エスティメイトもリーズナブル、何のストレスも感じませんでした。余計な戯れ言ですが、アイホン君か、或は私のディスクライブなら雰囲気さがらりと変わったかも知れません・・・。

鳥45銭のカバーはエクステンションになったような気もしますが、物自体は問題は無いと思います。1999年はスイスフランが歴史的に安かったのです。TTSで@70円位だったかも知れません。このカバーの参考値は4万フラン、手数料を入れると320万円位かと思います。この値段では日本人はビッドしないのです。仮に入れても参考値でギリギリでしょう。でも、場で猛烈に競りました。ジェフリーが持っているメールの札と、テレフォンビッドがバトルしたのです。

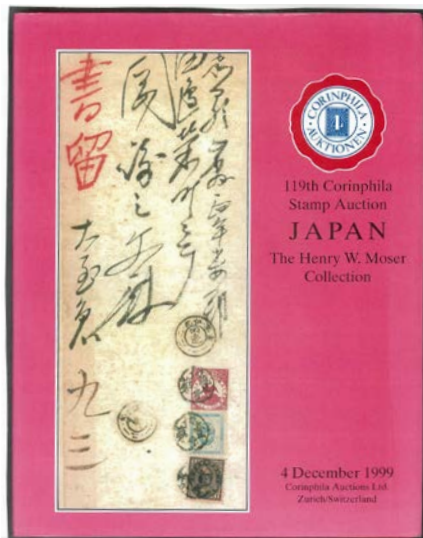
7万か8万フランにはなったと思います。いやそれ以上かも知れません。セールを終えて一息ついた後ですが、場で黙弁していたら、どこかしらから声が聞こえて来たのです。「ブー・フー・ウー」、勿論三匹の子豚でなく、【ウー・ウー・ウー】＝テレフォンビッドで落としたのが、香港出身の、【Dr. Arthur Woo】著名な鳥切手のビッグコレクターだと騒めくのです。

後になって、サンフィラUSAの由紀（金子）長谷川さんに聞いたら、人となりをしっかり教えてくれました。あんた知らないの、うちでは鳥を一杯買ってきてくれるわよ、でした。因みに最近判った情報では、Western Australia の Invert Swan のみならず、アメリカ航空切手24C=Invert Jenny の Pos48 も持ちちの大金持ちなのです。鳥ではないけれど、逆刷繋がりで買ったのかな？

ジェフリーのご機嫌の意味が分かったのです。Dr.Woo がテレフォンビッドのリクエストを入れて来た、絶対にノンリミットで落としに来る、良い商売が出来るのだ、だからお前も買う気だるから精々頑張っけて付き合ってくれ、かな。

いや、ジェフリーやデービッド（フェルドマン）なら、人任せにはしないでしょ。この好機を何もせずにミスミス逃すことは有り得ません。確認はできないけれど、モーザさんの45銭貼のカバーでメールでWoo氏にアゲンストしたのは、ジェフリー・シュナイダー自身だと思っているのです。私にはとてもやれない芸当です。

さあ、日本のWooさん、これからどう動くか注目いたしましょう。電話で話したのですが感じのいいご年配の方でした。お一人で集めておられるように思えます。足元を見てのプラーベートオファーはやりません。手元に有る、書き十の未使用をJAPEXセールに出しますよ。使用済はお持ちでしょうが、未使用はまだだと思えますから。頑張ってくれるでしょう。



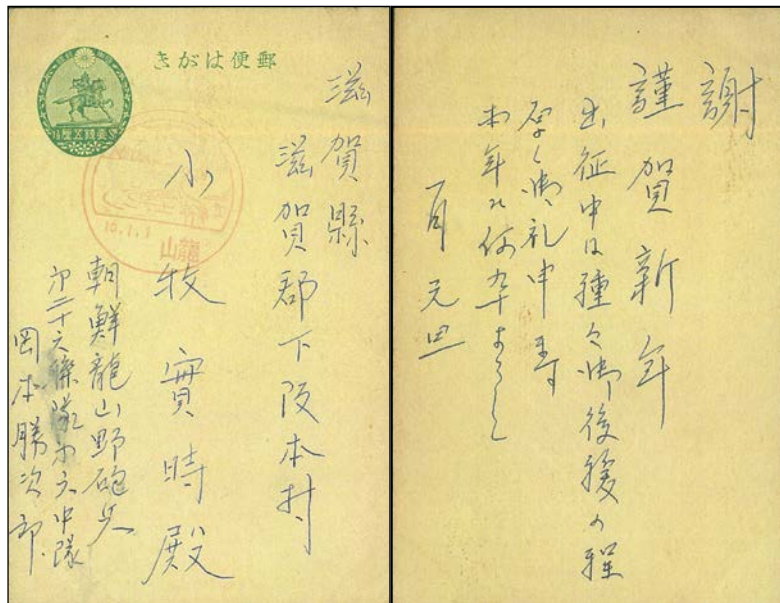
Lot818 点付楠公1½銭年賀状 特印 池辺の鶴 龍山 10.1.1 実通使用

最低値 10,000 応札 9 落札値 210,000

鶴の図案の派手さからして昔から人気があるハンコです。官白は結構残っていて私でも10点以上は扱っています。相場は1万〜でしょう。

ポイントは実通が極めて少ないことなのです。旧知の韓国の専門家に聞いたら、実通の相場は20万、お前とこで何度かその辺りまで行っただろう？でした。

今回のビッドは8名、強いのはお二人、韓国の消印コレクターと、年賀の人が競りました。3番札は52,000、後はアワヨクバのビッドでしょう。面白かったのは、上のロットで書いた鳥トビカルのコレクター、日本の【Dr.Woo】氏がノービッドだったこと。図案は見事な鶴なので、局名のハクチョウよりは、絶対に守備範囲のはずなのです。官白をお持ちだったとして置きましょう。



## Lot5465 竜2銭 (他に1枚脱落跡) 貼 角検+□ 壬申八月十七日→着印□大和小泉取扱所

最低値 20,000 応札 3 落札値 31,000

この人からの郵便が来るのが楽しみでした。封を切る前から要件＝超強気のビッドが判っていたのです。「御影・住吉・摂津新在家」と「大和添上郡」、「著名人の直筆」という特定のテーマに飛び込んだ札を入れてくれていた、元特定御影浜中郵便局の局長さんなのです。

私の知る限り、ビッドで負けたのは1度だけ、何時も強い札をメールで入れて、更に場に来て、万一負けていればフロアでセリ落としていたのですが、最後の1回だけは場に來られてなかったのです。残念ながら、物が何だったかは私は覚えていないのです。

遺品は縁あって息子さんが持ち込んでくれました。最終のご処分をお望みなので、時間を掛けて出品して来て残りは3点だけになりました。最初はシングルロットで出し、不落札は最低値を切り下げての再出品。一点で無理な物はロット売り、既に3-4回転はしているのです。

お二人強い人が居た地元印のエンタです。竜2銭貼はおまけで、御兩人ともに着印の大和小泉を評価されていたのです。元は随分前の弊社のオークションの出品物でした。実質的にノンリミットで入れた人を撥ねて、目を瞑って落としたので、50-60万だったと覚えています。当時の出品者は吃驚して不思議がっていたのです。脱落なのに・・・。

お二人共鬼籍入り、誰が一体買うのでしょうか。元の値段はさて置いて、竜2銭貼のエンタです。角検消、ルックスは悪くないけれど、所詮は脱落エンタ、手彫のコレクションには使えません。

私が付けた当初の最低値は10万円かな、それでも無理は承知だけれど、思い出以上に当時の落ち値を覚えているのでそれをチャラには出来ないのです。最初は不落でした。再出品で5万円、普通はここで売れるのですが、反応無し。とどのつまりで、エンタでなく単片（以下）の評価をして2万円、流石に3名からビッド有り、割と綺麗だし、切手展に出すつもりも無く、取りあえずは持って置きたいというお考えだった人が落しました。

理由は色々でしょうが、欲しい人が2人いれば何処までも行くのがオークション、でも普遍的な価値がなく、買う人の顔が見え無くなれば、値段は奈落に落ちるのもオークションなのですよ。



## Lot5705 紅枠 1 銭イ N1B1 東京 6.12.16 初期軽中折

最低値 50,000 応札 4 落札値 210,000

物のステータスとすれば物凄く率直な珍品です。6年12月1日発行の紅枠の初年度使用としてコレクションには必須です。年内使用の使用局は実際問題東京しかないし、必然的にN1B1になります。16日は結構早いかも知れません。ここで取り上げたのは、なぜ2人が競ったかなのです。

この現物は弊社の前回のセールの3月1日開催の111回フロア（通算207号）のLot1977その物です。勿論同じ説明を書き、写真版にも出ています。因みに最低値は8万でした。でも、その時は不落札、エアポケットに入ったのでしょう。

再出品なので最低値を切り下げて5万円、今回は2番札が20万、その上に更にもうお一人、落札値としての21万は不思議ではないのですが、何故か前回の不落に首をかしげるのです。お二人ともにご存じだったはず、そして気が付いていればスルーは無いと思いますが。



Lot771 新中国 ポストーク 5 冊 紀・特・文は済主体 革・J・T は未 LH

最低値 300,000 応札 5 落札値 900,000

オークションでのお客さんからの問合せでした。

「知人で切手を一杯持っている人が居る、銀行の偉いさんで数年前に亡くなられた。処分したくて買い取り屋を呼んだら、ゴミ扱いされて随分と安い評価だった、何とかならないか」という事でした。

日本切手は記念のシート、これは額割れなので掛け率だけ、中国が赤いアルバム 5 冊、結構入っている、外国は見るからに駄目だけどアルバムで 100 冊以上……。大体イメージが判ったし、競争相手は買い取り屋さん、それなら紹介者に恥をかかせる心配は有りません。

こちらが手配した佐川急便の着払いの段ボールで 10 数箱の物がやって来ました。額割れはシートなので 80% で買って即精算、あとはオークションに出しました。量はあっても手間は掛かりません。中国は単独で元のフロアのパート出して、外国のアルバムはメールに出品。地域で並べてグループに分けるだけ、如何に大量でも 1 日で完了です。

中国は本当の目玉は無いけど、ソコソコ揃っていたのです。最低値は割安だけど変な値段では落ちません。ビッドの 5 名は結構アクティブな人たちです。全員が中国人です。1 人が東京で、3 人が大阪で時間を掛けて下見してくれました。最後の 1 人は電話での問い合わせです。60 万台が 2 人、85 万と 90 万が 2 人、手数料 16% をオンして、利幅を 1 割取っての逆算でしょう。見事に接近した値段になったのです。安くなったはずですが、中国切手はまだ動いているということです。

ちょっとショックだったのが、上海からのビッドが無かったこと。皆勤さんなので、槍が降っても絶対にビッドが来ると読んでいました。このロットは下見なしでは落とせないのですが、オークション誌自体が彼には届かなかったのです。

コロナで JP の物流がガタガタ(今はかなり復旧ですが)なので、中国とアメリカとイスラエルには、FedEX で送りました。運賃は足元を見ての値段設定で、エコノミーサービスなし、500 グラム超などの FedEX パックも NG、中国へは 9492 円、アメリカが 13912 円、イスラエルは 14929 円です。コストとリターンをクールに踏めばオークション誌送付は成り立たないビジネスモデルです。コリンフィラやケラーなどの分厚いオークション誌が買わない顧客に無料で送付され続けるメカニズムが判らないのです。トータルで成り立っているという事でしょうか。

弊社の場合にはそんな余裕は無いのですが、何時も買ってくれる人限定でのサービスとして、損得勘定には目を瞑りました。10 人程に送って、基本的には全員からビッドが来ました。お買い上げ額は勿論ですが、落ちる、落ちないも別問題です。コストを計算しての損か得かも今回は無意味です。でも、ただ一人、上海の彼からはノービッド、FedEX ですら、上海には入れないとの事です。今もです。

それでも料金はしっかり請求して来ます。オークション誌の場合は、物でなく情報なので配達不能で現物を返送すると言われても聞けません。期日を過ぎればそれ自体には金銭的価値は有りません。単なる廃紙です。そして 1 ヶ月以上もほったらかしで、効果的なアクションが無かったことに腹が立つのです。ネットで検索しても「配達予定日:保留」、何とかこちらから受取人にメールを送って、FedEX の現地の営業所に連絡をするように説明したのですが、うまくいかなかったのです。

料金請求の締め日を過ぎたなら、配達状況を考慮せずに、請求書を機械的に上げて来るのはどうなのでしょう。オークション誌ならば諦められるけど、貴重品や薬ならばパニックでしょう。今の世の中は理解できても、FedEX のビジネスポリシーに怒りを覚えます。クレームを入れて現在返事待ちです。*最終的にはクレジットカード経由で料金の還付を受けました。

同じ人の外国のアルバムはメールの 5204 ~ 5211 に載せました。最低値は減茶安です。グレードは低いのですが、それでもポストーク 1 冊 1500 円はお買い得です。記事の書き方で随分ビッドが違ふのです。嘘は書きませんが、何かが有りそう風に書けば、下見無のブラインドビッドがバカ

程入ります。一桁高くなることもしょっちゅうです。今回は、このパターンでの高値落札を危惧しました。見た人が納得で放り込むのは歓迎です。でも、夢を見て、ギャンブルして、落札品を受け取って、そののち・・後悔は嫌なのです。オークションを怖い物だと誤解して欲しくないのです。【・・・下見無しでのブラインドビッドでの高値入札はお控えください】と書きました。それでも、何人かが下見したら絶対に数倍は入れてくるはずでした。書いた程ひどい物では無いのです。結構コストは掛かっていると思います。

下見した人はゼロでした。8 ロットの内当初の落札は 3 点だけ、でも、不落になってからの即売で完売です。この人のご出品、100% を 1 回で処理したいのです。絶対に返品はできません。再出品も NG です。一発勝負で完遂が必須です。コンセプトは買い取り屋さんの出した値段を超える事、額割れ・中国・外国アルバム、全てトータルして 3 倍にはなったと思います。満足感はないのですが、やるべきことはやったかなと思えるディールだったのです。

精算を完了した数日後、ご丁寧なお礼のお葉書を頂きました。【これで切手収集家だった父へ胸をはって報告出来ます・・・】オークションビジネスには色んな出会いがあるのです。続けていれば面白い体験ができますよ。

## 2020 年版 完成間近

年一回発行の郵趣雑誌です（通巻 10 号）。2020 年版は 11 月 11 日に発行予定です。あっと驚く郵趣記事 6 本を掲載予定です。

### 【国際展金賞受賞の雑誌】

## Stampedia Philatelic Journal 2020

日本のフィラテリーを世界にバイリンガル・フルカラーで発信



「スタンペディア日本版」会員は、2020 年 10 月 31 日までにご注文いただいた場合、送料無料でお届けします（会員特典特別先行予約）。マイスタンペディアからご注文、もしくは郵便などでご連絡ください。

発行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

# スタンペディアオークション

## 第14回セールレポート

スタンペディアオークション株式会社

COVID-19 感染症予防対策ならびに会場施設の休止により、メールオークションとして開催された第13回セールを挟み、半年ぶりのフロアオークションを7月11日に日本橋富沢町の綿商会館で開催しました。

事前入札208名と、前回同様200名越えでした。フロアオークションへのご来場者数28名と合計すると、236名(対前回-5名)の参加となりました。

フロアオークションへご参加の方には感染症予防対策の観点からマスク着用、手指消毒をお願いすると共に健康チェックシートへのご記入をお願いいたしました。全ての方に順守いただきました。ご協力に感謝いたします。

事前入札率55.2%、最終落札率は807/1188=67.9%でした。同月開催の文献セールと合わせて流通額は9,991,349円でした。

恒例の事前入札ベストテンは以下の通りです。(単位: 円)

	事前入札 件数	Lot	最低値	スタート	落札値	ロット内容
1位	10	318	2000	4400	4400	U小判2銭 p.13 KG 後期普通紙済 二重丸印 金澤本町 羽後・仙北
		477	7000	14500	18000	支那字入菊5銭 ペア 欧文櫛型印(紫, DE 欄時刻表示) 1919-07-18 HANKOW →東京書留書状<料金参考情報>書状3銭 書留7銭 [1900.10.1 - 1925.3.31]
3位	9	61	5000	31000	31000	和桜4銭 タイプI p.12.5 済 記番印(イヤ第七号) 垂水 満月鮮明印、鳴美記番印カタログ***** (最高評価)
		135	3000	15500	15500	房2銭 記番印(リ第壹号) 11/15 静岡→森町 中継印: 掛川 到着印: 11/16 中継印 KG 掛川は青黒印
		763	3000	9500	9500	渡辺版 FDC (巴水) 磐梯朝日5円 10円 14円 24円 初日使用例 西五百川 27.10.18
6位	8	65	3000	21000	21000	和桜4銭, 洋桜20銭紫カナ, 10銭緑カナ, 鳥12銭 見本 前2者は「みほん」加刷、後2者は墨点
		677	5000	21000	21000	芦ノ湖9.5銭ペア, 16.5銭2枚, 18銭, 33銭 欧文櫛型印 1935-06-24 YOKOHAMA → Lenzburg 航空外信航空葉書書留 中継印: HSINKING, HARBIN, MANCHOULI, BASEL 到着印: 7/12 私製葉書<料金参考情報>日満間/日中間葉書航空18銭 外信葉書6銭 書留16銭 [1934.1.1 - 1937.3.31] 欧州航空運賃60銭
		726	4000	33000	33000	菊15円 coil ペア 欧文三日月印 1968-01-24 TOKYO →那覇 到着印: NAHA 1/25 特別地帯宛航空書状(30円)
		744	3000	26000	26000	松屋版 FDC 鵜飼 100円 岐阜 28.9.15 初日使用例

## 旧小判切手特集

今回のセールでは合計 149 件の「旧小判切手」のご出品がありました。複数のご出品者からの出品でしたが、中でもお一人の収集家から集中して良消しのご提供がありました。5 年ほど前にドイツのオークションに登場した、旧小判 100 枚束ロットの一部をほどいた物で、日本の業者と競って落札したものの内、自分のコレクションに入れるもの以外を全てご出品いただけることになりました。今回はその第一回目です。

**LOT. 167 [済] 旧小判 1 銭赤茶 p.12.5x10 田型 木綿紙済 二重丸印 (KB1) 小倉 / 豊前 コンパウンド目打の田型ブロック 姿良 [JPS-63(4B)] 最低値 70,000 → 80,000 (2 件)**

ご出品者は未明にこのブロックを発見したそうで、その時には飛び上がって喜んだとのこと。単片でも十分分かるコンパウンドですが、ブロックにはかないません。有無を言わぬ証拠が突きつけられる様で、魅力的です。一番値の方のビッド値も落札値よりもだいぶ上だった様です。

**LOT. 178 [済] 旧小判 2 銭紫 p.10 木綿紙 済 丸一印 (茶, 便号入り) 1900-05-12 守山 / 近江 旧小判切手の使用禁止後 10 年以上を経た明治 33 年の使用例 [JPS-65] 最低値 25,000 → 26,000 (2 件)**

明治 21 年使用開始の丸一印は旧小判の後期使用例として面白い物ですが、このロットは明治 33 年使用で、使用禁止から 10 年以上経っての使用済です。これを二つの要素が含まれて面白いと取るか、遅すぎるゲテモノと取るかは、コレクション作りの treatment 次第でしょう。明確な綺麗な満月印ですから、入手された方が効果的にコレクションで扱ってくださると良いのですが。



LOT. 773 [未]月に雁 未使用 裏写り 表裏でズレあり [JPS-C173]

最低値 30,000 → 不落札 → 不落札品販売期間中に成約 30,000

「裏写り」というのは微妙なバラエティな為、正常位置に「裏写り」しているマテリアルよりも、図案の一部だけが部分的に裏写りしているマテリアルや、本例の様に表と裏でズレて裏写りしているマテリアルの方がより好まれます。

本ロットですが、ありそうでなかなかないかな? と思い、スタート値 3 万円を付けましたが、事前入札・フロアでは不落札で終わりました。スタート値が高かったというよりも、4、5 年前に比べて記念切手の人気が落ちている事が原因でしょう。

ところが、セール終了の翌日に、事前入札用紙が送られてきました。郵便事故でもなんでもなく、ただ単に差出が遅かっただけなのですが、とても強い札が本ロットに入っていました。当社の場合、このような事前入札は不落札品販売によるお取り扱いに回すことになっています。そして、無事ご希望者に販売しました。

普段は当社をご利用されない方からのビッドだったので最初はわからなかったのですが、途中で思い出しました。以前にも「月に雁」の印刷版のひっかき傷のエラーを 40 万円以上の値段で落札された、「月に雁」の専門収集をされている方からだったのです。

オークションは、二人以上の強いビダーがいれば値段はいくらでも上がるし、そうでなければ、スタート値で終わるか売れないか、それを改めて考えさせられました。



# スタンペディアオークション

## 最終落札結果

第 14 回セール  
2020.7.11

Lot	複	落札値
1	4	85,000
2	2	10,000
3	3	5,400
4	1	12,000
5	2	12,500
6	1	10,000
7	1	25,000
9	2	9,000
10	1	8,000
11	2	3,400
13	1	40,000
14	5	90,000
16	2	3,400
17	4	3,800
18	6	16,000
19	1	3,000
20	1	3,000
23	1	4,000
26	1	3,000
27	1	16,000
30	3	4,800
31	1	5,000
33	1	2,000
34	1	2,000
37	1	8,000
38	3	31,000
40	4	9,500
41	2	5,600
42	4	17,000
44	3	3,400
45	1	2,000
47	1	2,000
48	2	3,600
49	1	2,000
50	3	2,600
51	2	3,600
52	2	3,600
54	4	3,800
55	4	5,000
56	1	4,000
59	1	3,000
60	1	3,800

Lot	複	落札値
61	9	31,000
62	5	31,000
63	2	2,000
64	1	3,000
65	8	21,000
66	2	24,000
67	1	10,000
69	5	135,000
70	4	105,000
71	1	15,000
72	1	8,000
73	1	3,000
74	1	3,000
76	1	3,668
78	1	12,000
81	1	2,000
82	3	7,200
88	1	5,000
90	3	9,000
91	1	2,000
93	1	5,000
95	2	2,600
97	1	3,000
98	1	4,033
99	1	3,000
100	2	3,400
101	3	6,200
102	5	8,500
103	4	3,800
105	5	11,000
106	1	7,000
107	1	3,000
113	2	2,200
114	2	6,200
115	1	5,000
116	1	6,000
117	5	15,500
118	2	12,500
120	2	1,200
121	1	3,000
122	1	1,000
123	1	3,000
124	4	3,400
126	1	1,000
128	1	1,000

Lot	複	落札値
129	1	1,008
130	2	7,200
131	2	1,400
132	3	6,000
133	5	4,400
134	2	2,400
135	9	15,500
136	2	3,400
137	2	2,600
138	4	100,000
139	3	3,600
140	2	21,000
142	1	3,000
143	1	2,600
144	2	2,600
145	1	3,000
146	1	5,000
147	2	9,500
151	2	26,000
152	1	15,000
153	1	4,033
157	1	5,000
158	1	12,000
159	1	8,000
160	6	2,800
161	2	6,000
162	7	24,000
163	1	14,000
164	1	3,025
167	2	80,000
169	1	2,000
170	3	4,000
171	3	2,600
172	2	2,800
173	2	1,600
174	2	4,200
178	2	26,000
180	1	5,000
186	1	5,000
189	1	4,000
190	1	2,600
192	3	3,200
193	1	1,000
194	2	2,600
195	1	6,050

Lot	複	落札値
196	2	2,600
197	1	5,000
198	2	4,400
199	2	13,500
201	1	2,292
203	1	2,000
205	2	2,400
206	1	3,000
207	3	3,600
208	2	2,200
211	1	2,017
214	1	3,000
219	2	20,000
220	3	4,000
221	1	1,000
223	1	3,000
224	1	10,000
225	1	10,000
227	7	3,000
228	3	4,800
229	2	9,000
230	1	4,000
231	7	3,800
232	1	3,000
233	1	3,117
234	1	2,000
235	1	2,017
238	1	3,000
240	2	2,600
242	1	2,000
243	1	4,033
244	1	3,025
249	1	2,000
251	1	3,000
254	4	4,200
256	1	2,017
257	2	2,400
258	1	2,400
268	2	3,400
269	1	3,000
270	4	3,800
273	1	2,000
274	2	2,800
276	1	9,500
283	1	4,000

Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値
286	1	2,000	350	1	3,025	414	1	2,000	492	4	8,500
287	4	4,600	351	1	2,000	418	2	4,200	493	1	7,000
288	3	3,400	352	1	4,033	422	1	3,000	495	1	7,000
289	1	7,000	353	5	3,000	423	1	2,000	496	3	5,600
290	7	5,000	354	2	4,200	424	1	3,000	497	3	43,000
291	7	3,800	355	1	2,000	425	1	3,000	498	3	56,000
292	2	2,400	356	1	3,000	426	3	5,400	500	1	4,000
293	1	2,017	359	1	3,025	427	4	26,000	502	1	7,000
297	1	3,025	360	3	3,600	428	1	10,000	503	1	4,000
298	1	2,000	361	1	2,000	429	2	3,200	504	1	6,000
299	4	4,200	362	4	3,600	432	3	9,000	505	4	11,500
300	2	2,600	363	3	6,600	433	2	5,200	507	1	60,000
301	1	2,000	364	1	3,025	434	2	4,800	509	4	9,000
303	1	2,017	365	2	3,200	436	1	3,000	510	1	4,000
304	1	3,000	366	1	3,000	441	1	2,000	511	1	10,000
307	3	6,200	367	1	3,025	443	2	3,200	512	2	15,500
308	4	6,200	368	1	200,000	444	2	6,200	515	1	3,000
309	2	6,000	369	1	2,000	445	1	5,000	517	1	10,000
312	1	3,000	370	4	2,600	447	1	5,000	518	1	8,000
313	1	4,000	371	1	5,000	449	2	3,200	520	3	76,000
314	2	4,200	372	1	3,025	450	1	3,000	521	1	120,000
315	1	2,017	374	3	23,000	451	3	4,800	522	2	7,600
316	2	3,000	375	2	3,800	455	1	5,000	523	1	30,000
318	10	4,400	377	1	3,000	458	6	5,800	524	1	8,000
319	2	2,600	378	1	4,000	459	1	5,042	526	3	7,000
320	5	4,800	379	3	15,500	460	3	8,000	527	2	8,500
321	1	2,000	380	2	11,000	461	1	7,058	529	1	5,000
322	1	2,000	382	1	3,000	464	3	26,000	530	1	8,000
323	2	2,600	383	1	3,000	465	2	2,600	533	1	5,000
324	1	5,042	384	2	6,000	466	5	5,800	537	2	13,500
325	1	4,000	386	1	4,000	467	7	7,800	538	2	3,200
327	1	3,025	387	2	54,000	468	5	5,800	540	1	3,000
328	1	3,025	388	1	3,117	469	6	6,200	541	4	7,800
329	1	2,000	389	1	3,000	470	1	5,000	544	1	3,000
330	1	2,000	390	6	7,200	471	1	3,000	546	3	11,000
331	1	2,000	391	1	4,000	472	1	12,100	547	1	5,000
332	1	3,000	392	1	8,067	473	1	2,860	548	1	6,000
334	1	15,000	394	1	3,025	476	3	2,400	551	2	8,500
335	2	3,600	396	1	5,000	477	10	18,000	552	2	72,000
339	5	3,200	397	1	2,600	479	1	2,000	555	5	36,000
341	1	2,000	398	1	3,000	480	1	5,000	559	1	3,000
342	1	2,000	399	1	10,000	482	3	2,800	561	1	3,000
343	2	4,400	402	1	1,000	483	1	3,000	563	1	6,000
344	1	4,000	403	1	10,000	484	1	3,000	564	1	4,000
345	1	4,000	405	1	10,000	488	2	12,500	565	1	7,600
346	1	3,000	409	1	5,042	489	2	7,600	567	1	7,000
347	1	15,000	410	1	2,017	490	4	10,000	569	1	3,000
349	3	37,000	413	2	1,600	491	1	7,000	570	1	3,000

Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値
573	2	29,000	638	1	3,000	708	3	38,000	761	6	15,500
574	2	40,000	639	2	3,000	709	2	3,400	762	6	15,500
576	2	11,500	640	2	5,800	710	1	6,000	763	9	9,500
577	1	1,000	643	1	3,000	711	3	41,000	764	1	1,600
580	1	5,000	644	2	39,000	712	1	1,000	765	2	12,500
581	1	1,375	646	3	4,000	713	1	1,400	766	1	6,050
583	1	367	648	1	3,000	714	1	2,000	768	1	3,000
584	1	6,400	649	1	4,000	715	3	3,400	769	2	15,500
586	3	140,000	651	2	5,200	716	1	4,000	771	1	5,042
587	1	3,000	652	1	5,000	717	2	2,600	772	1	4,000
588	1	3,000	653	1	10,083	718	1	3,000	773	1	30,000
589	1	12,100	655	5	1,800	719	2	43,000	775	1	15,000
591	1	3,025	658	1	1,000	720	3	3,000	776	1	20,000
592	3	26,000	660	3	1,600	721	2	8,000	778	2	8,000
594	2	18,500	662	1	3,025	725	1	3,000	780	2	3,800
595	5	2,600	663	1	3,000	726	8	33,000	783	1	3,000
596	2	2,800	665	1	6,000	727	1	2,000	784	1	3,000
597	1	1,650	667	1	2,000	729	3	4,000	788	2	4,400
598	2	7,200	670	3	6,200	730	1	2,000	789	2	5,800
599	2	3,200	671	1	6,000	731	2	5,200	790	1	4,000
602	1	5,000	672	1	8,067	732	1	3,000	791	1	3,000
603	2	8,500	673	1	3,000	733	2	2,800	792	2	5,000
604	1	3,000	674	1	3,000	734	1	1,200	793	1	3,000
605	1	2,000	676	3	5,000	735	6	26,000	794	2	3,200
606	1	10,000	677	8	21,000	736	1	2,000	795	2	1,600
607	5	9,500	678	4	21,000	737	1	2,000	797	1	6,400
608	1	3,025	679	1	3,025	738	1	3,000	798	1	4,000
611	4	15,500	683	2	5,400	740	5	3,600	799	6	1,400
613	1	2,000	684	3	6,200	741	1	2,000	800	3	1,800
616	1	5,000	685	1	3,000	742	1	2,000	801	4	800
617	2	15,500	686	1	2,000	743	5	14,000	802	1	1,000
618	1	5,200	687	6	24,000	744	8	26,000	803	1	3,000
619	5	5,200	688	6	62,000	745	3	4,400	805	1	2,000
621	1	3,000	690	1	2,000	746	1	3,025	806	1	1,600
623	1	5,000	691	1	3,000	747	1	3,000	808	1	1,000
624	2	1,800	693	1	3,000	748	4	6,600	809	2	1,200
625	2	74,000	694	2	8,500	749	2	3,800	810	2	42,000
626	2	10,500	695	2	7,200	750	7	10,500	811	1	5,200
627	1	4,813	697	2	12,500	751	2	11,000	812	2	5,400
628	2	10,500	698	1	15,000	752	6	10,500	814	1	6,000
629	4	15,500	699	2	12,000	753	3	10,500	817	1	13,500
631	5	10,500	700	4	15,500	754	2	6,200	818	1	5,042
632	3	1,600	702	1	1,000	755	3	6,600	821	1	1,000
633	1	3,000	703	2	6,000	756	4	5,200	831	1	2,000
634	3	4,200	704	1	8,000	757	4	5,200	834	3	12,500
635	1	5,000	705	1	6,600	758	3	3,800	836	2	3,000
636	1	5,000	706	6	5,200	759	3	3,800	837	1	20,000
637	1	3,025	707	3	2,800	760	5	6,000	838	1	7,000

Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値
839	1	4,000	897	1	30,000	986	3	36,000	1047	1	15,000
840	2	5,000	898	2	36,000	988	2	4,400	1049	2	28,000
841	2	5,200	899	1	6,000	991	1	8,000	1050	5	26,000
842	1	4,033	900	1	8,000	993	1	4,033	1051	3	4,800
843	1	4,000	905	1	3,000	998	1	5,000	1052	1	30,000
844	1	4,033	909	1	5,000	1000	1	15,000	1053	1	35,000
845	1	4,033	913	1	5,000	1001	1	5,000	1054	4	52,000
846	1	4,033	914	1	12,000	1002	1	3,000	1055	4	4,400
847	1	4,033	918	2	3,600	1004	2	16,500	1056	2	5,000
848	1	4,033	919	1	20,000	1005	2	13,000	1058	4	72,000
849	1	4,033	920	1	9,000	1006	3	11,500	1059	1	25,000
850	1	4,033	921	3	6,000	1007	3	22,000	1060	3	14,500
851	1	4,033	922	2	5,600	1008	4	3,600	1061	2	6,000
852	1	4,033	924	1	13,000	1009	1	5,000	1062	1	21,000
853	1	4,000	927	1	8,000	1010	5	16,500	1063	2	6,000
854	1	4,033	928	1	8,000	1011	3	3,000	1065	1	10,000
855	1	4,033	931	1	15,000	1012	3	4,600	1066	1	10,000
856	1	4,033	933	1	5,000	1013	4	3,800	1068	3	5,000
857	1	4,033	934	2	5,200	1014	2	5,200	1069	3	2,200
858	1	4,033	936	2	8,000	1015	1	1,000	1070	1	4,000
859	1	4,033	938	1	9,000	1016	1	1,000	1071	3	8,500
860	1	4,033	940	1	4,000	1017	2	2,200	1072	1	1,000
861	1	4,033	942	1	5,000	1018	1	400	1073	3	2,200
862	1	4,033	944	1	5,000	1019	1	1,000	1074	2	1,600
863	1	4,000	945	1	6,000	1020	3	5,000	1075	1	1,000
864	2	2,200	946	1	4,000	1021	2	4,800	1077	1	5,000
865	1	4,000	947	1	4,000	1022	1	1,000	1078	1	3,000
866	1	4,000	951	1	5,000	1024	2	1,800	1079	1	5,000
867	2	4,200	956	1	2,000	1025	1	1,000	1080	3	1,600
868	1	4,000	957	1	2,000	1026	1	1,000	1081	3	2,600
870	1	4,000	958	1	18,000	1027	1	20,000	1083	3	2,400
872	1	5,000	959	1	2,000	1028	4	27,000	1091	1	3,000
873	4	3,400	960	1	2,000	1029	1	40,000	1092	2	3,000
874	1	3,200	967	1	5,200	1031	3	16,500	1094	1	3,000
875	4	120,000	968	2	6,400	1032	2	9,500	1095	1	3,000
876	1	10,000	969	1	3,000	1033	4	4,200	1096	1	3,000
877	1	6,000	971	1	3,000	1034	6	15,500	1098	2	6,200
879	2	2,600	972	1	3,000	1035	1	18,000	1099	1	1,000
880	2	3,600	974	1	4,000	1036	3	31,000	1100	1	2,000
885	3	11,500	975	1	4,033	1037	1	10,000	1101	1	3,000
886	3	11,500	976	1	2,017	1038	3	135,000	1102	2	5,200
887	6	4,200	978	1	3,000	1040	3	12,500	1103	1	66,000
888	6	4,200	980	1	10,000	1041	2	34,000	1104	1	13,000
889	6	4,200	981	1	5,000	1042	1	12,000	1105	3	12,500
890	2	3,200	982	2	6,200	1043	1	3,000	1106	1	8,000
891	3	4,000	983	1	5,000	1044	5	3,800	1108	5	6,200
892	6	5,400	984	1	8,000	1045	2	3,000	1110	1	20,000
893	2	4,200	985	1	5,000	1046	2	16,500	1111	1	5,000

Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値	Lot	複	落札値
1112	4	3,600	1181	1	10,000						
1113	3	85,000	1182	1	3,942						
1114	1	3,000	1184	3	25,000						
1115	3	2,000	1185	1	9,000						
1116	1	3,000	1186	1	5,000						
1117	2	6,200	1188	1	1,800,000						
1118	2	3,200									
1119	4	45,000									
1120	4	4,400									
1121	4	9,000									
1122	3	6,400									
1123	3	6,400									
1124	1	6,000									
1125	1	5,000									
1126	1	25,000									
1127	1	4,000									
1128	2	10,000									
1129	1	5,000									
1131	2	11,500									
1132	2	21,000									
1133	1	7,000									
1134	3	21,000									
1135	1	8,000									
1137	1	3,000									
1140	1	5,000									
1143	5	10,500									
1145	2	8,500									
1147	2	3,400									
1148	1	25,000									
1149	1	15,000									
1150	1	28,000									
1153	1	18,000									
1155	1	26,000									
1156	1	15,000									
1158	1	15,000									
1162	1	25,000									
1163	1	12,000									
1165	1	6,000									
1168	1	10,000									
1169	1	29,000									
1171	1	30,000									
1172	3	22,000									
1174	1	5,000									
1175	1	8,204									
1177	1	5,000									
1178	1	8,000									
1179	1	4,033									
1180	1	3,400									

複：複数の事前入札が入った場合の入札者数。  
 なお、事前入札0でフロア落札の場合は「1」が表示されます。  
 落札値は落札手数料を除く金額です。

2020 夏の文献 sale  
2020.7.29

Lot	複	*	落札値
D1	3		4,500
D2	3		2,400
D3	2		800
D4	6		2,300
D5			73
D6	7		10,300
D7	5		10,700
D8	6		6,100
D9	2		11,300
D10	2		20,400
D11	1		2,000
D12	3		2,600
D13	2		3,100
D14	2		18,600
D15	1		3,000
D16	2		18,400
D17			4,235
D18	2		60,100
D19			2,500
D20	3		13,600
D21	3	*	3,200
D22	6		2,100
D23	3		2,100
D24	2		2,100
D25	3		1,900
D26	3		2,100
D27			917
D28	5		18,600
D29	2		1,300
D30	2		1,100
D31	3		1,300
D32	4		10,400
D33	2		10,400
D34			1,760
D35	1		500
D36	2		2,100
D37	1		600
D38			550
D39			352
D40			73
D41			1,500

Lot	複	*	落札値
D42			1,173
D43	2		900
D44	5		5,100
D45			176
D46	4		8,100
D47	3		4,200
D48	3	*	5,200
D49	7		7,100
D50			
D51			1,128
D52			100
D53			1,008
D54			733
D55	6		15,100
D56	2		3,300
D57	4		4,400
D58	3		3,900
D59	3		3,900
D60	3		3,900
D61			1,760
D62			100
D63	2		2,900
D64	1		4,000
D65			100
D66			275
D67			100
D68	1		1,200
D69	2		600
D70	1		500
D71	1		300
D72	1		300
D73	3		1,100
D74	3		930
D75	4		5,100
D76	7		1,600
D77			176
D78			220
D79			220
D80			275
D81			220
D82	2		3,600
D83	3		3,100
D84	1		300

Lot	複	*	落札値
D85	4	*	2,300
D86			
D87	4		1,900
D88			
D89	2		1,000
D90			
D91	2		1,000
D92			
D93	2		1,200
D94	1		1,200
D95			
D96	3		1,200
D97			
D98	1		1,500
D99	3		4,100
D100	1		1,200
D101	6		2,600
D102	2		1,300
D103			275
D104	2		4,600
D105	2		700
D106			238
D107			220
D108			1,760
D109	2		1,100
D110			176
D111	2		900
D112			275
D113			1,833
D114	6		1,600
D115			587
D116	2		1,300
D117			100
D118	2		800
D119	3	*	500
D120			
D121	3		500
D122	4		7,100
D123	4		2,800
D124	10		2,900
D125	2		800
D126			917
D127	2		600

Lot	複	*	落札値
D128			220
D129			293
D130			100
D131			200
D132	2		1,300
D133	5		2,100
D134	6		2,100
D135	2		2,100
D136	1		1,000
D137	2		500
D138	2		1,100
D139	3		1,300
D140	1		500
D141	1		2,000
D142	5		8,100
D143			100
D144	3	*	1,300
D145	1		300
D146			721
D147	2		600
D148	1		500
D149	4		900
D150	1		1,000
D151			4,308
D152	3		900
D153	3		600
D154	1		500
D155	10		1,300
D156			
D157	2		1,200
D158			458
D159	1		300
D160	2		900
D161	2		700
D162	2		500
D163	4		800
D164			367
D165			733
D166	1		100
D167			176
D168	1		300
D169	1		100
D170	2		2,600
D171	2		500
D172	1		100

落札手数料を除く金額。「複」は事前入札数。「*」は同値事前入札あり。  
「複数ビダー」欄を一つの枠で囲んだロットは「同一内容・同一状態・同一スタート値」が複数ある旨記載されたロット。WD(出品取り消し)なし。

## 「スタンペディア日本版」2020年メンバーシップ特典

### 1. 機関誌「フィラテリスタマガジン」のお届け（4冊）

機関紙通常号本誌（付録含まず）を 3/30, 6/30, 9/30, 12/30 頃にお送りします。

### 2. 機関誌「フィラテリスタマガジン」2020年発行分PDFのダウンロード権利

3/15, 6/15, 9/15, 12/15 の4回発行するほか、年3回の号外の発行を予定しております。

### 3. 書籍「日本郵趣記事索引 2021」のお届け

フィラテリスタマガジン等の郵趣記事索引を掲載した書籍（冊子）を2021年前半にお届けします。

### 4. 単行本販売時の優先取り扱い

当社発行書籍等をお申し込みいただく場合、非会員に比べて優遇した条件で販売する場合がございます。オンラインからの注文に関しては、マイスタンペディアにてワンクリックでお申込みいただける仕組みも導入しております。

### 5. 提携先の「スタンペディアオークション株式会社」の優待サービスを受けられます

スタンペディアオークション株式会社（以下、同社）より「スタンペディア日本版」会員向け優待サービスが提供されており、同社が利用停止した方を除く全ての当会会員が利用できます。

- （1）毎回のセールカタログを、当会機関紙の郵送時に同梱で受け取ることができます。
- （2）入札や下見にあたり、同社への会員登録の申し込みは不要で、当会会員の資格で参加できます。
- （3）事前入札において同値の場合、当会会員の取り扱いが優先されます。（第12回セールより）
- （4）一定条件を満たす事前入札に対して、入札確認通知の郵送を行います。（試行サービス）

会費有効期限 2020年1月1日ー12月31日

## 「スタンペディア日本版」入会方法

### 1. まず、お受け取りになる冊子のサイズを『A4判』か『A5判』か、お決めください。

A5判の場合、年会費は **3,980円** となります。

A4判の場合、年会費は **9,980円** となります。

### 2. 該当する金額を本ページ「送金先」欄のいずれかの方法でご送金ください。

### 3. ご連絡先（郵送先・電子メールアドレスのいずれか、もしくは両方）を当社にご連絡ください。

ご連絡先が分からない場合は、当社からはサービスの提供を開始できません。

#### 送金先

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| (1) ゆうちょ銀行 10060 14016181      | 加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 |
| (2) 楽天銀行 ロック支店 普通 7027345      | 加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 |
| (3) ゆうちょ振替口座 00100-4-515137    | 加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 |
| (4) Paypal order@stampedia.net |                             |

#### 連絡先

- (1) 郵便 102-0083 海事ビル内郵便局留置 スタンペディア
- (2) F A X 03-5770-8504
- (3) 電子メール tpm@stampedia.net

## あとがき

夏は好きな季節です。暑くても世の中が夏を楽しむ雰囲気が好きなのです。しかし、今年の夏は暑いだけの夏でした。やっと梅雨が開けたと思えば酷暑の一ヶ月。夏休みは新型コロナのため帰省は控え、例年の三食昼寝付き畳の上でだらだら盆休みはお預けに。

かといって何処かに出かけるわけでもなく、空いた時間は編集、オークションのお仕事を。お陰で夏太りせずにすみました（笑）。このご時世、お仕事がある事に感謝しつつ、働いたお金をなんとかやりくりしながら次回の作品出品にむけて第一次昭和切手関係をちょこちょこ購入しています。

世界的には新型コロナにより中止や延期となっている切手展ですが、今後は展示の方法もバーチャルなどの新型コロナ仕様になっていくのでしょうか。ABPS も APS の様にバーチャルスタンブショウを 10/1-3 まで開催します。参加しようかと思いましたが時間が無かった為、残念ながら今回は見送りました。

どのような展示方法にせよ、そろそろ次回に向け（お恥ずかしい話、いつも締め切り直前に半ペソかきながら作品作りしておりますので）本腰を入れて作品作りをしようと思います！（菊地）

前号より始めたフィラテリストマガジンならではの初心者向け記事「今更聞けないフィラテリー（略称イマキケ）」は、初心者だけでなくベテランの方からも、読みやすく良いとのご評価をいただいています。『伝統郵趣的なレベルを下げる事は一切せず、各分野に専門化しつつある郵趣家に、専門外の収集範囲の魅力や tips を伝える記事の掲載を幅広の分野で開始する』という方向性は、評価されたと感じました。

この路線であれば、すでに数十話分の話題はストックがあります。また、このコーナーに適したテーマはいくらでも存在するでしょう。編集チームだけで書くことは難しいので、適宜専門家の方にご相談させていただいて記事を書いています。匿名希望の方には匿名で対応しますので、是非ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

フィラテリストマガジンの発行が終わると、当社は、フラグシップマガジン「Stampedia Philatelic Journal」と、青少年少女向けフリーペーパー「Stamp Club」の編集に着手します。後者は、今年度の博物館や図書館における有効な配布が、COVID-19 の影響で難しい為、どの様に進めるか検討を続けてきましたが、大体の方向性は出た様な気がします。両雑誌とも 11 月発行を予定しておりますので、どうぞご期待ください。（吉田）

書 名：スタンペディア日本版機関誌「フィラテリストマガジン」

号 数：第 28 号（2020 年秋号）

発行日：2020 年 9 月 30 日

価 格：1,500 円（消費税込）

発行部数：700 部

発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

発行人：吉田敬

編集部：北川朋美、菊地恵実

Name of the magazine: The Philatelist Magazine

Number: 28th (2020 Autumn issue)

Date of issue: September 30th 2020

Price: 1,500 Yen

Number of printing: 700 copies

Publisher: Stampedia, inc. Takashi Yoshida

Editor: T. Kitagawa, E. Kikuchi

# スタンペディアオークション

第15回セール

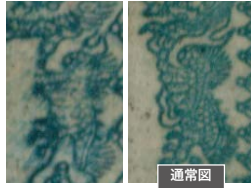
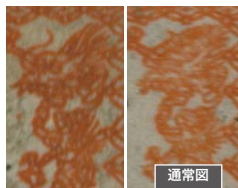
フロア 2020年10月3日(土) 12:30 切手市場第2会場  
会場 東京都中央区日本橋富沢町8-10 綿商会館5階

スタンペディアオークションは切手市場と提携しました



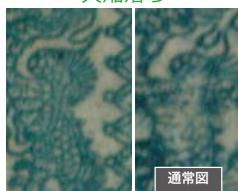
禿竜

右竜腕落ち



火焰落ち

左下桜花重弁落ち



竜尾一部腐食漏れ

左下桜花芯全落ち

